

【別添資料】

平成30年度  
事務事業評価結果  
(評価対象年度：平成29年度)

※事務事業評価シート中、平成31年度から平成33年度の事業計画及び事業費は、平成31年3月に実施計画として  
公表します。



平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

環境保全事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	1-1		会計区分		1	一般会計
新番号	10101		基本目標	便利で快適なまち		予算科目	款	4	衛生費
			基本施策	恵まれた環境の保全			項	2	環境保全費
			施策分野	環境保全・富士山			目	1	環境保全総務費
(旧番号)	(10101)	担当部課	住民福祉部 - くらし安全課		事業		2	環境保全事業費	

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境基本計画アクションプログラムに基づき計画を推進し、町内全域の環境保全に関する取組を推進する。</li> <li>・環境学習や環境保全のための地域活動を実践する。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境基本計画アクションプログラム（平成26年度～35年度）に基づき計画を推進し、環境基本計画推進会議2回、環境審議会1回を開催した。環境審議会では細部にわたり審議をいただき、平成28年度の実績を年次報告書として取りまとめ、平成29年度に公表した。</li> <li>・水辺の生き物調査を生土の西沢川で実施した。住んでいる生物の種類から、水のきれいさを調べる日本版平均スコア法の点数は7.4点で、この川の水質は6段階中きれいな方から2番目の、「きれいな水」という評価であった。この調査は小学生7名が参加し、委託事業者の指導のもと水質評価を行い、環境教育の推進につながった。事業の実施の様子を広報おやまで紹介し、河川の評価結果を町HPで公表した。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境基本計画アクションプログラム（平成26～35年度）に基づき実施した事業について、環境基本計画庁内調整会議、環境基本計画推進会議、環境審議会、計画の進捗状況の点検・評価等を行い、年次報告書を作成し、各事業の進捗状況を公表する。また、平成30年度は中間年であるため、環境基本計画に基づく年次報告書の見直しを実施する。</li> <li>・平成28年度から実施している環境学習（水生生物調査）は大変好評であったため、今後も継続して実施し、河川の水質を評価するとともに、環境学習の場を提供していく。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境基本計画アクションプログラムに基づき計画を推進した。</li> <li>・環境基本計画庁内調整会議、環境基本計画推進会議、環境審議会により、計画の進捗状況の点検・評価等を行い、年次報告書を作成し、各事業の進捗状況を公表した。</li> <li>・環境基本計画調査として「水辺の生き物調査」を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境基本計画アクションプログラムに基づき計画を推進する。</li> <li>・環境基本計画庁内調整会議、環境基本計画推進会議、環境審議会により、計画の進捗状況の点検・評価等を行い、年次報告書を作成し、各事業の進捗状況を公表する。</li> <li>・環境基本計画調査として「水辺の生き物調査」を実施する（8月に実施済み）。</li> <li>・環境基本計画の中間年度として、環境基本計画に基づく年次報告書の見直しを行う。</li> </ul>			
	事業費 (千円)					
		H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）
	財源内訳	国・県支出金	0	0		
		地方債	0	0		
		その他特定財源	0	0		
		一般財源	1,301	1,412		
		事業費計	1,301	1,412		

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

富士山世界遺産事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	1-1		会計区分		1	一般会計
新番号	10104		基本目標	便利で快適なまち		予算科目	款	9	教育費
			基本施策	恵まれた環境の保全			項	5	社会教育費
			施策分野	環境保全・富士山			目	1	社会教育総務費
(旧番号)		担当部課	教育委員会 - 生涯学習課		事業		7	富士山世界遺産費	

事業概要	・世界文化遺産富士山の「保全」と「活用」の2つの観点から、構成資産をはじめとする「自然・歴史・文化」を後世に残すための取り組みを推進するとともに、更なる町のPR及び観光振興を図る。
事業の成果 (課題・反省点を含む)	・2013年6月26日に富士山が世界文化遺産に登録されてから4年が経過し、現在、県は関係市町と連携を図りながらイコモスの次回審議（審議は2019年だが、報告は2018年12月1日までに提出）に備えて準備を進めている段階である。 ・小山町は富士山世界文化遺産協議会をはじめ、富士山保存管理作業部会や世界文化遺産学術委員会等の会議に出席し、富士山の適切な保全に向けた取組を推進している。
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	・庁内関係各課と連携を図りながら、「富士山」を活用したシティープロモーション等により、町のPRを推進する。 ・県は、富士宮市に建設する世界遺産センターを拠点に広域連携の推進を図ることとしているので、町としても講座等で活用しながら連携を図っていく。

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		[平成29年度まで町長戦略課所管] ・富士山世界文化遺産協議会負担金 ・世界文化遺産地域連携会議負担金 ・富士山巡礼路特定調査研究負担金 (H27~H30) 上記調査を県と共同実施	[平成30年度から生涯学習課に移管] ・富士山世界文化遺産協議会負担金 ・世界文化遺産地域連携会議負担金 ・富士山巡礼路特定調査研究負担金 (H27~H30) 上記調査を県と共同実施 ・県世界遺産センターと共催で「町民講座（世界遺産セミナー）」を実施し、巡礼路特定調査の成果を発表			
	事業費 (千円)	H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）
	国・県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特定財源	0	0			
	一般財源	677	978			
	事業費計	677	978			

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

公害対策事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	1-2		会計区分	1	一般会計	
新番号	10201		基本目標	便利で快適なまち		予算科目	款	4	衛生費
			基本施策	清らかで豊かな水資源の保全と活用			項	2	環境保全費
			施策分野	水資源・水辺			目	2	公害対策費
(旧番号)	(10201)	担当部課	住民福祉部 - くらし安全課		事業		2	公害対策費	

事業概要	・町内の水質（河川、工業排水、湧水等地下水）、大気（ダイオキシン）の分析調査測定を定期的に行い、水質や大気の状態（安全）を確認（監視）する。これにより町の水質や大気の状態を把握し、環境保全を図る。
事業の成果 （課題・反省点を含む）	・大気（ダイオキシン）、水質（河川、工業排水、湧水・井戸水等地下水）の分析調査測定を定期的に行い、大気や水質の安全性を確認した。分析の結果、町の水質や大気に大きな異常は検出されていない。 ・事業所の自主的検査（大気：9カ所、水質：17カ所）の結果を受領し、基準値以内かを確認している。 ・県、浄化槽協会、環境衛生自治推進協議会と連携し、浄化槽の維持管理について、谷戸区の一部（34戸）で戸別訪問により維持管理を指導した。浄化槽法に定める法定検査を実施するよう指導した。
今後の展開 （事業の成果を踏まえた今後の展開）	町内の大気（ダイオキシン）、水質（河川、工業排水、湧水等地下水）について、分析調査を継続し、環境の状態を把握する。（河川水質測定） 須川・馬伏川・佐野川（4回）、主要河川30カ所（1回）、鮎沢川（御殿場市境・県境＝各1回）、足柄上堰（1回）（特定事業場水質測定） 丸善食品工業他17事業所（1回～4回）、（工業排水路水質検査） 富士小山工業団地、ハイテクパーク富士小山（各12回）、（湧水・井戸等水質調査） 菅沼谷戸地区湧水3カ所（各1回）※三菱マテリアルグループ地域協議会へ報告、（地下水水質測定） 菅沼地区（1～4回）、（大気中ダイオキシン類測定） 指定箇所4回/年、 ※公共水域の水質悪化を引き起こす各家庭の浄化槽の保守点検、清掃、法定検査の実施を啓発する。

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 （具体的に記入）		<ul style="list-style-type: none"> <li>河川水質測定を実施</li> <li>特定事業場水質測定を実施</li> <li>工業排水路水質検査を実施</li> <li>湧水・井戸等水質調査を実施</li> <li>地下水水質測定を実施</li> <li>大気中ダイオキシン類測定を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>河川水質測定を実施</li> <li>特定事業場水質測定を実施</li> <li>工業排水路水質検査を実施</li> <li>湧水・井戸等水質調査を実施</li> <li>地下水水質測定を実施</li> <li>大気中ダイオキシン類測定を実施</li> <li>国道246号騒音測定（5月に実施済み）</li> </ul>			
	事業費 （千円）	財源内訳	H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）
		国・県支出金	0	0		
		地方債	0	0		
		その他特定財源	0	0		
		一般財源	2,595	3,015		
		事業費計	2,595	3,015		

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

ホタルの里づくり事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	1-2		会計区分	1	一般会計	
新番号	10202		基本目標	便利で快適なまち		予算科目	款	9	教育費
			基本施策	清らかで豊かな水資源の保全と活用			項	5	社会教育費
			施策分野	水資源・水辺			目	1	社会教育総務費
(旧番号)	(10203)	担当部課	教育委員会 - 生涯学習課		事業		5	ホタルの里づくり事業費	

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里山にホタルが飛び交う「ホタルの里」づくりを推進するとともに、既存の「ホタルの里」の維持管理を継続する。</li> <li>・ホタル観賞会を実施する。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ホタルの里」において施設整備の他、カワニナの放流等を継続的に実施したことにより、ホタルの飛翔数が安定してきた。(H28:756匹、H29:810匹)</li> <li>・ホタル観賞会を開催し、自然愛護の精神の醸成と町の豊かな自然の周知に努めた。</li> <li>・町内の幼稚園、保育園、こども園においてゲンジボタルの幼虫のエサとなるカワニナの飼育を行うとともに、放流活動を行い、自然や命の大切さを学習する機会となった。</li> <li>・綱山五徳会からの寄附により、ヘイケボタルの放流を行った。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的に「ホタルの里」の維持管理を行い、ホタルが定着する環境づくりを目指す。</li> <li>・継続的に町内幼稚園、保育園、こども園の園児によるカワニナの放流を行い、環境学習の契機とする。</li> <li>・現在はゲンジボタルが飛翔しているが、ヘイケボタルの飛翔が安定するよう継続的に放流活動や環境整備を実施していく。</li> <li>・ホタルの里づくりを目指している団体と連携を図りながら、ホタルが飛翔するための支援と情報共有、飼育指導などを行う。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ホタルの里」の維持管理。</li> <li>・町内幼保こども園の園児によるカワニナの放流。</li> <li>・静岡県ほたるサミットへ参加し、近隣市町の取組を学習した。</li> <li>・明倫地域金太郎計画2020推進協議会主催「ホタル観賞会」及び北郷地域金太郎計画2020推進協議会主催「ホタル観賞会」に小山町ホタルの里づくり推進協議会会員が案内解説係として支援。</li> <li>・ホタルの里整備（草刈り等）に御殿場遊技業組合員が参加。</li> <li>・ホタル観賞会来場者数1,162人</li> <li>・ヘイケボタルを放流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ホタルの里」の維持管理。</li> <li>・ホタル観賞会の実施</li> <li>・町内幼保こども園の園児によるカワニナの放流。</li> <li>・明倫地域金太郎計画2020推進協議会主催「ホタル観賞会」に小山町ホタルの里づくり推進協議会会員が案内解説係として支援。</li> <li>・ホタルの里整備（草刈り等）に御殿場遊技業組合員が参加。</li> <li>・ホタル観賞会来場者数1,376人</li> <li>・ヘイケボタルを放流</li> <li>・富士山における「ヒメボタル」の調査</li> </ul>			
	事業費 (千円)					
		H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）
財源内訳		国・県支出金	0	0		
		地方債	0	0		
		その他特定財源	100	0		
		一般財源	212	315		
		事業費計	312	315		

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

地下水保全事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	1-2	会計区分	1	一般会計	
新番号	10203		基本目標	便利で快適なまち	予算科目	款	90	〇 予算事業
			基本施策	清らかで豊かな水資源の保全と活用		項	1	〇 予算事業
(旧番号)	(10202)		施策分野	水資源・水辺		目	1	〇 予算事業
		担当部課	企画総務部 - 町長戦略課	事業		2	〇 予算事業	

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小山町土地利用指導要綱に従い、地下水保全を目的とした適切な指導を行う。</li> <li>・地下水や湧水の継続的な観測を行うことで、地下水位と湧水量の変化を把握する。</li> <li>・地下水揚水施設設置を届け出た事業所などから年間の採水量の報告を受け、町内で利用されている地下水量を把握する。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地利用委員会及び幹事会に地下水担当課として出席し、事業者に対し適切な助言等を行った。</li> <li>・町内2か所の観測箇所において、毎月1回地下水位の計測を行い、年間データをまとめて特に異常無き事を確認し、県に報告した。</li> <li>・年2回(夏・冬)の湧水量調査を町内9カ所で行い、特に異常無き事を確認した。</li> <li>・町内事業所揚水量調査を実施し、町内の地下水の揚水状況について把握し、データをまとめた。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も適切な定期(定点)観測と調査を続け、町の貴重な財産である水資源の保全と活用を図っていく。</li> <li>・県が進める「水系」での地下水の考え方については、県の動向を見ながら慎重に対応していく。(現在「県条例の対象“外”」となっている御殿場・裾野・小山地区については、今後も県条例の監視区域等には加わらない姿勢を2市1町で継続していく。)</li> <li>・大規模な企業誘致等に伴う地下水採取に関しては、未来拠点課とともに、その適切且つ有効な利用方針を今後も継続して検討していく必要がある。</li> </ul>

		平成29年度(昨年度)	平成30年度(本年度)	平成31年度(来年度)	平成32年度(2年後)	平成33年度(3年後)
事業実績 及び (具体的に記入)	事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小山町土地利用指導要綱に基づく指導、助言</li> <li>・地下水位と湧水量の定期観測</li> <li>・町内事業所の揚水量調査(調査対象年：H28) 調査事業所数 48事業所 調査井戸数 110本</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小山町土地利用指導要綱に基づく指導、助言</li> <li>・地下水位と湧水量の定期観測</li> <li>・町内事業所の揚水量調査(調査対象年：H29) 調査事業所数 47事業所 調査井戸数 106本</li> </ul>			
	事業費 (千円)					
		H29年度(決算額(実績))	H30年度(予算現額)	H31年度(予算要求額)	H32年度(計画額)	H33年度(計画額)
財源内訳	国・県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特定財源	0	0			
	一般財源	0	0			
	事業費計	0	0			

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

ごみ減量・リサイクル推進事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	1-3		会計区分	1	一般会計	
新番号	10301		基本目標	便利で快適なまち		予算科目	款	4	衛生費
			基本施策	ごみの減量化と適切な処理			項	2	環境保全費
			施策分野	ごみ・環境衛生			目	1	環境保全総務費
(旧番号)	(10301)	担当部課	住民福祉部 - くらし安全課		事業		4	ごみ減量・リサイクル推進事業費	

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定ゴミ袋の導入によるごみ分別収集の徹底や再利用（資源化）により、ごみの減量を図る。</li> <li>古紙類やアルミ缶などを資源として回収する団体に集めた量に応じて奨励金を交付する。</li> </ul>
事業の成果 （課題・反省点を含む）	<ul style="list-style-type: none"> <li>資源リサイクル活動奨励金交付要綱に基づき、こども会等30の団体が資源物として再利用できる古紙類やアルミ缶などの資源233.3tを回収し、町から約186万6千円の交付金を交付した（前年度比較4.2t（1.8%）の減であった。）。日常生活の中で発生する廃棄物を資源として利用することを促進し、リサイクルやごみ減量等の問題についての町民の関心を高めることができた。</li> <li>古着を公共施設6カ所の拠点でリユース回収した。</li> <li>無線放送、広報誌、ごみカレンダー配布により、ごみの分別・出し方について周知・徹底させ、家庭から排出される可燃ごみ及び不燃ごみを2.3%減量できた。</li> </ul>
今後の展開 （事業の成果を踏まえた今後の展開）	<ul style="list-style-type: none"> <li>資源リサイクル活動奨励金交付制度を広報紙等で広くPRし、今後も活動団体ごとに収集量に応じた奨励金を交付し、リサイクル活動の重要性について周知する。</li> <li>廃棄物減量等推進員の活動を支援し、各ステーションにおける排出マナーの向上と町的美観を保持する。（ステーションでの不適物や不法投棄廃棄物を臨時職員により回収するとともに、各減量推進員間の情報共有を図る。）</li> <li>廃棄物処理や不法投棄などについて意見聴取の必要があるときは、廃棄物減量等推進審議会を開催する。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 （具体的に記入）		<ul style="list-style-type: none"> <li>小山町資源リサイクル活動奨励交付金制度を新聞等で広くPRした。</li> <li>活動団体毎に、収集量に応じて、交付金を交付した。</li> <li>町内の公共施設（6ヶ所）での古着回収を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小山町資源リサイクル活動奨励交付金制度を広報紙等で広くPRする。</li> <li>活動団体毎に、収集量に応じて、交付金を交付する。</li> <li>町内の公共施設（6ヶ所）での古着回収を実施する。</li> <li>県道山中湖小山線不法投棄回収事業を実施する。</li> </ul>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>※平成29年10月から再資源化センターが稼働したため、ガイドブック、カレンダーの見直しを行い、全戸配布した。</li> <li>国道246号不法投棄回収活動を、環境衛生自治推進協議会及び国交省と連携し実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※不燃物10<sup>リットル</sup>サイズのごみ袋導入（4-3-1-2（塵芥収集事業費））</li> </ul>			
事業費 （千円）	財源内訳	H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）
		国・県支出金	0	0		
		地方債	0	0		
		その他特定財源	0	0		
		一般財源	4,138	3,295		
	事業費計	4,138	3,295			

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

景観形成推進事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	1-4	会計区分	1	一般会計	
新番号	10401		基本目標	便利で快適なまち	予算科目	款	7	土木費
			基本施策	人と自然が調和する景観の形成と環境美化の推進		項	4	計画調査費
(旧番号)			施策分野	景観・環境美化		目	2	都市計画費
		担当部課	未来創造部 - 都市整備課	事業		4	景観形成推進事業費	

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観計画及び景観条例に基づき、建築物等の形態や意匠を誘導することにより、美しい景観の保全及び形成を図り、町民の豊かで活力ある生活の実現及び魅力あるまちづくりに寄与する。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年4月より景観条例を施行し、平成29年度は建築に伴う9件の景観行為書類の審査を行った。景観計画をホームページ等で公開することにより、景観計画や届出に対する問い合わせが増えている。景観保全に対する意識が向上してきている状況である。</li> <li>・また、観光地の景観形成を図るため、観光地エリア景観計画を策定した。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然風景、景色、町並みは小山町の宝であると認識し、景観条例及び景観計画に基づき審査、指導を行い、景観を阻害するような行為を制限する。</li> <li>・景観審議会等を開催しながら本町の景観の保全と形成に取り組む。</li> <li>・観光地エリア景観計画を作成し、良好な景観形成を図る。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・足柄地区観光地エリア景観ワークショップを開催した。</li> <li>・各協議会に参画した。</li> <li>・行為の届出について審査を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観審議会を随時開催する。</li> <li>・各協議会等に参画する。</li> <li>・行為の届出について審査を行う。</li> <li>・足柄地区観光地エリア景観計画を策定する。(策定済み)</li> <li>・須走地区観光地エリア景観計画ワークショップを開催する。</li> </ul>			
	事業費 (千円)					
	H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）	
	国・県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特定財源	0	0			
	一般財源	28	175			
	事業費計	28	175			

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

環境美化事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	1-4	会計区分	1	一般会計	
新番号	10402		基本目標	便利で快適なまち	予算科目	款	4	衛生費
			基本施策	人と自然が調和する景観の形成と環境美化の推進		項	2	環境保全費
			施策分野	景観・環境美化		目	1	環境保全総務費
(旧番号)	(10404)	担当部課	住民福祉部 - くらし安全課	事業		3	環境美化事業費	

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内全域において、春、秋の一斉清掃を実施し、町民の環境美化に対する意識の醸成を図る。</li> <li>・ペットの適正飼育に努めてもらうように、広報紙等を活用し、マナーに対する意識を啓発する。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春、秋の一斉清掃や富士山一斉清掃を実施し、富士山一斉清掃では可燃物40kg、不燃物40kg、合計80kgのごみを回収した。</li> <li>・平成29年度の狂犬病予防注射の実施率は70.9%でした(注射頭数813頭/登録頭数1,147頭)。</li> <li>・平成29年度の飼い猫適正飼養補助金を利用した不妊去勢手術の件数は42件でした。</li> <li>・犬や猫の飼い方に起因する住民からの苦情について、随時無線放送を行い、正しい飼い方を周知した。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・狂犬病予防注射の実施について、広報紙等で広くPRし、未実施者には葉書や電話で催告する。</li> <li>・ペットの適正飼育に努めてもらうよう、マナーに対する意識啓発活動として「犬と猫の飼い方教室」(御殿場保健所主催)を実施する。</li> <li>・飼い猫の不妊手術に対する補助事業を継続し、野良猫の増加を抑制し、住民の生活環境を保全する。</li> <li>・小山ライオンズクラブ等ボランティア活動で地域清掃を実施している団体等を支援する。</li> <li>・飼い主のいない猫を地域で管理するための、地域猫活動を推進する。</li> </ul>

		平成29年度(昨年度)	平成30年度(本年度)	平成31年度(来年度)	平成32年度(2年後)	平成33年度(3年後)
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・春、秋の一斉清掃や富士山一斉清掃を実施した。</li> <li>・狂犬病予防注射の実施について、広報紙等を使い広くPRし、未実施者には葉書や電話で催告した。</li> <li>・臨時職員賃金(不法投棄パトロール)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春、秋の一斉清掃や富士山一斉清掃を実施する。</li> <li>・狂犬病予防注射の実施について、広報紙等を使い広くPRし、未実施者には葉書や電話で催告する。</li> <li>・ペット同行避難訓練を実施する。</li> </ul>			
	事業費 (千円)	H29年度(決算額(実績))	H30年度(予算現額)	H31年度(予算要求額)	H32年度(計画額)	H33年度(計画額)
	国・県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特定財源	0	0			
	一般財源	5,003	427			
	事業費計	5,003	427			

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

上水道資本的事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	1-5	会計区分	51	水道事業会計	
新番号	10501		基本目標	便利で快適なまち	予算科目	款		
			基本施策	安全な水の安定供給		項		
			施策分野	上水道		目		
(旧番号)	(10501)	担当部課	経済建設部 - 上下水道課	事業				

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>適正な上水道水源施設の整備及び上水道第6期拡張事業に伴う配水施設の整備を行い、安全な水の安定供給に努める。</li> <li>耐震継手を有する水道管の採用を行い、耐震化率の向上を目指す。また経年管（老朽管）の更新を行い、安全な水の安定供給を図る。</li> <li>震災時の避難箇所や病院等への給水を最優先した計画的な事業推進を行い、安全な水の安定供給を図る。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<p>上水道第6期拡張事業において、平成29年度に工事予定の配水管布設延長L=2,785mに対し、実績はL=1,032mであった。減の主な要因は、湯船原送・配水管布設工事、新東名建設工事に伴う町道3866号線配水管布設替工事等の3事業について、平成30年度へ事故繰越したものである。その他の工事については計画どおり進んでいる。</p> <p>管路耐震化率については毎年1%向上を目標としているが、平成29年度末の管路耐震化率は22.5% (37,386/165,904) と前年度に比べ0.4%の伸び率となった。主要な幹線（φ150以上）の管路耐震化率については前年度より0.3%向上し32.6%となったが、目標の1%には及ばなかった。</p>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○上水道第6期拡張事業に加え、内陸フロンティア事業及び新東名建設に伴う配水管整備工事を継続実施する。</li> <li>○上水道第6期拡張事業については、老朽化した配水池の更新を行い、安心・安定な供給を図る。また、配水管布設工事・老朽管布設替え工事を計画的に行い、管路耐震化率を毎年1%向上するように事業を実施する。</li> <li>○平成30年度に作成する小山町上水道基本計画により、水の有効利用、安定供給を図る。 (配水池築造：平成32年度 須走低区配水池築造予定)</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>水源施設の機械・電気設備交換工事を実施</li> <li>配水池築造工事及び配水管布設工事を実施 (配水池築造：高原会配水池・湯船原工業団地配水池) (配水管布設：耐震化率22.5%)</li> <li>新東名建設に伴う配水管切り直し工事を実施</li> <li>柴怒田大橋架け替えによる配水管切り直し工事を実施</li> <li>老朽管布設替え計画の策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水源施設の機械・電気設備交換工事を実施(宿水源、棚頭第2水源ポンプ)</li> <li>配水管布設工事を実施。 (配水管布設：耐震化率24%目標)</li> <li>新東名建設に伴う配水管切り直し工事を実施</li> <li>(新)小山町上水道基本計画を作成</li> <li>(新)老朽管及び老朽施設の更新事業の実施(9条) 【H29⇒H30繰越】</li> <li>①湯船原工業団地送・配水管布設工事 ②新東名建設に伴う町道3866号線配水管布設替工事 ③新東名建設に伴う県道須走小山線仮設配水管布設工事 ④小山湯船原工業団地配水池建設工事</li> </ul>			
	事業費 (千円)	財源内訳	H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）
		国・県支出金	196,965	30,010		
		地方債	122,500	120,000		
		その他特定財源	41,976	60,952		
		一般財源	312,528	303,434		
		事業費計	673,969	514,396		

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

公共下水道事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	1-6	会計区分	17	下水道事業特別会計
新番号	10601		基本目標	便利で快適なまち	予算科目	款	
			基本施策	適切な汚水処理の推進		項	
			施策分野	汚水処理		目	
(旧番号)	(10603)	担当部課	経済建設部 - 上下水道課	事業			

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・須走浄化センター長寿命化計画に基づき、処理施設の計画的な改修を行うことにより、安定した汚水処理及びライフサイクルコストの最小化を図る。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度須走浄化センター長寿命化計画に基づき、機械設備工事（受水槽、汚泥破碎機、濃縮汚泥移送ポンプ、汚泥貯留槽用送風機）、電気設備工事（No.1MLSS計、脱水機汚泥供給濃度計）の交換を実施した。委託事業については、詳細設計業務の実施により事業進捗が図れた。また、平成31年度以降実施予定の更新工事に対し、補助採択に向けてストックマネジメント計画を策定した。</li> <li>・下水処理施設の計画的な改修を行い、安定した汚水処理・水質浄化を図ることができた。今後も、須走浄化センターの計画的な改修を行い、目標値を達成する。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道施設の計画的な改築・更新に対する長寿命化整備工事の実施。</li> <li>・長寿命化計画の進捗状況を精査し、ストックマネジメント計画に移行する。</li> <li>・ストックマネジメント計画に基づき、須走浄化センター及び下水道管、マンホールポンプ施設等の維持管理を計画的に実施する。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・長寿命化計画に基づく機械・電気設備工事（社交金）</li> <li>機械設備 (受水槽、汚泥破碎機、濃縮汚泥移送ポンプ、汚泥貯留槽用送風機)</li> <li>電気設備 (No.1MLSS計、脱水機汚泥供給濃度計)</li> <li>・長寿命化計画に基づく実施設計</li> <li>電気設備（計装設備）</li> <li>・ストックマネジメント計画策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長寿命化計画に基づく機械・電気設備工事（社交金）</li> <li>機械設備 (圧力給水装置、次亜塩素酸ポンプ)</li> <li>電気設備 (放流流量計等)</li> <li>・ストックマネジメント計画の申請</li> </ul>			
	事業費 (千円)					
		H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）
財源内訳		国・県支出金	27,400	27,500		
		地方債	19,000	22,500		
		その他特定財源	0	0		
		一般財源	11,046	396		
		事業費計	57,446	50,396		

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

浄化槽設置推進事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	1-6	会計区分	1	一般会計	
新番号	10602		基本目標	便利で快適なまち	予算科目	款	4	衛生費
			基本施策	適切な汚水処理の推進		項	2	環境保全費
(旧番号)	(10602)		施策分野	汚水処理		目	1	環境保全総務費
		担当部課	未来創造部 - おやまで暮らそう課	事業		6	浄化槽設置推進事業費	

事業概要	・下水道処理施設設置区域外において合併処理浄化槽を設置する者に対し、浄化槽設置奨励事業補助金を交付して、適切な汚水処理を推進する。
事業の成果 (課題・反省点を含む)	・合併処理浄化槽設置補助金として、5人槽「34基」、7人槽「9基」、10人槽「5基」で、合計17,796千円交付し、町内河川の浄化に寄与した。 ・補助対象48件のうち45件が新設案件であり、補助金制度の継続により町内への個人住宅建築促進を図ることができた。
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	・今後も合併処理浄化槽設置補助金の交付を推進し、町内河川の環境保全を図る。

事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)	平成29年度(昨年度)	平成30年度(本年度)	平成31年度(来年度)	平成32年度(2年後)	平成33年度(3年後)					
		・合併処理浄化槽を設置する個人から補助金申請を受付、設置後の完了検査により適正であることを確認し、補助金を交付する。  補助金額(一律) 5人槽=332千円 7人槽=414千円 10人槽=548千円  財源 国=1/3 県=国の36% 町=54.67%	・合併処理浄化槽を設置する個人から補助金申請を受付、設置後の完了検査により適正であることを確認し、補助金を交付する。  補助金額(一律) 5人槽=332千円 7人槽=414千円 10人槽=548千円  財源 国=1/3 県=国の36% 町=54.67%							
事業費 (千円)	H29年度(決算額(実績))		H30年度(予算現額)		H31年度(予算要求額)		H32年度(計画額)		H33年度(計画額)	
	国・県支出金	9,264	8,572							
	地方債	0	0							
	その他特定財源	0	0							
	一般財源	8,532	10,386							
事業費計	17,796	18,958								

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

都市計画事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	1-7		会計区分	1	一般会計	
新番号	10701		基本目標	便利で快適なまち		予算科目	款	7	土木費
			基本施策	活力ある土地利用の推進			項	4	計画調査費
(旧番号)	(10701)		施策分野	土地利用			目	2	都市計画費
		担当部課	未来創造部 - 都市整備課		事業		2	都市計画費	

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合計画や都市計画マスタープラン等との整合性を図り、現在の社会情勢等を踏まえた上で将来の都市像を明確に示すことにより定住人口の拡大、町の活性化に寄与する。</li> <li>・市街化調整区域内の開発済の土地の有効利用を図り、町の活性化に寄与する。</li> <li>・都市計画マスタープランに基づき、近年の社会情勢に併せた計画推進を図る。</li> <li>・スマートICを活用した土地利用を計画的に進める。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定住人口の拡大に向け、優良田園住宅変更基本方針(リバーガーデンタウン)を策定した。</li> <li>・都市計画法第34条第2号の運用基準に基づき1件を受け、観光資源の有効な利用上必要な既存施設の土地利用の誘導を図った。</li> <li>・足柄SA周辺地区土地利用事業を推進するため関係各課と協議を行った。</li> <li>・明倫地区の土地利用を促進するため、地権者を含めた勉強会を開催した。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市街化区域内の未利用地の宅地化を推進し、定住人口の拡大を図る。</li> <li>・スマートIC周辺の土地利用を計画的に推進しながら地域の魅力を向上させ、コンパクトな市街地を形成するとともに、各地域の連携を強化する。</li> <li>・都市計画区域区分(線引き)見直しの可能性について調査を行う。</li> <li>・新規都市計画事業を検討する。</li> </ul>

		平成29年度(昨年度)	平成30年度(本年度)	平成31年度(来年度)	平成32年度(2年後)	平成33年度(3年後)
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画審議会を開催</li> <li>・足柄SA周辺地区土地利用事業の調整及び協議の実施</li> <li>・湯船原地区土地利用事業の調整及び協議の実施</li> <li>・小山町震災復興都市計画行動計画の策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画審議会の開催</li> <li>・湯船原地区(富士山麓フロンティアパーク区域)の地区計画を策定</li> <li>・都市計画図の電子化(H30・H31の2箇年)</li> <li>・菅沼地区土地整理事業の検討</li> <li>・区域区分(線引き)の見直し</li> </ul>			
	事業費 (千円)	H29年度(決算額(実績))	H30年度(予算現額)	H31年度(予算要求額)	H32年度(計画額)	H33年度(計画額)
	国・県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特定財源	167	245			
	一般財源	2,767	67,755			
	事業費計	2,934	68,000			

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

足柄地区拠点整備事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	1-7		会計区分	1	一般会計	
新番号	10702		基本目標	便利で快適なまち		予算科目	款	7	土木費
			基本施策	活力ある土地利用の推進			項	4	計画調査費
(旧番号)	(10706)		施策分野	土地利用			目	2	都市計画費
		担当部課	未来創造部 - 都市整備課		事業		5	足柄地区拠点整備事業費	

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>足柄支所と駅舎等の複合施設の整備を推進し拠点整備を行うことで、足柄地域の活性化を図る。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>足柄支所と駅舎の複合施設（足柄駅交流センター(仮称)）について、JRと適宜打合せを行い、整備計画についての協議書を提出し、覚書や補償契約を行うためのスキームを作成した。</li> <li>足柄駅交流センター(仮称)建設工事基本設計業務委託について、公募型プロポーザル方式により業者の選定を行うため、実施要綱及び実施要領、審査会設置要領を策定して募集を開始し、一次審査により技術提案書の提出者の選定を行った。</li> <li>足柄駅交流センター敷地は賃貸借の方向で調整しているが、未だ金額が確定していない。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>足柄地区の活性化を促進するため、平成32年度5月末までに足柄駅交流センターを完成させ、魅力ある拠点整備を行う。</li> <li>駅前広場について、駐車場や車両動線について検討し、東京オリンピック・パラリンピック関連のイベントにも対応出来るよう整備する。</li> <li>JR東海静岡支社との土地賃貸借契約を締結する。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関との各種協議、調整等</li> <li>(仮称)足柄駅交流センター基本設計業務委託公募型プロポーザルの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(仮称)足柄駅交流センター基本設計 4,968千円</li> <li>足柄駅交流センター実施設計業務の実施 15,000千円</li> <li>地元検討委員会及び住民に対して説明会の実施</li> <li>JR東海静岡支社と整備に関する覚書を締結</li> </ul>			
	事業費 (千円)	H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）
	国・県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特定財源	0	31,000			
	一般財源	227	5,000			
	事業費計	227	36,000			

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

公共施設地区対応事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	1-8		会計区分		1	一般会計
新番号	10801		基本目標	便利で快適なまち		予算科目	款	7	土木費
			基本施策	便利で快適な道路網の整備			項	2	道路橋梁費
(旧番号)	(10813)		施策分野	道路網			目	2	道路維持費
		担当部課	経済建設部 - 建設課		事業		3	公共施設地区対応事業費	

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地区からの要望に対し、現場確認のうえ優先順位を付けて対応できる事業を実施する。また、道路パトロールの実施や住民からの連絡においても迅速かつ適切な対応を行う。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度は、地区要望343件に対して132件を実施した。(直営施工含む)</li> <li>国及び県関連要望は、49件を関係機関に進達した。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>引続き予算を確保し、地区要望とパトロール及び住民からの通報に対応して小規模修繕工事、舗装修繕工事等を実施する。</li> <li>要望提出に際し区内で優先順位をつけるなど、内容精査をしてもらうよう各区に働きかける。</li> <li>オリンピック開催に向けた路面損傷箇所の補修事業を実施する。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		要望に対しその内容を精査し、緊急性と優先度の高いものから順次実施した。  H29対応実績件数 181件 ・うち町への要望対応数 132件 ・県への進達数 44件 ・国、JR、ネクスコへの進達数 計5件	要望に対しその内容を精査し、緊急性と優先度の高いものから順次実施する。  H30要望総数(H30,9月現在) 354件 ・うち町への要望数 306件 ・県への進達数 44件 ・国、ネクスコ進達数 計4件			
	事業費 (千円)	H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）
	国・県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特定財源	0	0			
	一般財源	52,062	47,500			
	事業費計	52,062	47,500			

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

新東名関連町道整備事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	1-8		会計区分	1	一般会計	
新番号	10802		基本目標	便利で快適なまち		予算科目	款	7	土木費
			基本施策	便利で快適な道路網の整備			項	2	道路橋梁費
(旧番号)	(10803)		施策分野	道路網			目	4	公共道路整備事業費
		担当部課	経済建設部 - 建設課		事業		3	新東名関連町道整備事業費	

事業概要	・新東名小山スマートICの設置に合わせたアクセス道路の整備により、周辺地区の土地開発の推進、地域産業・観光振興・救急活動の迅速化の支援を図り「内陸フロンティア構想」を推進する。
事業の成果 (課題・反省点を含む)	・新東名高速道路本線の用地取得を行う中日本高速道路㈱と連携して町道3975号線の用地確保に努めた結果、全ての契約を完了した。 ・小山PA周辺アクセス道路である町道3628号線について用地確保に努めた結果、全ての契約を完了した。
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	・用地補償の契約完了により工事が中心となっているが、中日本高速道路㈱への委託事業もあることから、引き続き緊密な連携をとって進めていく。 ・中日本高速道路㈱との調整を進め、平成32年度の町道3975号線及び小山PA周辺アクセス道路(3628号線)の完成を目指す。

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・3975号線と3628号線の用地取得及び物件移転補償を完了した。</li> <li>・3975号線新設及び3628号線付替工事を中日本高速道路㈱への工事委託により継続実施した。(大御神)</li> <li>・3628号線のうち、町施工区域の道路改良工事に着手した。</li> </ul> <p>【H28⇒H29繰越明許】 5,582千円・3975号線道路用地取得及び物件補償</p> <p>【H28⇒H29逡次繰越】 11,468千円・3975号線道路新設及び3628号線付替工事(用沢)</p> <p>※社会資本整備交付金から地方道事業費補助金へ移行した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中日本高速道路㈱に委託している3975号線新設及び3628号線付替工事(用沢)を継続実施する。</li> <li>・小山SICアクセス道路(3628号線)及びラウンドアバウト整備工事に着手する。</li> </ul> <p>【H29⇒H30繰越明許】 13,400千円・町道3628号線道路改良工事(大御神)</p> <p>【H29⇒H30逡次繰越】 6,571千円・町道3975号線新設及び3628号線付替工事(用沢)</p>			
	事業費 (千円)		H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）
財源内訳		国・県支出金	166,001			
		地方債	124,500			
		その他特定財源	0			
		一般財源	37,285			
		事業費計	327,786			

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

東名足柄関連町道整備事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	1-8		会計区分	1	一般会計	
新番号	10803		基本目標	便利で快適なまち		予算科目	款	7	土木費
			基本施策	便利で快適な道路網の整備			項	2	道路橋梁費
(旧番号)	(10815)		施策分野	道路網			目	4	公共道路整備事業費
		担当部課	未来創造部 - 未来拠点課		事業		7	東名足柄関連町道整備事業費	

事業概要	・東名足柄スマートICの設置に合わせたアクセス道路の整備により、周辺地区の土地開発の推進、地域産業・観光振興・救急活動の迅速化の支援を図り「内陸フロンティア構想」を推進する。
事業の成果 (課題・反省点を含む)	・東名足柄スマートICのアクセス道路の道路改良・舗装工事を実施した。 ・東名足柄スマートICのアクセス道路の安全施設（標識・照明灯等）設置工事を実施した。 ・東名足柄スマートICへの取付町道整備工事をNEXCO中日本㈱へ委託した。
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	・東名足柄スマートICの整備及びアクセス道路の工事施工を進め、計画どおり開通する。 ・スマートICの整備効果を高めるため、周辺の土地開発事業について民間事業者と協力して推進を図り、地域産業・観光振興の活性化につなげていく。 ・スマートICの整備効果等を検証するため、開通6か月後・1年後の事後評価を実施する。

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>町道2414号線ほか5件道路改良舗装工事</li> <li>町道2316号線ほか6件道路改良舗装工事</li> <li>町道2451号線ほか2件道路改良工事委託</li> <li>町道2414号線標識照明灯設置工事</li> </ul> <p>【H28→H29繰越明許費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>足柄SIC下り線事業用地取得 38,000千円</li> <li>町道2414号線道路改良舗装工事 270,487千円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町道2451号線ほか1件舗装新設工事委託</li> <li>足柄SIC標識設置工事</li> </ul> <p>・平成30年度末 スマートICの供用開始（開通式の実施）</p> <p>【H29→H30繰越明許費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>委託料 6,588千円</li> <li>工事請負費 25,980千円</li> </ul> <p>【遁次繰越】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>委託料 37,283千円</li> </ul>			
	事業費 (千円)	財源内訳	H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）
	国・県支出金	198,758	53,457			
	地方債	151,800	39,200			
	その他特定財源	0	0			
	一般財源	28,771	66,390			
	事業費計	379,329	159,047			

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

町道整備事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	1-8	会計区分	1	一般会計	
新番号	10804		基本目標	便利で快適なまち	予算科目	款	7	土木費
			基本施策	便利で快適な道路網の整備		項	2	道路橋梁費
(旧番号)	(10804)		施策分野	道路網		目	3	町道整備事業費
		担当部課	経済建設部 - 建設課	事業		2	町道整備事業費	

事業概要	・地域道路交通網を計画的に整備し、生活利便性の向上を図り、安全と安心につながる町道整備事業を進める。
事業の成果 (課題・反省点を含む)	・地域道路交通網の整備として狭隘道路の拡幅整備を推進し、通行車両及び歩行者の安全確保と生活利便性の向上に寄与した。 ・損傷路面と未舗装道路の舗装整備を推進し、通行車両及び歩行者の安全確保と生活利便性の向上に寄与した。
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	・通行車両及び歩行者の安全確保と生活利便性の向上のため、計画的に町道整備を行うと共に交通事故の削減に繋がる整備を行う。

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		効果的な町道整備事業を推進し生活利便性の向上に努めた。 ・町道2076号線改良舗装工事（竹之下）外5件 ・町道1004号線実施設計業務委託（藤曲）外4件  【防衛9条事案】 ・町道下小林1号線改良舗装工事（一色）  【H28→H29繰越明許】 9,502千円・町道1288号線外実施設計業務委託	効果的な町道整備事業を推進し生活利便性の向上に努める。 ・町道1288号線待避所設置工事（南藤曲）外1件 【防衛9条事案】 ・町道4211号線実施設計業務委託（須走） ・町道原向中日向線舗装補修工事（菅沼） ・町道3618号線舗装新設工事（棚頭）  【H29→H30繰越明許】 44,841千円・町道1004号線改良舗装工事（藤曲） 【H29→H30事故繰越】 10,688千円・町道4198号線改良舗装工事（須走）外1件			
	事業費 (千円)	H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）
	国・県支出金	0	55,000			
	地方債	0	0			
	その他特定財源	11,486	35,000			
	一般財源	187,116	153,320			
	事業費計	198,602	243,320			

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

公共道路整備事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	1-8		会計区分	1	一般会計	
新番号	10805		基本目標	便利で快適なまち		予算科目	款	7	土木費
			基本施策	便利で快適な道路網の整備			項	2	道路橋梁費
(旧番号)	(10801)		施策分野	道路網			目	4	公共道路整備事業費
		担当部課	経済建設部 - 建設課		事業		2	公共道路整備事業費	

事業概要	・生活拠点となる小・中学校周辺の道路整備を計画的に推進するとともに、三来拠点事業に合せた「街づくり」の展開として主要路線の整備事業を推進する。
事業の成果 (課題・反省点を含む)	・新東名高速道路の工事用道路を兼ねる町道3975号線(一色工区)の整備により、中日本高速道路㈱が進めている新東名高速道路の本線工事の推進を図ることができた。 ・町道大胡田用沢線、町道用沢大御神線の実施設計が完了し、隣接区域で静岡県が実施中の圃場整備事業の工程に合わせて事業の進捗を図った。
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	・工事着工済み路線の町道3975号線の整備事業を計画的に推進し、幹線道路の利便性向上と通学路等の安全確保を早期に図る。 ・町道大胡田用沢線、町道用沢大御神線の用地取得、町道足柄三保線等の調査設計を計画的に実施し、早期の工事着手を目指す。

		平成29年度(昨年度)	平成30年度(本年度)	平成31年度(来年度)	平成32年度(2年後)	平成33年度(3年後)
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		主要町道の拡幅等整備事業を実施した。  ・町道3975号線改良舗装工事(一色・大御神)  【H28⇒H29線越明許】 25,593千円 ・町道大胡田用沢線外1路線測量設計業務	主要町道の拡幅等整備事業を継続実施する。  ・町道3975号線改良舗装工事(大御神) ・町道大胡田用沢線外1用地買収・物件補償(用沢)  【H29⇒H30通次線越】 236千円 ・町道3975号線改良舗装工事(一色) 【H29⇒H30線越明許】17,780千円 ・1065号線道路改良舗装工事  (社会資本総合整備計画(第2期)に移行)			
	事業費 (千円)					
		H29年度(決算額(実績))	H30年度(予算現額)	H31年度(予算要求額)	H32年度(計画額)	H33年度(計画額)
財源内訳		国・県支出金	53,881	62,607		
		地方債	39,500	0		
		その他特定財源	0	0		
		一般財源	5,937	70,952		
		事業費計	99,318	133,559		

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

都市計画道路整備事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	1-8		会計区分	1	一般会計	
新番号	10806		基本目標	便利で快適なまち		予算科目	款	7	土木費
			基本施策	便利で快適な道路網の整備			項	4	計画調査費
(旧番号)	(10806)		施策分野	道路網			目	2	都市計画費
		担当部課	未来創造部 - 都市整備課		事業		3	都市計画道路整備事業費	

事業概要	・都市計画道路の整備事業を進めるとともに、再検証業務の結果を基に都市計画道路の一部区間の見直しを行う。
事業の成果 (課題・反省点を含む)	・都市計画道路大胡田用沢線整備として、地権者と交渉を重ね用地を6筆（1081㎡）取得した。次年度補償物件について精査をし、関係各所と協議を行った。
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	・都市計画道路大胡田用沢線については、地権者、関係者と交渉を行い工事の早期完了及び沿線の土地利用を推進する。 ・関係各課と情報共有し、便利で安全に通行できる道路ネットワークの形成を目指す。

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)	大胡田用沢線の整備に向けた業務	大胡田用沢線の整備に向けた業務 ・用地買収(28,035千円) ・物件補償(163,472千円) ・物件調査委託(時点修正)(4,860千円) ・不動産鑑定(時点修正)(86千円)	大胡田用沢線の整備に向けた業務 ・用地買収(4,609千円) ・物件補償償還金(85,177千円) ・工事(13,000千円)			
	事業費 (千円)	H29年度(決算額(実績))	H30年度(予算現額)	H31年度(予算要求額)	H32年度(計画額)	H33年度(計画額)
	国・県支出金	103,400	50,000			
	地方債	76,100	45,000			
	その他特定財源	0	0			
	一般財源	19,628	38,029			
	事業費計	199,128	133,029			

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

防衛施設道路整備事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	1-8	会計区分	1	一般会計	
新番号	10807		基本目標	便利で快適なまち	予算科目	款	7	土木費
			基本施策	便利で快適な道路網の整備		項	2	道路橋梁費
(旧番号)	(10802)		施策分野	道路網		目	5	防衛施設道路整備事業費
		担当部課	経済建設部 - 建設課	事業		2	防衛施設道路整備事業費	

事業概要	・国道138号へ交差している町道3866号線舗装補修工事を推進し、通行車両及び歩行者の安全を確保する。
事業の成果 (課題・反省点を含む)	・国道246号と演習場を結ぶアクセス道路の内、自衛隊車両の往来による舗装の劣化が著しい区間の補修及び狭隘部拡幅により通行車両の安全が図られた。
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	・集落と演習場を結ぶアクセス道路として、町道上野大御神線L=1,780mを整備し自衛隊車両の往来による舗装の劣化や車両の大型化により、歩行者の安全が損なわれているため、歩道及び自転車道の整備を行い、現状を改善していく。

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		町道の改良及び舗装工事を実施し改善に努めた。  [町道3866号線改良舗装工事の実施]  ・狭隘部L=582mの道路設計及び改良舗装工事を行った。  【H28→H29繰越明許費】 67,287千円 ・町道3866号線舗装補修工事	町道の改良及び舗装工事を実施し改善に努める。  [町道上野大御神線改良舗装工事(その1)の実施]  ・L=445mの道路設計を行う。 ・計画区間の用地買収及び物件補償 ・L=880mの改良舗装工事を行う。  【H29→H30繰越明許費】 74,081千円 ・町道3866号線道路改良舗装工事			
	事業費 (千円)	H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）
	国・県支出金	42,377	330,409			
	地方債	0	0			
	その他特定財源	648	0			
	一般財源	102,932	403,877			
	事業費計	145,957	734,286			

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

道路構造物長寿命化事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	1-8		会計区分	1	一般会計	
新番号	10808		基本目標	便利で快適なまち		予算科目	款	7	土木費
			基本施策	便利で快適な道路網の整備			項	2	道路橋梁費
			施策分野	道路網			目	4	公共道路整備事業費
(旧番号)	(10805)	担当部課	経済建設部 - 建設課		事業		4	道路構造物長寿命化事業費	

事業概要	・道路構造物長寿命化修繕計画に基づき、橋梁等の長寿命化を推進するとともに、維持管理の軽減を図り、道路構造物の健全度を確保する。
事業の成果 (課題・反省点を含む)	・橋梁の法定定期点検、及び、橋梁長寿命化修繕計画に基づく橋梁補修工事を順次実施し、橋梁の長寿命化を推進した。
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	・橋梁については、橋梁長寿命化修繕計画に基づき重要橋梁の修繕工事を順次実施し長寿命化を推進する。また、法定定期点検の結果を反映し、長寿命化修繕計画の修正、新規策定等を適時実施しながら重要構造物の適切な維持補修を推進する。 ・法面・擁壁、舗装及び道路付属物については、各施設ごとの長寿命化修繕計画に基づき修繕工事に着手する。

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		○道路構造物修繕 道路構造物の長寿命化修繕工事を計画的に実施した。 ・橋梁補修工事（2橋）古城橋、向原橋 ○道路構造物点検 道路構造物の点検を実施し、構造物の健全度を把握した。 ・橋梁定期点検（24橋） ・大型ガバート（3基） ・個別施設長寿命化計画策定（道路付属物）1.0式  【H28⇒H29繰越明許】 8,716千円 ・橋面補修工事（3橋）陣馬橋、あざみづか橋、原坂橋 【H28⇒H29繰越明許】 8,326千円 ・橋梁定期点検（21橋）	○道路構造物修繕 道路構造物の長寿命化修繕工事を計画的に実施する。 ・橋梁補修工事（5橋）向原橋、南ノ原橋、向田橋、小山犬の平線無名橋、古城橋 ○道路構造物点検 道路構造物の点検を実施し、構造物の健全度を把握する。 ・橋梁定期点検（16橋）  【H29⇒H30繰越明許】 64,785千円 ・橋梁補修工事（2橋）向原橋、南ノ原橋			
	事業費 (千円)	H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）
	国・県支出金	20,064	116,985			
	地方債	6,400	84,700			
	その他特定財源	0	0			
	一般財源	15,623	16,200			
	事業費計	42,087	217,885			

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

工業団地アクセス道路整備事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	1-8		会計区分	1	一般会計	
新番号	10813		基本目標	便利で快適なまち		予算科目	款	7	土木費
			基本施策	便利で快適な道路網の整備			項	2	道路橋梁費
(旧番号)			施策分野	道路網			目	4	公共道路整備事業費
		担当部課	未来創造部 - 未来拠点課		事業		5	工業団地アクセス道路整備事業費	

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道246号から湯船原地区内の工業団地へのアクセス道路の整備により企業活動の利便性を図るとともに、周辺地区の土地開発の推進、地域産業・観光振興、救急活動の迅速化の支援を図り「内陸フロンティア構想」を推進する。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町道3099号線（国道246号アクセス道路）は、関係機関と協議をおこない実施設計を作成した。</li> <li>・町道3078号線は、実施設計、用地測量成果に基づき、用地買収に着手した。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国交省と連携を図りながら用地買収を早期に完了し、円滑な工事進捗を図る。</li> <li>・上野工業団地造成事業、県営畑地帯総合整備事業等の他事業スケジュールと調整を図り、適正な工程管理に努める。</li> <li>・社会資本総合整備事業の重点整備地区に位置付け、道路のネットワーク化を推進する。（平成34年度まで）</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）				
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		◎町道3099号線：国道246アクセス道路 L=700m 幅員9.5m 総工事費770,000千円 (平成30～34年度) ・実施設計	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町道3099号線整備工事 C=100,000千円</li> <li>・町道3078号線整備工事 C=200,000千円</li> </ul> ※社会資本整備総合交付金 (工業団地アクセス道路) 補助率55% ・町道3078号線調整池移設工事 ・用地買収							
		◎町道3078号線：南北幹線道路 L=500m 幅員12m 総工事費300,000千円 (平成30～31年度) ・用地買収	【H29→H30繰越明許】 ・委託料 4,000千円 ・公有財産購入費 120,000千円							
事業費 (千円)	H29年度（決算額（実績））		H30年度（予算現額）		H31年度（予算要求額）		H32年度（計画額）		H33年度（計画額）	
	財源内訳	国・県支出金	0	165,000						
		地方債	0	121,500						
		その他特定財源	0	0						
		一般財源	14,604	94,542						
	事業費計	14,604	381,042							

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

地域公共交通活性化事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	1-9		会計区分	1	一般会計	
新番号	10901		基本目標	便利で快適なまち		予算科目	款	2	総務費
			基本施策	公共交通の活性化			項	7	企画渉外費
(旧番号)	(10901)		施策分野	公共交通			目	1	企画渉外総務費
		担当部課	企画総務部 - 町長戦略課		事業		3	地域公共交通活性化事業費	

事業概要	・金太郎公共交通計画に基づき、「自主運行バスの運行」「生活確保維持路線に対する補助の実施」「JR御殿場線の利用促進」等を実施し、持続可能な地域公共交通ネットワークサービスの推進を図る。
事業の成果 (課題・反省点を含む)	・御殿場線活用推進協議会によるJRへの要望活動により、平成31年度から足柄駅以東の全ての駅でのICカード導入が決定したが、国府津～御殿場間の増便や、駿河小山駅の改修、JR東海とJR東日本の跨ぎ乗継問題等、課題は多く残っている。 ・コミュニティバス利用促進の一環として、公共交通フォーラムを開催し、バスを身近に感じてもらう取組を実施した。しかし、依然として利用者は伸び悩んでおり、運行ルートや時刻、別の公共交通手段も含めた抜本的な見直しが必要である。 ・自主運行バスと実証実験バスとで分かれていた時刻表を統合した、コミュニティバス全体のマップを作成し、全戸配布を行った。
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	・御殿場線活用推進協議会によるJR等への要望活動を引き続き行い、輸送力強化やバリアフリー促進等を進める。 ・コミュニティバス全体の見直しを行い、利用実態や運行ルート、運行時間帯等を精査する。また、別の公共交通手段を検討し、小山町に最適な公共交通のあり方を検討し、実施する。

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>小山町地域公共交通網形成計画（改訂版 金太郎 公共交通計画）事業実施</li> <li>新公共交通手法の視察、検討</li> <li>統合型バスマップの作製、全戸配布</li> <li>パークアンドライド事業（松田町営駐車場賃借） ※H29年10月より3区画増</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小山町地域公共交通網形成計画（改訂版 金太郎 公共交通計画）事業実施</li> <li>コミュニティバスの抜本的な見直し（新しい公共交通手法の導入検討等）</li> <li>パークアンドライド事業（松田町営駐車場賃借）</li> </ul>			
	事業費 (千円)					
		H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）
	国・県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特定財源	1,621	1,620			
	一般財源	69,473	54,651			
	事業費計	71,094	56,271			

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

建築指導事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	1-10	会計区分	1	一般会計	
新番号	11001		基本目標	便利で快適なまち	予算科目	款	7	土木費
			基本施策	良好な住環境の実現		項	5	住宅費
			施策分野	住環境		目	2	建築指導費
(旧番号)	(11001)	担当部課	未来創造部 - 都市整備課	事業		2	建築指導費	

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新耐震基準以前に施工された木造住宅の耐震診断・計画・補強工事に対して費用の一部を助成する。</li> <li>・住宅等建設時の接道及び高さ制限等、建築基準法に関する指導を行うとともに、違法建築物を抑止する。</li> <li>・町有施設の建築工事、改修工事に関する施工の監督指導を行い、工期内の施工完了、不正防止に努める。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震診断、耐震計画、補強工事等を実施した方への助成及び事業実施に向けた啓発活動として各戸訪問を実施し、町内住宅の耐震化率向上に努めた。</li> <li>・建築確認申請や長期優良住宅認定申請等の事務処理を速やかに行い、申請者の住宅等建築がスムーズに行えるように関係機関と連絡調整を実施した。</li> <li>・17件の町有施設改修工事（うち新築5件）の監督員業務を実施し、高品質で使いやすい施設整備、早期完了に努めた。</li> <li>・詳細な図面や積算根拠となる内訳書の無い設計施工プロポーザル事業においては、出来栄えや施工に関する指導・監督に努めた。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模地震時に建物倒壊のゼロを目指し、県や防災課とも共同し引き続き木造住宅の耐震化率を高める。</li> <li>・建築基準法に対する理解を深め、定住促進につながる建築指導を行なうとともに違法建築物防止に努める。</li> <li>・営繕工事において、不適切な工期設定・積算基準に基づかない工事価格・根拠のない安易な事業計画とならないよう事業担当を指導する。</li> <li>・町有施設の新設・改修工事に関する施工監理を行い、工期内に施工完了となるよう指導する。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		○TOUKAI-0 ・耐震診断 65件 (委託料：46,320円/戸) (国：1/2、県：3/8、町：1/8) ・耐震計画 27件 (補助基準額：144,000円) (補助金額：基準額×2/3、高齢者世帯は3/3) (国：1/3、県：1/6、町：1/6) ・耐震補強 28件  ○確認申請等受付業務 沼津土木事務所建築住宅課と各種協議  ○町有施設建設等 新規工事、改修工事等の監督員業務	○TOUKAI-0 ・耐震診断 50件（予定） (委託料：46,320円/戸) (国：1/2、県：3/8、町：1/8) ・耐震計画 20件（予定） (補助基準額：144,000円) (補助金額：基準額×2/3、高齢者世帯は3/3) (国：1/3、県：1/6、町：1/6) ・耐震補強 20件（予定）  ○確認申請等受付業務 沼津土木事務所建築住宅課と各種協議  ○町有施設建設等 新規工事、改修工事等の監督員業務			
	事業費 (千円)					
		H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）
	財源内訳	国・県支出金 19,830	12,339			
		地方債 0	0			
		その他特定財源 0	0			
		一般財源 10,609	5,328			
		事業費計 30,439	17,667			

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

町営住宅維持管理事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	1-10	会計区分	1	一般会計	
新番号	11002		基本目標	便利で快適なまち	予算科目	款	7	土木費
			基本施策	良好な住環境の実現		項	5	住宅費
(旧番号)	(11002)		施策分野	住環境		目	1	住宅管理費
		担当部課	未来創造部 - おやまで暮らそう課	事業		2	町営住宅維持管理費	

事業概要	・小山町営住宅等長寿命化計画に基づき、町営住宅の管理、用途廃止及び建替えを実施する。
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南藤曲団地内に、ASUO（木造15戸）の団地を新築整備した。</li> <li>・町営住宅の適正管理と事務の効率化のため、静岡県住宅供給公社への管理業務委託の協議を整えた。</li> <li>・町営住宅等長寿命化計画に基づき大胡田団地、一色西裏団地の用途廃止及び解体を実施した。</li> <li>・小山町営住宅家賃管理条例に基づき19件、6,263,840円の回収不能な家賃を債権放棄した。</li> <li>・小山町営住宅等長寿命化計画の変更計画を策定した。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小山町営住宅等長寿命化計画に則り適正管理戸数に向け計画的な用途廃止、継続使用する住宅は大規模修繕等を実施し良好な公営住宅の管理・運営に努める。</li> <li>・原向団地、湯船団地の一部、滝の台団地の用途廃止・解体を実施する。特にこども園建設予定地である北原団地については、平成31年度に解体を完了できるよう移転・用途廃止を着実に実施する。</li> <li>・緑ヶ丘団地、南藤曲団地M棟の大規模修繕(外壁塗装、屋上防水)を計画的に実施する。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・用途廃止事務 一色西裏団地廃止・解体 大胡田団地廃止・解体</li> <li>・長寿命化計画の変更</li> <li>・静岡県住宅供給公社と管理委託に向けた協議</li> <li>【H28→H29繰越明許費】</li> <li>・一色西裏団地解体 6,696千円</li> <li>【新町営住宅整備】</li> <li>・南藤曲団地 木造15戸新築 144,980千円</li> <li>※事業費は別事業で計上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用途廃止事務 原向団地廃止・解体 湯船団地一部(3棟)廃止 滝の台団地移転交渉 北原団地移転交渉</li> <li>・新緑ヶ丘団地改修 1棟</li> <li>・南藤曲団地改修 1棟</li> <li>・静岡県住宅供給公社へ管理委託</li> </ul>			
	事業費 (千円)					
		H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）
事業費 (千円)	財源内訳	国・県支出金	0	14,175		
		地方債	0	0		
		その他特定財源	30,036	52,664		
		一般財源	6,696	11,618		
		事業費計	36,732	78,457		

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

都市公園維持管理事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	1-11	会計区分	1	一般会計	
新番号	11101		基本目標	便利で快適なまち	予算科目	款	7	土木費
			基本施策	公園・緑地整備の推進		項	4	計画調査費
(旧番号)	(11102)		施策分野	公園・緑地		目	3	公園等整備費
		担当部課	未来創造部 - 都市整備課	事業		3	都市公園維持管理費	

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市公園における遊具、休憩所、運動施設など多様な公園施設の経年劣化に対応した改築・更新を行う。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園の遊具等の点検を行い、不良箇所の修繕に努めたことにより安全性を確保した。</li> <li>・金時公園を多世代交流の場となるようリニューアルを実施した。</li> <li>・適切な維持管理を図る為、集落支援員制度を導入した。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊具、休憩所、運動施設など多様な施設の経年劣化に対応した改築・更新を行う。</li> <li>・公園維持に要する修繕等の実施。</li> <li>・集落支援員制度を活用した公園の維持管理や異常の有無等の状況観察の実施。</li> <li>・誓いの丘公園を整備し観光の拠点とする。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園の修繕及び草刈り等により利用者の安全性と快適性の確保に努めた</li> <li>・公園のトイレ・照明等に係る光熱水費等の支払業務</li> <li>・集落支援員による草刈り等の維持管理や状況観察の実施</li> <li>・金時公園のリニューアルを実施 (事業費は別事業として支出)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園の修繕及び草刈り等により利用者の安全性と快適性の確保に努める</li> <li>・公園のトイレ・照明等に係る光熱水費等の支払業務</li> <li>・集落支援員による草刈り等の維持管理や状況観察の実施</li> <li>・誓いの丘公園整備実施設計</li> </ul>			
	事業費 (千円)					
		H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）
	国・県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特定財源	1,361	2,900			
	一般財源	2,709	10,926			
	事業費計	4,070	13,826			

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

農村公園管理事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	1-11	会計区分	1	一般会計	
新番号	11102		基本目標	便利で快適なまち	予算科目	款	5	農林水産業費
			基本施策	公園・緑地整備の推進		項	1	農業費
(旧番号)	(11101)		施策分野	公園・緑地		目	11	農村公園管理費
		担当部課	未来創造部 - 都市整備課	事業		2	農村公園管理費	

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>農村公園における休憩所、運動施設など多様な公園施設の経年劣化に対応した修繕・更新を行い、利便性を向上させる。</li> <li>多目的広場等公園施設の活用方法について見直し、必要な整備を進めて利用の拡大を図る。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園施設管理委託契約により、経費の縮減を図るとともに、消耗品購入や施設修繕、AEDの設置などを行い利用者の利便性の向上に寄与した。</li> <li>親水護岸が完成し、鮎沢川で遊ぶ家族や釣り客などの利用が増加した。</li> <li>平成29年度は、前年度と比較しパークゴルフ利用者は267人増の1776人となり、また農村公園利用者も824人増の11,057人となったが、貸農園は3区画減の28区画の利用となっている。</li> <li>農村公園内にBBQガーデンを整備し、公園の魅力向上と利用者増を図った。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベント等の実施によるBBQガーデンの利用拡大を図る。</li> <li>足柄ふれあい公園内道路やこどもが遊べる遊具を整備し子育て世代の利用促進を図る。(事業費は農村公園整備費から支出)</li> <li>貸農園の広報や講習会等を実施し利用拡大を図る。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>農園利用区画数28区画（貸農園対象区画49区画）</li> <li>パークゴルフ利用者数1776人</li> <li>BBQガーデンの整備（事業費は別事業で支出）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農園利用区画数27区画</li> <li>パークゴルフ利用者数9月末現在888人</li> <li>芝生広場を活用したスポ・レクイベントの誘致、開催</li> <li>BBQガーデン利用者数9月末現在1574人</li> </ul>			
	事業費 (千円)					
		H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）
	国・県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特定財源	942	1,891			
	一般財源	4,688	5,748			
	事業費計	5,630	7,639			

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

豊門公園整備事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	1-11	会計区分	1	一般会計	
新番号	11104		基本目標	便利で快適なまち	予算科目	款	7	土木費
			基本施策	公園・緑地整備の推進		項	4	計画調査費
(旧番号)			施策分野	公園・緑地		目	3	公園等整備費
		担当部課	未来創造部 - 都市整備課	事業		5	豊門公園整備費	

事業概要	・豊門公園の再整備や、豊門会館及び西洋館の耐震工事、内外装の改修等を実施し、地域活性化の拠点としての利活用を図る。
事業の成果 (課題・反省点 を含む)	・豊門公園修景事業を実施した。 ・豊門会館及び西洋館の改修実施設計業務を実施した。
今後の展開 (事業の成果を 踏まえた今後の 展開)	・豊門公園、豊門会館、西洋館を一体的に整備する事により、文化財としての価値を高めると共に地域活性化の拠点としての利活用を図る。

事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)	平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
		<ul style="list-style-type: none"> <li>豊門公園修景事業(1)</li> <li>豊門会館及び西洋館改修実施設計</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊門会館改修工事</li> <li>管理運営に関する協議</li> </ul>		
事業費 (千円)	H29年度（決算額（実績））				
	国・県支出金	50,000	50,000		
	地方債	0	0		
	その他特定財源	127,242	153,500		
	一般財源	0	0		
	事業費計	177,242	203,500		
H30年度（予算現額）					
H31年度（予算要求額）					
H32年度（計画額）					
H33年度（計画額）					

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

社会福祉総務事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	2-1		会計区分	1	一般会計	
新番号	20101		基本目標	安心・安全なまち		予算科目	款	3	民生費
			基本施策	地域で支え合う福祉の推進			項	1	社会福祉費
(旧番号)	(20101)		施策分野	地域福祉			目	1	社会福祉総務費
		担当部課	住民福祉部 - 住民福祉課		事業		2	社会福祉総務費	

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小山町地域福祉計画の推進により、啓発広報活動や地域福祉ボランティア養成講座等の事業を展開する。</li> <li>・社会奉仕の精神をもって常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、社会福祉の増進に努めるものとする。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員児童委員による相談、助言、援助などの、活動日数が延べ5,420日、相談支援件数が536件と熱心な活動が行われた。</li> <li>・人権相談、人権教室等を実施した。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員児童委員による地域生活支援事業を継続する。</li> <li>・小山町地域福祉計画に基づき、ボランティア養成講座等を実施するとともに、障がい者団体支援の場の創設等、ボランティア活動の場を提供し、人材の育成を図る。</li> </ul>

事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)	平成29年度(昨年度)	平成30年度(本年度)	平成31年度(来年度)	平成32年度(2年後)	平成33年度(3年後)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域生活支援業務委託料 (民生委員児童委員協議会に委託) (調査内容)：母子父子家庭や、高齢者福祉行政等の各調査、高齢者等のふれあい茶論支援、見守り・情報収集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域生活支援業務交付金 (民生委員児童委員協議会に交付) (調査内容)：母子父子家庭や、高齢者福祉行政等の各調査、高齢者等のふれあい茶論支援、見守り・情報収集</li> <li>・社会福祉施設移転整備補助金</li> </ul>		
事業費 (千円)	H29年度(決算額(実績))				
	国・県支出金	172	472		
	地方債	0	0		
	その他特定財源	153	10		
	一般財源	3,089	11,512		
	事業費計	3,414	11,994		
H30年度(予算現額)					
H31年度(予算要求額)					
H32年度(計画額)					
H33年度(計画額)					

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

生活習慣病予防事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	2-2		会計区分		1	一般会計	
新番号			20201	基本目標	安心・安全なまち		予算科目	款	4	衛生費
(旧番号)			(20201)	基本施策	町民主体の健康づくりと地域医療の推進			項	1	保健衛生費
				施策分野	健康づくり・地域医療			目	3	健康づくり推進費
			担当部課	住民福祉部 - 健康増進課		事業		3	生活習慣病予防費	

事業概要	・元気にいきいきと生きることを町民自ら意識できるように、各種検診を活かし、生活習慣病の予防を自主的に行うことができるような支援事業を推進する。
事業の成果 (課題・反省点を含む)	・平成29年度の主要5大がん検診の受診者数は7,105人、受診率は平均33.9%で、前年度に比べ0.9ポイントの微増であるが、目標受診率の50%には及ばなかった。受診率算定のための対象者数の把握が、平成30年度実績からは国保被保険者に統一されるため、受診率向上のための効果的な勧奨対策の必要がある。 ・胃がん検診において国の指針に基づき、医師会をはじめ、関係機関との協議を進めた結果、従来のX線検査に加え、胃内視鏡検査が町内2医療機関で受診できる体制を整備した。・子宮がん検診、乳がん検診は誕生日検診で実施しているため、誕生日を過ぎた時点で未受診者を把握することができる。そのため、未受診者へ勧奨電話・再受診勧奨の通知を実施し、未受診者対策を講じた。
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	・受診率増加を図るため、各種団体、組織への積極的な呼びかけや啓発を行う。 ・乳がんマンモグラフィ検診は、受診者の利便性の向上のため、平成28年度から誕生日検診に移行し、受診率の向上を図るとともに未受診者対策も積極的に進めている。今後は、各種がん検診についても、国の指針に沿った内容で実施できるよう医師会と連携しながら準備を進めていく。 ・受診率だけでなく、要精密になった人の精密検査受診率を100%に近づける。 ・国の指針に基づき、胃がん検診の内視鏡検査について医師による複数読影検査体制を整備していく。

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>がん検診の実施、検診の案内、重要性の啓発、個別検診、集団検診の実施。</li> <li>平均受診率：33.9%</li> <li>胃がん検診内視鏡検査導入に向けた協議調整</li> <li>各種がん検診未受診者への再勧奨通知</li> <li>要精密者対策の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>がん検診の実施、検診の案内、重要性の啓発、個別検診・集団検診の実施。</li> <li>目標平均受診率：50%</li> <li>胃内視鏡検診導入（50歳以上隔年実施約600人）</li> <li>委託料 11,152千円</li> <li>各種がん検診未受診者への再勧奨通知</li> <li>要精密者対策の実施</li> </ul>			
	事業費 (千円)					
		H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）
	国・県支出金	2,520	1,685			
	地方債	0	0			
	その他特定財源	16,599	32,082			
	一般財源	24,313	21,335			
	事業費計	43,432	55,102			

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

健康増進事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	2-2	会計区分	1	一般会計	
新番号	20202		基本目標	安心・安全なまち	予算科目	款	4	衛生費
			基本施策	町民主体の健康づくりと地域医療の推進		項	1	保健衛生費
			施策分野	健康づくり・地域医療		目	3	健康づくり推進費
(旧番号)	(20202)	担当部課	住民福祉部 - 健康増進課	事業		2	健康増進事業費	

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種健康づくり教室、メンタルヘルスケア、食育等を通じた健康づくりを積極的に推進する。</li> <li>若年者の喫煙防止の啓発及び教育と禁煙支援を積極的に推進するとともに、受動喫煙を防止するため禁煙、分煙の環境整備を推進する。</li> <li>運動習慣推進事業を実施し、町民の健康増進を図る。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>レッツ5食育では子どもと共に、保護者へ健康的な食生活を啓発し、婦人会健康づくり食生活推進部と共に健康づくりイベント等での啓発を計り、多くの参加者を得た。アンケート調査から、子供達の料理に対する意欲が高まり、事業を支える支援者の自らの行動や認識が良い方向に変わったと評価できた。</li> <li>メンタルヘルスケアでは、臨床心理士によるココロの健康相談の実施回数を月1回から2回にするなど、相談体制の充実を図り利用者が大幅に増えた。</li> <li>がん検診での受動喫煙防止啓発や禁煙希望者への保健指導、町内高校や健康フェスタでの禁煙啓発を行い、若年者の喫煙防止を図った。</li> <li>お達者度向上と運動習慣推進を図るため、健康づくり推進協議会に専門部会を設置して推進体制を整備した。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3次小山町保健計画後期計画（平成30年度～）に基づき、多種多様な健康増進施策に努め、健康寿命の延伸を図る。</li> <li>食育事業では、レッツ5食育の継続実施を図るために食育ボランティア養成講座を実施していくと共に、成人・高齢者等に向けた食生活、栄養の情報提供に努めていく。</li> <li>運動習慣推進部会にて、運動習慣推進の各種対策と共に、新たにクアオルト健康ウォーキング事業の推進を図る。</li> <li>学校医や保健所と連携した、若年者への喫煙防止教育を行う。健康増進法改正に基づき受動喫煙を防止するための環境整備を図る。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		(1)健康教育、啓発事業 委託料855千円 ①運動習慣推進事業、自主グループへの運動講師派遣②ココロの健康相談③肺がん検診時の禁煙啓発、小学校への喫煙防止教育④小学1年生への巡回歯科教室、集団歯科指導、8020推進 (2)食育推進事業 委託料575千円 はじめてのクッキング、婦人会食推部講習、母子栄養指導、集団栄養指導、健診事後栄養相談、レッツ5食育、食育ボランティア養成講座 (3)健康づくり推進協議会等委員報酬（運動習慣推進体制の強化）304千円 (4)健康大学講座226千円	(1)健康教育、啓発事業 委託料805千円 ①運動習慣推進事業、自主グループへの運動講師派遣②ココロの健康相談③肺がん検診時の禁煙啓発、小学校への喫煙防止教育④小学1年生への巡回歯科教室、集団歯科指導、8020推進 (2)食育推進事業 委託料609千円 男性向け料理教室、婦人会食推部講習、母子栄養指導、集団栄養指導、健診事後栄養相談、レッツ5食育、食育ボランティア養成講座 (3)自殺対策事業（メンタルヘルス事業）の実施 (4)クアオルト健康ウォーキング事業の実施（健推協交付金900千円）			
	事業費 (千円)					
		H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）
財源内訳		国・県支出金 680	1,619			
		地方債 0	0			
		その他特定財源 0	0			
		一般財源 3,958	2,802			
		事業費計 4,638	4,421			

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

健康マイレージ事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	2-2		会計区分	1	一般会計	
新番号	20203		基本目標	安心・安全なまち		予算科目	款	4	衛生費
			基本施策	町民主体の健康づくりと地域医療の推進			項	1	保健衛生費
			施策分野	健康づくり・地域医療			目	3	健康づくり推進費
(旧番号)	(20203)	担当部課	住民福祉部 - 健康増進課		事業		4	健康マイレージ事業費	

事業概要	・町民の健康づくりや社会参加を目的として、健康マイレージ事業を実施する。
事業の成果 (課題・反省点を含む)	抽選会ごと（年4回実施）の30ポイント達成者の実人数は、平成28年度の377人（延べ819人）から、平成29年度は616人（延べ1,345人）に増加した。 シニアクラブへの協力依頼や保健委員に加え、婦人会本部役員にも婦人会活動での押印を依頼したことや、昨年度から開始した健康増進支援事業所登録による町内のお店での押印や協賛店・協力店の増加等事業所の参画に取り組んだことで、参加者が顕著に増加し、事業が浸透してきている。今後も無関心層に届くよう幅広く啓発していく必要がある。
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	(1) おやま健康マイレージ事業を支える関係者や関係機関を増やす取り組み ・小山町商工会を通じて事業者へ賞品の提供を継続的に依頼する。 ・保健委員をはじめ、関係団体や行事での金太郎スタンプ押印を行う体制充実を図る。 ・健康増進や福祉・ボランティア活動、趣味活動などを実施する場を押印場所として増やし、周知していく。 (2) 参加者を増やす取り組み ・広報おやまや無線放送、新聞、ケーブルテレビ等を活用した広報活動やチラシ配布、スマイル賞の公表によるPRを行う。

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)	事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポイント達成者数 (実616人・延1,345人)</li> <li>ハッピーチケット交換賞品9品目</li> <li>スマイル賞協賛事業所数 (16カ所)</li> <li>ふじのくに健康いきいきカード協力店 (9カ所)</li> <li>金太郎スタンプ作成</li> <li>チャレンジシート、ハッピーチケット印刷</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業目標</li> <li>ポイント達成者数 (実700人・延1,600人)</li> <li>ハッピーチケット交換の賞品9品目 場所の新規開設</li> <li>スマイル賞協賛事業所数 (19カ所)</li> <li>ふじのくに健康いきいきカード協力店 (10カ所)</li> <li>チャレンジシート、ハッピーチケット印刷</li> <li>各種団体に普及啓発</li> </ul>			
	事業費 (千円)	財源内訳	H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）
		国・県支出金	0	0		
		地方債	0	0		
		その他特定財源	0	0		
		一般財源	838	858		
		事業費計	838	858		

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

保健衛生管理事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	2-2		会計区分	1	一般会計	
新番号	20204		基本目標	安心・安全なまち		予算科目	款	4	衛生費
			基本施策	町民主体の健康づくりと地域医療の推進			項	1	保健衛生費
			施策分野	健康づくり・地域医療			目	1	保健衛生総務費
(旧番号)	(20206)	担当部課	住民福祉部 - 健康増進課		事業		2	保健衛生管理費	

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校区ごとの医療機関を継続して確保する。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校区ごとの医療機関を継続して確保した。</li> <li>・御殿場市医師会の協力を得ながら、地域医療体制の充実を図った。</li> <li>・H29年度看護学校を卒業した者30名のうち、御殿場市及び小山町に就職した者は16名であり、地元への人材確保が図られた。</li> <li>・精神障害者に対し、適切な治療を受けることが出来るよう、入院の一部の医療費助成を行い、家族の負担を軽減することができた。</li> <li>・保健計画の中間見直しを行い、自殺対策計画策定を盛り込んだ第三次保健計画（後期計画）を策定した。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引続き小学校区ごとの医療機関を継続して確保するために医師の確保や施設の維持を行う。</li> <li>・精神障害者が適切な治療を受けることが出来るよう、経済的負担の軽減を図る。</li> <li>・御殿場市医師会の協力を得ながら、地域医療の充実を図る。</li> <li>・引き続き優秀な看護学生の確保と、地元医療機関への就業の定着を図る。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		保健事業に伴う管理に関すること：委員報酬、需用費 町有診療所の管理（借地料）660千円 AED借り上げ料（町有3施設）：109千円 保健関係機関への負担金に関すること：負担金7,446千円 精神障害者医療費助成事業：4,120千円 保健師等修学資金貸付金事業：2,448千円 保健計画中間見直し事業（自殺対策計画策定含む）：1,449千円	保健事業に伴う管理に関すること：委員報酬、需用費 町有診療所の管理（借地料）660千円 AED借り上げ料（町有2施設、コンビニ8店舗）：414千円 保健関係機関への負担金に関すること：負担金7,407千円 精神障害者医療費助成事業：3,000千円 保健師等修学資金貸付金事業：2,952千円			
	事業費 (千円)					
		H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）
財源内訳	国・県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特定財源	1,298	937			
	一般財源	19,511	17,965			
	事業費計	20,809	18,902			

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

救急医療対策事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	2-2		会計区分	1	一般会計	
新番号	20205		基本目標	安心・安全なまち		予算科目	款	4	衛生費
			基本施策	町民主体の健康づくりと地域医療の推進			項	1	保健衛生費
			施策分野	健康づくり・地域医療			目	1	保健衛生総務費
(旧番号)	(20207)	担当部課	住民福祉部 - 健康増進課		事業		3	救急医療対策事業費	

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>御殿場市救急医療センターによる休日夜間の一次救急の継続的な確保と、二次救急医療体制確保のために、医師会など関係機関協力のもと駿東地域における連携協働による広域救急体制の充実を図る。</li> <li>駿東歯科医師会と連携し、休日の歯科診療を継続的に確保する。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>御殿場市救急医療センターによる休日夜間の一次救急の継続的な確保を行った。</li> <li>二次救急医療体制確保の為に医師会など関係機関協力のもと駿東地域における連携協働による広域救急体制の充実を図った。</li> <li>駿東歯科医師会と委託契約を締結し、休日の歯科診療の充実を図った。</li> <li>東部ドクターヘリ格納庫整備事業補助及び公的病院等の運営費補助を行い、二次救急医療体制の充実を図った。</li> <li>広域二次救急医療体制については、情報システム（ESMAT）の運用を平成30年1月を以て終了した。ドクターバンク事業は継続する。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>一次救急、二次救急医療体制を継続的に確保する。</li> <li>公的病院等の運営費補助を継続的にを行い、地域医療体制の充実を図る。</li> <li>休日の歯科救急診療を継続的に実施する。</li> <li>広域二次救急医療体制については、ドクターバンク事業は継続し広域二次救急体制の充実を図る。</li> <li>御殿場・小山地区で不足している小児医療の二次医療体制を確保するため、小児二次救急医療業務に係る負担金を支出し、医療体制の充実を図る。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>1次・2次救急及び休日歯科救急の体制整備</li> <li>休日歯科診療業務委託費：2,386千円</li> <li>御殿場市救急医療センター運営負担金：52,436千円</li> <li>御殿場市医師会2次救急医療業務負担金：9,346千円</li> <li>第2次救急医療施設医療機器整備負担金：2,108千円</li> <li>広域救急事業費負担金：1,499千円</li> <li>公的病院等運営費補助金：65,817千円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1次・2次救急及び休日歯科救急の体制整備</li> <li>休日歯科診療業務委託費：2,386千円</li> <li>御殿場市救急医療センター運営負担金：54,859千円</li> <li>御殿場市医師会2次救急医療業務負担金：9,292千円</li> <li>広域救急事業費負担金：776千円</li> <li>公的病院等運営費補助金：50,000千円</li> <li>小児2次救急医療業務負担金：5,031千円</li> </ul>			
事業費 (千円)	財源内訳	H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）
		国・県支出金	0	0		
		地方債	0	0		
		その他特定財源	1,883	1,885		
		一般財源	131,711	120,464		
	事業費計	133,594	122,349			

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

特定健康診査等事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	2-2		会計区分	10	国民健康保険特別会計	
新番号	20206		基本目標	安心・安全なまち		予算科目	款	6	保健事業費
			基本施策	町民主体の健康づくりと地域医療の推進			項	1	特定健康診査等事業費
			施策分野	健康づくり・地域医療			目	1	特定健康診査等事業費
(旧番号)	(20213)	担当部課	住民福祉部 - 住民福祉課		事業		2	特定健康診査等事業費	

事業概要	・ 小山町国民健康保険特定健康診査等実施計画に基づき、特定健診・特定保健指導を積極的に実施し、生活習慣病の重症化予防及び医療費適正化に努める。
事業の成果 (課題・反省点を含む)	・ 受診率アップキャンペーンや、未受診者への文書、電話、戸別訪問による受診勧奨等を行った結果、受診率は50.4%で、昨年度の48.6%より1.8ポイント増加した。
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	・ 特定健診により早期発見・早期治療につなげ、重症化予防、医療費適正化を図るため、受診勧奨を実施する。 ・ 平成31年度から、特定健診の対象となる40歳・41歳の被保険者について、自己負担金を無料化し、受診の習慣化を図る。 ・ 平成31年度から、健診結果等を活用し、御殿場市医師会をはじめ各種団体協力の下、糖尿病等重症化予防対策事業に取り組む。

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>特定健康診査事業 対象者数：2,990人 受診者数：1,506人 受診率：50.4%</li> <li>特定保健指導事業 対象者数：137人 利用者数42人 利用率：30.7%</li> <li>第3期特定健康診査等実施計画策定</li> <li>特定健診受診勧奨推進員の配置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定健康診査事業 5月：受診票発送 5～11月：受診勧奨 6～8月：特定健診実施 10月～：未受診者受診勧奨 11月：追加健診実施</li> <li>特定保健指導事業 7月～：対象者の抽出、案内状発送 7月～11月：初回面談 6か月間：個別指導、集団指導、通信による保健指導 1～5月：6か月経過後の評価</li> <li>特定健診受診勧奨推進員の配置</li> </ul>			
	事業費 (千円)					
		H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）
	財源内訳	国・県支出金 12,139	12,685			
		地方債 0	0			
		その他特定財源 806	900			
		一般財源 11,343	11,987			
		事業費計 24,288	25,572			

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

高齢者福祉推進事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	2-3		会計区分	1	一般会計	
新番号	20301		基本目標	安心・安全なまち		予算科目	款	3	民生費
			基本施策	高齢者福祉の推進			項	2	老人福祉費
			施策分野	高齢者福祉			目	1	老人福祉総務費
(旧番号)	(20301)	担当部課	住民福祉部 - 介護長寿課		事業		2	高齢者福祉推進費	

事業概要	<p>小山町高齢者福祉計画（平成27～平成29年度）の基本施策である、地域支援のネットワークづくり、高齢者の生きがい活動及びすべての人にやさしい町づくりを推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域で支える体制づくり、介護保険外の福祉サービスの充実、家族介護者への支援の充実</li> <li>・ 社会参加の促進、生きがいづくりの促進</li> <li>・ 福祉のこころの育成、人にやさしい環境の整備</li> </ul>
事業の成果 （課題・反省点を含む）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ シニアクラブ連合会等の活動を支援することにより、高齢者の社会参加、健康維持、生きがいづくりの推進及び高齢者福祉の増進が図れた。</li> <li>・ シルバー人材センターに対して運営費の一部を補助することにより、安定した運営を支援し、高齢者の就労援助が図れたが、会員数は微増に留まった。</li> <li>・ 町内外の養護老人ホームに居宅での生活が困難な高齢者を入所措置することにより、適正な生活の援護が図れた。</li> <li>・ 在宅高齢者へ生活支援サービスを提供することで、健康維持、症状の悪化を防止し、本人及び介護者の負担の軽減が図れた。</li> <li>・ すべての高齢者を対象とした福祉事業全般に関する総合計画である高齢者福祉計画（平成30～平成32年度）を策定した。</li> </ul>
今後の展開 （事業の成果を踏まえた今後の展開）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ シルバー人材センター、シニアクラブ連合会等が活発に活動し、高齢者の生きがいづくりにつながるよう引き続き支援する。</li> <li>・ 介護人材の不足に備え、介護初任者研修助成金の交付を見直し、人材の確保及び定着を図る。</li> <li>・ 在宅での生活を継続させるために、在宅福祉サービスの充実を図る。</li> <li>・ 介護保険事業計画と一体的に作成した高齢者福祉計画（平成30～平成32年度）に沿って、高齢者福祉の増進を図る。</li> <li>・ 養護老人ホームへの入所措置及び短期の生活管理指導を必要とする高齢者に対し生活改善ができる住まいを確保し、要介護状態への進行を予防する。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 （具体的に記入）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ シルバー人材センター助成</li> <li>・ シニアクラブ連合会等助成</li> <li>・ 養護老人ホーム建設事業交付金（H23～H42）</li> <li>・ 高齢者福祉計画及び第7期介護保険計画策定</li> <li>・ 高齢者福祉事業（軽度生活支援、高齢者バス定期、2市1町共通無料券の贈呈等）</li> <li>・ 安心して暮らせる場の確保等事業（特定高齢者住宅改修費補助、寝たきり老人援助等）</li> <li>・ シルバー人材センター及びシニアクラブの会員増加に向けた協働での取組の検討と実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ シルバー人材センター助成</li> <li>・ シニアクラブ連合会等助成</li> <li>・ 養護老人ホーム建設事業交付金（H23～H42）</li> <li>・ 高齢者福祉事業（軽度生活支援、高齢者バス定期、2市1町共通無料券の贈呈等）</li> <li>・ 安心して暮らせる場の確保等事業（特定高齢者住宅改修費補助、寝たきり老人援助等）</li> <li>・ シルバー人材センター及びシニアクラブの会員増加に向けた協働での取組の検討と実施</li> </ul>			
	事業費 （千円）	財源内訳	H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）
		国・県支出金	3,753	3,455		
		地方債	0	0		
		その他特定財源	196	196		
		一般財源	33,609	31,134		
		事業費計	37,558	34,785		

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

地域支援事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	2-4		会計区分	18	介護保険特別会計
新番号	20401		基本目標	安心・安全なまち		予算科目	款	
(旧番号)	(20401)		基本施策	介護予防事業と介護給付事業の充実			項	
			施策分野	介護保険			目	
		担当部課	住民福祉部 - 介護長寿課		事業			

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民が抱える個別の課題や地域の課題を拾い出し、解決策を検討し、生活支援コーディネーター※3を中心に地域住民や各種団体、ボランティア等と協働で問題解決を図る。</li> <li>・高齢者の生きがいと健康づくりを推進するために、ふれあい、はつらつ元気サポーター養成講座、介護予防教室、相談会等を実施する。</li> <li>・認知症地域支援推進員を置き、認知症サポーターの養成や認知症予防教室等を実施する。</li> <li>・お達者度測定会や公民館単位での運動教室を開催し、お達者度向上を図る。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護サービス等の基盤整備に関する実施計画である第7期介護保険事業計画（H30～H32）を策定した。</li> <li>・一般介護予防事業として、高齢者の生きがいと健康づくりを推進した。（ふれあい茶論等参加者総数4,145人）</li> <li>・生活支援コーディネーターと連携し、介護予防ボランティア養成講座を開催した。（受講者数累計489人）</li> <li>・認知症総合支援事業として、認知症予防、認知症の人及びその家族等への支援を推進した。（認知症カフェ：年12回開催：参加総数526人、認知症サポーター養成講座：受講者数302人：累計2,184人、認知症初期集中支援チームの立上げ準備）</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の生きがいと健康づくりを推進するために、住民主体の体操教室や通いの場等の充実を図る。</li> <li>・地域密着型施設である小規模多機能型居宅介護、認知症グループホーム、訪問看護ステーションの設置を図る。</li> <li>・在宅介護を延伸するために必要なサービスの充実を図るとともに、医療と介護の連携に取り組む。</li> <li>・要介護者等の重度化防止を目的としたケアプラン点検をおこない、ケアマネのマネジメントの技術力向上を図る。</li> <li>・認知症初期集中支援チームにより、認知症のリスクが高いと思われる高齢者宅を全戸訪問する等により、認知症の早期発見・早期支援に取り組む。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び （具体的に記入） 事業計画		<b>【介護予防総合事業】</b> ・介護予防・生活支援サービス事業 ・一般介護予防事業 ・生活支援サービス（配食等）  <b>【包括的支援事業】</b> ・地域包括支援センター事業 ・生活支援体制整備事業（協議体設置、生活支援コーディネーター配置） ・認知症総合支援事業（認知症地域支援推進員配置、認知症初期集中支援チーム準備、認知症カフェ設置） ・任意事業（介護用品支給事業等） ・在宅医療・介護連携事業	<b>【介護予防総合事業】</b> ・介護予防・生活支援サービス事業 ・一般介護予防事業 ・生活支援サービス（配食等）  <b>【包括的支援事業】</b> ・地域包括支援センター事業 ・生活支援体制整備事業（協議体設置、生活支援コーディネーター配置） ・認知症総合支援事業（認知症地域支援推進員配置、認知症カフェ設置、認知症初期集中支援チーム配置） ・任意事業（介護用品支給事業等） ・在宅医療・介護連携事業			
	事業費 (千円)	財源内訳	H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）
		国・県支出金	28,802	36,991		
		地方債	0	0		
		その他特定財源	28,749	39,445		
		一般財源	0	0		
		事業費計	57,551	76,436		

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

障害福祉総務事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	2-5		会計区分	1	一般会計	
新番号	20501		基本目標	安心・安全なまち		予算科目	款	3	民生費
			基本施策	障がい者福祉の充実			項	1	社会福祉費
(旧番号)	(20501)		施策分野	障がい者（児）福祉			目	2	障害者福祉費
		担当部課	住民福祉部 - 住民福祉課		事業		2	障害福祉総務費	

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がいのある人を総合的に支援するため、障害者計画と障害福祉計画を一体的に策定する。</li> <li>相談体制の充実を図るため、障害者相談員を配置する。</li> </ul>
事業の成果 （課題・反省点を含む）	<ul style="list-style-type: none"> <li>第5次小山町障害者計画、第5期小山町障害福祉計画及び第1期小山町障害児福祉計画を策定した。</li> <li>4名の障害者相談員を配置し、相談業務の充実を図った。</li> <li>障がい者団体へ運営費を助成し、障がい者自立のための事業促進や積極的な社会参加への一助となった。</li> </ul>
今後の展開 （事業の成果を踏まえた今後の展開）	<ul style="list-style-type: none"> <li>第5次小山町障害者計画、第5期小山町障害福祉計画及び第1期小山町障害児福祉計画に沿った福祉の向上を図る。</li> <li>障がい者福祉施設等との連携強化を図り、相談体制の充実を図る。</li> <li>駿豆学園管理組合をはじめとする障がい者福祉施設等との連携を図り、障がい者の就労支援等の充実を図る。</li> <li>障害者総合支援法改正に伴う町の審査事務増加に対応するため、給付費適正化総合支援ソフトを活用し、事務の効率化を図る。</li> <li>障がい者に外出機会を提供し、障害者施設の利用促進と社会参加の推進を図る。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び （具体的に記入） 事業計画		<ul style="list-style-type: none"> <li>障害者計画と障害福祉計画策定</li> <li>駿豆学園管理組合に対して負担金の支払い</li> <li>委託事業により、知的、身体、精神の障害者相談員を配置</li> <li>障害者団体への支援</li> <li>就労支援事業所製品のPR</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>駿豆学園管理組合に対して負担金の支払い</li> <li>委託事業により、知的、身体、精神の障害者相談員を配置</li> <li>障害者団体への支援</li> <li>就労支援事業所製品のPR</li> <li>給付費適正化総合支援ソフトオクトパスシステム導入</li> </ul>			
	事業費 （千円）	財源内訳	H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）
		国・県支出金	8	76		
		地方債	0	0		
		その他特定財源	0	0		
		一般財源	5,324	3,779		
		事業費計	5,332	3,855		

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

地域生活支援事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	2-5		会計区分	1	一般会計	
新番号	20502		基本目標	安心・安全なまち		予算科目	款	3	民生費
			基本施策	障がい者福祉の充実			項	1	社会福祉費
(旧番号)	(20502)		施策分野	障がい者（児）福祉			目	2	障害者福祉費
		担当部課	住民福祉部 - 住民福祉課		事業		7	地域生活支援事業費	

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の相談支援体制を充実するため、御殿場・小山障害者自立支援協議会の体制及び活動の充実を図る。</li> <li>・障がいを持っている方に対する相談体制を強化する。</li> <li>・町内の企業等を訪問し、授産所のPRや、障がいのある人の雇用の協力依頼を行う。</li> </ul>
事業の成果 （課題・反省点を含む）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・御殿場小山自立支援協議会で、関係団体と情報共有を図り、課題を検討した。</li> <li>・知的・身体・精神の事業所へ相談支援事業を委託し、相談体制の充実等を図った</li> </ul>
今後の展開 （事業の成果を踏まえた今後の展開）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知的・身体・精神の事業所へ相談支援事業を委託し、相談体制の充実を図る。</li> <li>・障がい者に補装具等購入費扶助や日中一時支援事業を提供する。</li> </ul>

事業実績 及び 事業計画  （具体的に記入）	平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）					
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動支援センター事業の実施</li> <li>・障害者相談支援事業の実施</li> <li>・小山町における障害者就労施設等からの物品等の調達方針を策定</li> <li>・補装具等購入費扶助を実施</li> <li>・日中一時支援事業を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動支援センター事業の実施</li> <li>・障害者相談支援事業の実施</li> <li>・小山町における障害者就労施設等からの物品等の調達方針を策定</li> <li>・補装具等購入費扶助を実施</li> <li>・日中一時支援事業を実施</li> </ul>							
事業費 （千円）	H29年度（決算額（実績））		H30年度（予算現額）		H31年度（予算要求額）		H32年度（計画額）		H33年度（計画額）	
	国・県支出金	11,844	13,873							
	地方債	0	0							
	その他特定財源	0	0							
	一般財源	13,116	13,426							
事業費計	24,960	27,299								

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

子ども子育て支援事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	2-6	会計区分	1	一般会計	
新番号	20601		基本目標	安心・安全なまち	予算科目	款	3	民生費
			基本施策	子ども・子育て支援の充実		項	3	児童福祉費
			施策分野	子ども・子育て支援		目	4	子育て支援事業費
(旧番号)	(20601)	担当部課	教育委員会 - こども育成課	事業		2	子ども子育て支援事業費	

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小山町子ども・子育て支援事業計画に基づき、子育て支援事業を行う。</li> <li>・定期的に「子ども・子育て会議」を開催し計画実施の検証を行う。</li> <li>・「ファミリーサポートセンター」事業を実施する。</li> <li>・「わくわくランド」事業を実施する。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小山町子ども・子育て支援事業計画について、子ども・子育て会議において計画の検証を行った。平成29年度は保育園、幼稚園などの利用希望者調整やコーディネートをする利用者支援事業を開始した。</li> <li>・御殿場市と共同で、ファミリーサポート養成講座を年2回開催し、受託会員、委受託会員増に努めたが委受託会員は減ってしまった。 (受託会員：平成28年度22人→平成29年度22人、委受託会員：平成28年度18人→平成29年度15人)</li> <li>・子育て支援情報冊子「子育て支援BOOK」(A6・18頁カラー・初版)を製作し、妊娠から子育てまでの役に立つ情報を子育てママなどに提供した。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2期子ども子育て支援事業計画を平成30・31年度で策定する。(第2期：平成32年度から平成36年度の5年間)</li> <li>・平成29年度から開始した、利用者支援事業に母子保健型を加え、子育て世代包括支援センター事業とし実施していく。</li> <li>・御殿場市と協力し、子育て会員養成講座の開催、ファミリーサポートセンター受託会員数の増加を図っていく。</li> <li>・1歳6ヶ月健診時等で、ファミリーサポートセンター子育て会員養成講座のチラシを配布し、事業のPRに努めていく。</li> </ul>

		平成29年度(昨年度)	平成30年度(本年度)	平成31年度(来年度)	平成32年度(2年後)	平成33年度(3年後)
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども子育て会議</li> <li>・ファミリーサポートセンター事業(利用登録者68人・利用実績831件)</li> <li>・利用者支援事業(施設利用者の調整及びコーディネート)</li> <li>・子育て支援情報冊子「子育て支援BOOK」の製作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども子育て会議</li> <li>・ファミリーサポートセンター事業</li> <li>・子育て世代包括支援センター事業(利用者支援事業基本型+母子保健型)</li> <li>・第2期子ども・子育て支援事業計画策定事業(H30-31)</li> <li>・子育て支援情報冊子「子育て支援BOOK」の改訂版増刷</li> </ul>			
	事業費 (千円)					
		H29年度(決算額(実績))	H30年度(予算現額)	H31年度(予算要求額)	H32年度(計画額)	H33年度(計画額)
	財源内訳	国・県支出金	1,251	1,232		
		地方債	0	0		
		その他特定財源	0	0		
		一般財源	1,863	2,593		
		事業費計	3,114	3,825		

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

子育て支援センター運営事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	2-6	会計区分	1	一般会計	
新番号	20602		基本目標	安心・安全なまち	予算科目	款	3	民生費
			基本施策	子ども・子育て支援の充実		項	3	児童福祉費
(旧番号)	(20602)		施策分野	子ども・子育て支援		目	4	子育て支援事業費
		担当部課	教育委員会 - こども育成課	事業		4	子育て支援センター運営費	

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内保育園・こども園で運営している地域子育て支援センター（ぺんぎんランド）利用者及び未就学児の支援を行う。</li> <li>・子育て支援を目的とした子育て支援拠点センター「きんたろうひろば」の運営、土曜・休日保育の実施を検討する。</li> </ul>
事業の成果 （課題・反省点を含む）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域子育て支援センター事業を各保育園・きたごうこども園・きんたろうひろば（3月から実施）・総合文化会館（2月まで）で開催し、多くの親子が利用し、平成29年度は延べ4,126人の利用数だった。</li> <li>・子育て支援拠点センター「きんたろうひろば」を整備し、平成30年3月から利用を開始した。</li> <li>・子育て通信の発行（年12回）し、子育て支援に努めた。</li> </ul>
今後の展開 （事業の成果を踏まえた今後の展開）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きんたろうひろばを拠点とし、子育て支援拠点センター事業を各保育園、町健康増進課や図書館等と連携しながら進めていく。</li> </ul>

事業実績 及び 事業計画  （具体的に記入）	平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援拠点臨時職員賃金（各保育園支援センター）</li> <li>・ぺんぎんランド講師謝礼</li> <li>・子育て通信の発行</li> <li>・子育て支援拠点センター：きんたろうひろばを整備し、平成30年3月から利用を開始した。</li> <li>※施設整備費は別事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援拠点臨時職員賃金（各保育園支援センター）</li> <li>・ぺんぎんランド講師謝礼</li> <li>・子育て通信の発行</li> <li>・子育て支援拠点センター「きんたろうひろば」の運営・維持管理</li> </ul>		
事業費  （千円）	H29年度（決算額（実績））				
	国・県支出金	8,355	14,474		
	地方債	0	0		
	その他特定財源	0	0		
	一般財源	732	1,815		
事業費計	9,087	16,289			
	H30年度（予算現額）				
	H31年度（予算要求額）				
	H32年度（計画額）				
	H33年度（計画額）				

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

こども園整備事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	2-6	会計区分	1	一般会計	
新番号	20603		基本目標	安心・安全なまち	予算科目	款	3	民生費
			基本施策	子ども・子育て支援の充実		項	3	児童福祉費
(旧番号)	(20603)		施策分野	子ども・子育て支援		目	3	保育園費
		担当部課	教育委員会 - こども育成課	事業		6	こども園整備事業費	

事業概要	・町内全域におけるこども園化を推進し、幼児施設の環境整備を図る。
事業の成果 (課題・反省点を含む)	・小学校区ごとにこども園化を進めていく方針を決定した。 ・関連して、「菜の花こども園」を足柄地区のこども園として位置づけ、入園者が減少している足柄幼稚園のあり方について、区民との意見交換会、幼稚園保護者説明会を開催し、足柄幼稚園の平成31年度以降の新入園は行わないこととした。
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	・(仮称)新すがぬまこども園：開園にかかる準備(平成30年度)→実施設計(平成31年度)→施設整備、防衛補助金申請(平成32年度)→開園(平成33年度) ・(仮称)すがぬまこども園、(仮称)するがおやまこども園、(仮称)すばしりこども園：検討・準備(平成30・31年度)→開園(平成32年度) ・きたごうこども園：都計道残地の購入(平成30年度)→残地利用の整備(平成31年度)

		平成29年度(昨年度)	平成30年度(本年度)	平成31年度(来年度)	平成32年度(2年後)	平成33年度(3年後)
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>各小学校区ごと、こども園化を進めていく方針を決定</li> <li>(仮称)するがおやまこども園整備事業に係る、山北町認定こども園視察</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【(仮称)するがおやまこども園整備事業】</li> <li>・開園に係る検討・準備</li> <li>【(仮称)すがぬまこども園整備事業】</li> <li>・開園に係る検討・準備</li> <li>【きたごうこども園】</li> <li>・都計道残地購入 20,000千円</li> <li>【(仮称)すばしりこども園整備事業】</li> <li>開園に係る検討・準備</li> <li>【(仮称)新すがぬまこども園】</li> <li>・開園に係る準備</li> </ul>			
	事業費 (千円)	財源内訳	H29年度(決算額(実績))	H30年度(予算現額)	H31年度(予算要求額)	H32年度(計画額)
		国・県支出金	0	0		
		地方債	0	0		
		その他特定財源	0	0		
		一般財源	0	24,840		
		事業費計	0	24,840		

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

放課後児童クラブ施設整備事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	2-6	会計区分	1	一般会計	
新番号	20604		基本目標	安心・安全なまち	予算科目	款	3	民生費
	(旧番号)		(20604)	基本施策		子ども・子育て支援の充実	項	3
				施策分野		子ども・子育て支援	目	4
		担当部課	教育委員会 - こども育成課	事業		6	放課後児童クラブ施設整備費	

事業概要	・足柄小放課後児童クラブの施設整備を推進する。
事業の成果 (課題・反省点を含む)	・北郷小学校放課後児童クラブの新施設を北郷小学校敷地内に整備し、子ども達がのびのびと安心して過ごせるようになった。 ・足柄小学校放課後児童クラブは、足柄幼稚園閉園後に施設を利用する方針を決定した。
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	・利用者の急増により、北郷小学校放課後児童クラブ施設の拡充整備（平成30・31年度） ・足柄小学校放課後児童クラブについては、足柄幼稚園閉園後に施設を利用し活動していく。

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）				
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		【北郷小学童】 国・県の補助金を受け、公募型プロポーザル方式にて新施設を北郷小学校敷地内に整備した。	【北郷小学童】 北郷小学校放課後児童クラブ施設の拡充整備（平成30・31年度※繰越明許49,000千円）							
		【足柄小学童】 足柄幼稚園閉園後に施設を利用する方針を決定した。								
事業費 (千円)	H29年度（決算額（実績））		H30年度（予算現額）		H31年度（予算要求額）		H32年度（計画額）		H33年度（計画額）	
	財源内訳	国・県支出金	21,427	5,312						
		地方債	0	1,328						
		その他特定財源	0	0						
		一般財源	27,946	8,060						
		事業費計	49,373	14,700						

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

児童福祉対策事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	2-6		会計区分	1	一般会計	
新番号	20605		基本目標	安心・安全なまち		予算科目	款	3	民生費
			基本施策	子ども・子育て支援の充実			項	3	児童福祉費
			施策分野	子ども・子育て支援			目	1	児童福祉総務費
(旧番号)	(20605)	担当部課	教育委員会 - こども育成課		事業		2	児童福祉対策費	

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>電話・窓口など相談体制の強化・充実を図る。</li> <li>要保護児童対策地域協議会のもと、要保護児童等の支援に努める。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>要保護児童対策地域協議会にて、代表者会議（1回）、実務者会議（3回）ケース検討会を毎月、個別ケース会議（2回）を開き、保護の必要な児童の把握及びその対応に努めた。（平成29年度：要保護対象児童34人）</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>虐待などの要保護児童が増加し、対象児一人ひとりに係る時間、件数が多くなり、担当者の増員など体制を強化していく必要がある。</li> <li>平成28年度法改正により、児童福祉司及び児童福祉司に準ずる者の配置が義務付けられたが、平成30年度は、担当職員が年5回の講習会に参加した。</li> <li>要保護児童専門職員の配置</li> </ul>

事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)	平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
		<ul style="list-style-type: none"> <li>要保護児童対策地域協議会委員報酬</li> <li>小山町母子寡婦福祉会に助成金交付</li> <li>児童扶養手当事務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>要保護児童対策地域協議会委員報酬</li> <li>小山町母子寡婦福祉会に助成金交付</li> <li>児童扶養手当事務</li> <li>児童福祉司任用前講習会参加（5回）</li> <li>要保護専門職員の配置（代替）</li> </ul>		
事業費 (千円)	H29年度（決算額（実績））				
	H30年度（予算現額）				
	H31年度（予算要求額）				
	H32年度（計画額）				
	H33年度（計画額）				
	国・県支出金	0	0		
	地方債	0	0		
	その他特定財源	0	0		
	一般財源	122	188		
	事業費計	122	188		

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

母子保健事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	2-6	会計区分	1	一般会計	
新番号	20606		基本目標	安心・安全なまち	予算科目	款	4	衛生費
			基本施策	子ども・子育て支援の充実		項	1	保健衛生費
			施策分野	子ども・子育て支援		目	4	母子保健事業費
(旧番号)	(20617)	担当部課	住民福祉部 - 健康増進課	事業		2	母子保健事業費	

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠中から出産後の子育てまで、切れ目のない相談・支援体制の強化を図る。</li> <li>・乳幼児全戸訪問事業、乳幼児健診・相談等による児の健康管理と健全育成を推進し、また支援の必要な児の早期発見体制の充実を図る。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代包括支援センターを平成30年4月の開設に向け、健康増進課とこども育成課との間で検討を行い、支援体制の構築を図った。</li> <li>・不妊治療費に加え不育症治療費助成をH29年度から開始し、2件117,300円の助成を行った。</li> <li>・眼科疾患の早期発見のため、3歳児健診時に眼科スクリーニング検査が可能な機器を導入し、H30年度から開始する。</li> <li>・難聴の早期発見のため、新生児聴覚スクリーニング事業を平成29年度から開始した。</li> <li>・産前産後サポート事業・産婦健康診査・産後ケア事業の実施に向け、医師会や助産師等の関係者と検討を行った。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児健診、各種相談の充実を図り、疾病、障害、児童虐待等のハイリスク者を早期に把握し、適切な支援を行う。</li> <li>・平成30年4月から子育て世代包括支援センターを「健康増進課」と「きんたろう広場」に開設し、虐待等の早期発見と予防をしていくために連携を図り個別支援を行う。</li> <li>・平成30年4月に産前産後サポート事業、10月に産後ケア事業、平成31年1月に産婦健康診査公費助成を実施予定。</li> <li>・ICTを活用した健康増進事業を推進するために、平成30年11月から母子健康手帳アプリを導入し、母子健康手帳の付加サービスを開始する。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		①妊娠・出産包括支援事業、子育て世代包括支援センター業務実施に向けて検討会を実施 ・親子の絆づくり教室159千円（補助金79千円） ②妊婦健診、乳幼児健診等の充実 ・妊婦健診の充実（※GBS検査項目追加・単価改定） ・新生児聴覚スクリーニング事業開始 ③不妊・不育治療費助成 2,536千円 ・不育症治療費助成開始  ※GBS検査とは母体に害があるB群溶血性レンサ球菌の有無を調べること	①産前産後サポート事業・産後ケア事業・産婦健康診査・子育て世代包括支援センターの開設 2,111千円（国庫補助1/2） ・保健事業委託料15,000千円 ②母子保健事業の充実 ・新生児聴覚スクリーニング事業実施 ・3歳児健診 眼科検査機器の導入208千円（リース） ③専門的な個別相談支援の充実 ・健診事後教室の充実（実施回数を増やし月2回） ④不妊・不育治療費助成および啓発 2,500千円 ⑤母子健康手帳アプリを導入			
	事業費 (千円)					
		H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）
事業費 (千円)	財源内訳					
	国・県支出金	1,459	2,608			
	地方債	0	0			
	その他特定財源	0	0			
	一般財源	18,328	20,249			
		事業費計	22,857			

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

こども医療費助成事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	2-6	会計区分	1	一般会計	
新番号	20607		基本目標	安心・安全なまち	予算科目	款	4	衛生費
			基本施策	子ども・子育て支援の充実		項	1	保健衛生費
(旧番号)	(20618)		施策分野	子ども・子育て支援		目	4	母子保健事業費
		担当部課	住民福祉部 - 健康増進課	事業		3	こども医療費助成費	

事業概要	・子どもが病気やケガをした時、経済的負担を心配せず、安心して適切な医療を受けることができるよう、中学3年生までの医療費の無料化を継続して実施する。
事業の成果 (課題・反省点を含む)	・生まれてから、中学3年生までのこどもの医療費を無料化することにより、子育て世帯の経済的な負担を軽減し、安心して子育てができる体制維持を図った。
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	・子育て世帯の経済的な負担を軽減し、安心して子育てができる体制を維持する。 ・H30年10月から高校生相当までの保険診療分・入院時食事療養費の全額負担を実施する。

事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)	平成29年度(昨年度)	平成30年度(本年度)	平成31年度(来年度)	平成32年度(2年後)	平成33年度(3年後)
		・中学生までの保険診療分・入院時食事療養費を全額負担	・9月までは中学生、10月からは高校生相当までの保険診療分・入院時食事療養費を全額負担		
事業費 (千円)	H29年度(決算額(実績))	H30年度(予算現額)	H31年度(予算要求額)	H32年度(計画額)	H33年度(計画額)
	国・県支出金	16,725	20,345		
	地方債	0	0		
	その他特定財源	46,318	45,177		
	一般財源	17,470	20,493		
	事業費計	80,513	86,015		

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

保育料助成事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	2-6	会計区分	1	一般会計	
新番号	20608		基本目標	安心・安全なまち	予算科目	款	90	〇 予算事業
			基本施策	子ども・子育て支援の充実		項	1	〇 予算事業
			施策分野	子ども・子育て支援		目	1	〇 予算事業
(旧番号)	(20621)	担当部課	教育委員会 - こども育成課	事業		2	〇 予算事業	

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼稚園に通園する第2子以降の保育料を無料とする。（年齢制限はなし）</li> <li>・ 保育園に通園する第2子の保育料を半額とし、第3子以降の保育料を無料とする。（年齢制限はなし）</li> </ul>
事業の成果 （課題・反省点を含む）	・ 対象世帯には有益な事業であり、子育て世帯の負担軽減が図られた。
今後の展開 （事業の成果を踏まえた今後の展開）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子育て世帯の負担軽減を図るため、国の動向に注視しながら、現在の支援内容を今後も継続していく。</li> <li>※平成31年度9月までは現状どおり。10月以降は国の施策により、3歳から5歳が無料、0歳から2歳児は、保育園に通園する第2子の保育料を半額とし、第3子以降の保育料を無料とする。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 （具体的に記入）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼稚園に通園する第2子以降の保育料を無料とする。（年齢制限はなし）</li> <li>・ 保育園に通園する第2子の保育料を半額とし、第3子以降の保育料を無料とする。（年齢制限はなし）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼稚園に通園する第2子以降の保育料を無料とする。（年齢制限はなし）</li> <li>・ 保育園に通園する第2子の保育料を半額とし、第3子以降の保育料を無料とする。（年齢制限はなし）</li> </ul>			
		【軽減実施による保育料の差額】（見込み） （軽減前） 保育料 107,837,950円 幼稚園保育料 15,835,600円 （軽減後） 保育料 57,455,150円 幼稚園保育料 7,051,600円 （差額） 保育料 △50,392,800円 幼稚園保育料 △8,784,000円	【軽減実施による保育料の差額】（見込み） （軽減前） 保育料 135,952,800円 幼稚園保育料 15,985,200円 （軽減後） 保育料 73,666,200円 幼稚園保育料 8,226,000円 （差額） 保育料 △62,286,600円 幼稚園保育料 △7,759,200円			
事業費 （千円）	財源内訳	H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）
		国・県支出金	0	0		
		地方債	0	0		
		その他特定財源	0	0		
		一般財源	0	0		
	事業費計	0	0			

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

水防事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	2-7		会計区分	1	一般会計	
新番号	20701		基本目標	安心・安全なまち		予算科目	款	8	消防費
			基本施策	災害に強いまちづくり			項	1	消防費
			施策分野	災害対策・危機管理			目	4	水防費
(旧番号)	(20706)	担当部課	防災課		事業		2	水防費	

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>河川の洪水等による水害を警戒・防御し、これによる被害の軽減及び町民の生命・財産を保護するため、地域防災計画及び水防計画に基づき、水防協議会の運営、水防計画の見直し及び水防訓練を実施して、防災力の強化を図る。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年3月に水防協議会を開催し、町の水防計画の見直しを行い、県の水防計画との整合を図るとともに、町の組織改編に伴う名称変更など最新の状況に整備した。</li> <li>6月の「土砂災害に対する防災訓練」では、足柄地区の新柴区及び桑木区をモデル地区として住民への情報伝達、避難所の開設、住民の実動による避難訓練及び防災講座による啓発を実施した。併せて、本部運営訓練により避難勧告発令手順を確認するとともに、消防団及び自主防災会に対して土のう作成などの水防訓練を実施した。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて水防協議会を開催し、的確な水防計画となるよう見直しを実施する。</li> <li>水防訓練は、自主防災会及び住民の参加率向上のため、モデル地区を指定して町、自主防災会、消防団等と協働により住民避難訓練等の実動訓練を行う。また、平成28・29年度で足柄地区の訓練を終了したことから、モデル地区の訓練を平成30年度は明倫地区で、平成31年度以降は成美地区で実動の住民避難訓練を実施する。また、モデル地区以外の土砂災害警戒区域に指定されている全区を対象に避難経路の確認や防災啓発などの地区別訓練により、地域防災力の強化に努める。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>3月に水防協議会を開催し水防計画の見直しを行い、県の計画と整合を図るとともに、町の状況を最新のものに修正した。</li> <li>6月の「土砂災害に対する防災訓練」を足柄地区の新柴区・桑木区をモデル地区として実施するとともに、消防団、自主防災会等を含めた水防訓練を実施して、モデル地区住民66人、消防団50人、町等合計171人が参加した。</li> <li>雨量計を適切に運用した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて水防協議会を開催し、常に水防計画が的確なものとなるよう見直しする。</li> <li>6月の「土砂災害に対する防災訓練」を明倫地区をモデル地区として実施するとともに、消防団、自主防災会等を含めた水防訓練を実施して、モデル地区住民231人、消防団54人、町等合計355人が参加した。</li> <li>雨量計を適切に運用する。</li> </ul>			
	事業費 (千円)					
		H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）
	国・県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特定財源	0	0			
	一般財源	20	162			
	事業費計	20	162			

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

地震対策事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	2-7		会計区分	1	一般会計	
新番号	20702		基本目標	安心・安全なまち		予算科目	款	8	消防費
			基本施策	災害に強いまちづくり			項	1	消防費
(旧番号)	(20707)		施策分野	災害対策・危機管理			目	5	災害対策費
		担当部課	防災課		事業		2	地震対策費	

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災会議を開催し、静岡県が制定した第4次地震被害想定に対応した地域防災計画の見直しや、町民の生命・財産を保護するための防災訓練（富士山噴火を想定した避難訓練を含む）、家庭内防災対策事業の実施、防災用品の購入等により災害に強い町づくりを推進する。</li> </ul>
事業の成果 （課題・反省点を含む）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年3月に防災会議を開催し、町の地域防災計画について法令改正等に伴い見直しするとともに、富士山噴火に対する避難計画を修正した。</li> <li>・12月に自主防災会が主体となり、地域防災訓練を実施して地域防災力の向上を図った。</li> <li>・富士山火山防災訓練では、情報伝達訓練を実施して、連絡体制を確認するとともに、登山者への啓発を行った。また、各山小屋に簡易無線機を配備して連絡手段の多重化を図った。</li> <li>・県の緊急地震・津波対策等交付金により、防災備品等の備蓄及び家庭内防災対策事業を実施したが、家庭内防災対策事業はやや低調であった。</li> </ul>
今後の展開 （事業の成果を踏まえた今後の展開）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災会議を開催し地域防災計画を見直すとともに、小山町の特性に応じた防災訓練を実施する。</li> <li>・県の交付金を活用し、引き続き防災備品の備蓄を推進する。</li> <li>・家庭内の防災対策を図るため、家具固定や防災ベッドの啓発するとともに、家庭内防災対策事業を継続する。</li> <li>・東京オリンピック・パラリンピック大会自転車ロードレース開催に伴い、関係機関と連携してテロ対策を推進する。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画  （具体的に記入）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災会議を開催し、地域防災計画及び富士山噴火に対する避難計画の見直しを実施した。</li> <li>・防災資機材、備蓄食料、避難所用消耗品及び災害対策用備品の充実を図った。</li> <li>・家庭内家具転倒防止事業を実施した。</li> <li>・防災倉庫を設置した。</li> <li>・避難所誘導標識を修繕した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災会議を開催し、地域防災計画の見直しを行う。</li> <li>・防災資機材、備蓄食料、避難所用消耗品及び災害対策用備品の充実を図る。</li> <li>・家庭内家具転倒防止及び防災ベッド事業を実施する。</li> <li>・災害情報状況管理システムを導入して情報機能を強化した。</li> </ul>			
	事業費 （千円）					
	H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）	
	国・県支出金	6,890	6,530			
	地方債	3,800	0			
	その他特定財源	5	137			
	一般財源	15,100	17,062			
	事業費計	25,795	23,729			

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

自主防災推進事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	2-7		会計区分	1	一般会計	
新番号	20703		基本目標	安心・安全なまち		予算科目	款	8	消防費
			基本施策	災害に強いまちづくり			項	1	消防費
(旧番号)	(20708)		施策分野	災害対策・危機管理			目	5	災害対策費
		担当部課	防災課		事業		3	自主防災推進事業費	

事業概要	・地域防災計画に基づき、地域の防災力向上を図るための自主防災組織の意義を強調し、地域の実状に応じた組織を育成するとともに防災資機材等の整備について助成を行う。
事業の成果 (課題・反省点を含む)	・防災資機材の充実を図るため、自主防災会に対して補助金を交付し、地域防災力の向上を図った。 ・出前講座により、地区防災計画作成の啓発を行うとともに、自主防災組織による地区防災計画の作成を支援し、足柄地区の地区防災計画を作成した。 ・地域の防災力向上を図るため、自主防災リーダー研修や防災士のスキルアップ講座を開催するとともに、防災士養成講座を御殿場市・裾野市との共同で開催して防災士を養成した。
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	・自主防災組織に対する補助金を交付し、「共助」を行う上で必要となる防災資機材等の更なる充実を図っていく。 ・自主防災組織に対し、組織毎の「地区防災計画」及び「避難行動要支援者に対する避難支援計画」の策定を支援する。 ・地域の防災力向上を図るため、防災士のスキルアップ講座等により、防災について十分な意識と一定の知識・技能を身につけた防災士を育成する。

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災講演会を実施した。(実績315人)</li> <li>・自主防災会へ防災資機材等購入に対する補助金を交付した。</li> <li>・足柄地区の地区防災計画の作成を支援した。</li> <li>・自主防災リーダー研修会を実施した。</li> <li>・防災士スキルアップ講座を実施した。</li> <li>・自主防災会のLED投光器購入のため、交付金を自主防災会に交付した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災講演会を実施した。(実績287人)</li> <li>・自主防災会へ防災資機材等購入に対する補助金を交付する。</li> <li>・北郷地区、明倫地区及び成美地区の地区防災計画の作成を支援する。</li> <li>・自主防災リーダー研修会を実施する。</li> <li>・防災士スキルアップ講座を実施する。</li> <li>・防災士養成講座を開催した。</li> </ul>			
	事業費 (千円)					
		H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）
	国・県支出金	1,017	1,287			
	地方債	0	0			
	その他特定財源	1,400	1,400			
	一般財源	2,045	2,582			
	事業費計	4,462	5,269			

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

普通河川維持管理事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	2-7		会計区分	1	一般会計	
新番号	20704		基本目標	安心・安全なまち		予算科目	款	7	土木費
			基本施策	災害に強いまちづくり			項	3	河川費
(旧番号)	(20701)		施策分野	災害対策・危機管理			目	1	河川費
		担当部課	経済建設部 - 建設課		事業		2	普通河川維持管理事業費	

事業概要	・町管理である普通河川における清流の保全を図るため、計画的な維持管理事業を実施する。
事業の成果 (課題・反省点を含む)	・町管理である普通河川において、河川改修・河川維持工事の実施により適正な管理を行い、河川災害防止対策及び長寿命化対策を行った。
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	・町管理である普通河川の改修・維持管理により河川施設の長寿命化を図ると共に、清流の保全に努める。 ・河川施設の維持改修により、災害に対する流域の安全性向上を図り、町民の生命、財産を守る。

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		河川施設の維持管理として改修工事及び維持工事を適切に実施し、災害防止対策と施設の長寿命化対策を行った。  ・河川維持工事 金時川（桑木） 突貫沢川（桑木） 兔沢川（菅沼） 湯船川（湯船） ・河川改修工事 堀城川（菅沼） ・測量設計業務委託 堀城川（菅沼） 須川支川隧道（棚頭）	河川施設の維持管理として改修工事及び維持工事を適切に実施し、災害防止対策と施設の長寿命化を図る。  ・河川維持工事 金時川（桑木）			
	事業費 (千円)	H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）
	国・県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特定財源	8,665	0			
	一般財源	25,519	2,161			
	事業費計	34,184	2,161			

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

急傾斜地崩壊防止事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	2-7		会計区分	1	一般会計	
新番号	20705		基本目標	安心・安全なまち		予算科目	款	7	土木費
			基本施策	災害に強いまちづくり			項	2	道路橋梁費
(旧番号)	(20702)		施策分野	災害対策・危機管理			目	6	急傾斜地崩壊防止事業費
		担当部課	経済建設部 - 建設課		事業		2	急傾斜地崩壊防止事業費	

事業概要	・急傾斜地指定区域の保全を踏まえた計画的な崩壊防止対策事業を行う。
事業の成果 (課題・反省点を含む)	・町内の急傾斜地指定区域における土砂災害対策事業を推進し地域の安全確保に努めた。
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	・現在継続実施中の工事区域の早期完了を目指し、新たな急傾斜地指定に向けた個別の計画を立てる。

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		急傾斜地崩壊防止対策事業の実施により、急傾斜地指定区域における土砂災害の防止に努めた。 ・竹之下神田急傾斜地崩壊防止工事（竹之下）	急傾斜地崩壊防止対策事業の実施により、急傾斜地指定区域における土砂災害の防止に努める。 ・竹之下神田急傾斜地崩壊防止工事（竹之下）			
	事業費 (千円)					
		H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）
財源内訳	国・県支出金	7,425	20,250			
	地方債	9,000	24,700			
	その他特定財源	0	0			
	一般財源	371	654			
	事業費計	16,796	45,604			

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

治山事業総務事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	2-7		会計区分	1	一般会計	
新番号	20706		基本目標	安心・安全なまち		予算科目	款	5	農林水産業費
			基本施策	災害に強いまちづくり			項	2	林業費
(旧番号)	(20703)		施策分野	災害対策・危機管理			目	3	治山事業費
		担当部課	経済建設部 - 農林課		事業		2	治山事業総務費	

事業概要	・森林と清流の保全を踏まえた計画的な治山治水整備を行う
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・静岡森林管理署や静岡県が施工する治山工事について、円滑に事業が実施できるように森林所有者への説明会や現地立会を行い、治山事業の合意形成を図った。</li> <li>・森林所有者や管理団体などに、山地災害を未然に防ぐ対策工法の紹介と現場での体験施工を実施し、治山工事の有用性と森林整備の必要性を説明した。</li> <li>・小山町内には多くの山腹崩壊が存在し、治山工事を必要としている。また流木による下流域での被害拡大事例が国内で発生し、小山町内でも同様の被害が予想されるため、流木対策を含めた新たな治山工事が必要である。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・静岡森林管理署や静岡県と連携し治山事業を推進するとともに、流木対策や木材を利用した工法を積極的に講じる。</li> <li>・引き続き森林所有者や管理団体などに、森林保全に必要な技術供与を行う。また町内の森林は高齢級化が進行しており、樹木の更新を推進するため伐採や植栽の手法についても情報提供を行うことで、強靱な森林の育成を図る。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国及び静岡県の治山事業の地権者協議や調整を行い、治山事業16件が実施された。 (須走2件, 大御神4件, 上野2件, 柳島1件, 生土2件, 小山2件, 竹之下2件, 湯船1件)</li> <li>・小山町山地強靱化総合対策協議会を通して、町民に簡易治山工法の情報提供と体験施工を実施し、175人が参加した。</li> <li>・裸地化した山林を広葉樹化するため、クヌギ・コナラの苗木を斡旋した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林管理署や静岡県の治山事業について、地元調整を実施する。</li> <li>・山地強靱化総合対策協議会にて町内5地区で体験施工を実施し、山林所有者等へ技術提供を行う。また、森林保全に必要な原材料費の提供を行う。</li> <li>・森林所有者の林業参加を促すため、刈払機やチェーンソーの講習会を実施する。</li> </ul>			
	事業費 (千円)	財源内訳	H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）
		国・県支出金	0	0		
		地方債	0	0		
		その他特定財源	0	0		
		一般財源	3,392	2,294		
		事業費計	3,392	2,294		

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

災害時医療救護対策事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	2-7		会計区分	1	一般会計	
新番号	20709		基本目標	安心・安全なまち		予算科目	款	4	衛生費
			基本施策	災害に強いまちづくり			項	1	保健衛生費
			施策分野	災害対策・危機管理			目	1	保健衛生総務費
(旧番号)	(20714)	担当部課	住民福祉部 - 健康増進課		事業		4	災害時医療救護対策事業費	

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県が実施する訓練への参加や、関係機関と連携した医療救護訓練を実施する。</li> <li>・災害に備え、医療救護関係資機材の点検・補充及び充実を図る。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小山町医療救護計画に基づき、医療救護訓練を御殿場市医師会・北駿薬剤師会・駿東歯科医師会・御殿場看護学校・自衛隊・小山消防署・町防災課と連携して、須走小学校を会場に実施し、医療救護本部機能の確認をした。3師会の先生方の参加により、災害時の医療体制の検証を行うことが出来た。</li> <li>・災害時に必要な資機材の更新・整備を行った。</li> <li>・県健康福祉部訓練に積極的に参加し、F U J I S A NシステムやEM I Sの使用の習熟を図った。</li> <li>・災害医療従事者の人材育成のための研修を実施した。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、災害時に必要な資機材の更新・整備を行う。</li> <li>・地域防災訓練の際に医療救護訓練を実施し、医師会をはじめ関係機関の連携強化及び住民へ災害時の傷病者救護体制を周知していく。</li> <li>・静岡県助産師会と「災害時における母子支援等の協力に関する基本協定」を締結し災害時等における母子の安全確保や支援体制の充実を図る。</li> <li>・県健康福祉部訓練に積極的に参加し、F U J I S A NシステムやEM I Sの使用の習熟をしていく。</li> <li>・災害医療従事者の人材育成のための研修を継続的に実施する。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		(1) 救護所設備の充実 ・救護所用医薬品 25千円 ・救護所用エマジン詰替(外科手術セット)・滅菌 929千円 (2) 平常時の準備体制の充実 ① 医療救護計画や災害時健康支援マニュアルの見直し ② 訓練及び知識啓発 ・医療救護訓練年1回 ・町防災訓練等での知識啓発 ・県ハレセッション訓練参加 ③ 人材育成 ・災害医療従事者研修会30千円 ④ 資機材の確保体制の充実 ・救護活動消耗品 244千円 ・県医薬品備蓄センター運営費負担金 36千円	(1) 救護所設備の充実 ・救護所用医薬品 14千円 ・救護所用エマジン詰替(外科手術セット)・滅菌 564千円 (2) 平常時の準備体制の充実 ① 医療救護計画や災害時健康支援マニュアルの見直し ② 訓練及び知識啓発 ・医療救護訓練年1回 ・町防災訓練等での知識啓発 ・県ハレセッション訓練参加 ・訓練用消耗品 11千円 ③ 人材育成 ・災害医療従事者研修会45千円 ④ 資機材の確保体制の充実 ・救護活動消耗品 108千円 ・県医薬品備蓄センター運営費負担金 36千円 ・救護所用資器材の見直し			
	事業費 (千円)	財源内訳	H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）
		国・県支出金	586	347		
		地方債	0	0		
		その他特定財源	195	115		
		一般財源	492	323		
		事業費計	1,273	785		

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

防犯推進事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	2-8		会計区分	1	一般会計		
新番号			20801	基本目標	安心・安全なまち		予算科目	款	2	総務費
(旧番号)			(20801)	基本施策	交通事故・犯罪のないまちづくり			項	1	総務管理費
				施策分野	交通安全・防犯			目	6	自治振興費
			担当部課	住民福祉部 - くらし安全課		事業		3	防犯推進費	

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活安全環境の整備や指導に努める。</li> <li>暴力を追放するための必要な措置、町民等に対する支援を行う。</li> <li>危険な空き家等の所有者等に対し、助言・指導、勧告、支援、命令、公表、代執行を行う。</li> <li>区長会と連携を図り防犯灯のLED化を進め、夜間の犯罪を未然に防止するとともに、経費の節減を図る。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括支援センターと連携して、高齢者世帯の見守りを実施した。 ・何でも相談等での困難事例に対応した。</li> <li>防犯灯設置交付金は、1灯あたりの交付金が15,000円で、8区16灯設置し、LED防犯灯の普及を図った。</li> <li>防犯灯維持交付金は、平成29年度に170万円を交付し、交付率は47.9%でした。</li> <li>金太郎メールの防犯部門を、県警で配信している「エスピーくん安心メール」に移行した。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>防犯灯のLED化により、夜間の防犯能力を向上させ、犯罪のない安心な社会をつくる。</li> <li>特殊詐欺等の被害発生を未然に防止するため、広報誌や無線放送を活用して注意喚起するとともに、被害防止機器の普及を促進する。</li> <li>中学校区毎に設置されている防犯連絡協議会の活動を支援する。</li> <li>町内の必要な個所への防犯カメラの設置の検討。</li> </ul>

事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)	平成29年度(昨年度)	平成30年度(本年度)	平成31年度(来年度)	平成32年度(2年後)	平成33年度(3年後)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>青色回転灯装着車両による防犯パトロールの講習会を開催した。</li> <li>LED防犯灯の設置事業の継続 設置16灯</li> <li>LED防犯灯リース料の支払い</li> <li>振り込め詐欺対策の啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>青色回転灯装着車両による防犯パトロールを実施する。</li> <li>LED防犯灯の設置事業の継続 設置予定20灯</li> <li>LED防犯灯リース料の支払い</li> <li>振り込め詐欺対策の啓発</li> <li>振り込め詐欺対策機器の普及</li> <li>町内の必要な個所への防犯カメラの設置の検討。</li> </ul>		
事業費 (千円)	H29年度(決算額(実績))				
	H30年度(予算現額)				
	H31年度(予算要求額)				
	H32年度(計画額)				
	H33年度(計画額)				
	国・県支出金	0	0		
	地方債	0	0		
	その他特定財源	0	0		
	一般財源	6,500	6,717		
	事業費計	6,500	6,717		

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

交通安全推進事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	2-8	会計区分	1	一般会計	
新番号	20802		基本目標	安心・安全なまち	予算科目	款	2	総務費
			基本施策	交通事故・犯罪のないまちづくり		項	9	交通安全対策費
			施策分野	交通安全・防犯		目	1	交通安全対策費
(旧番号)	(20802)	担当部課	住民福祉部 - くらし安全課	事業		2	交通安全推進費	

事業概要	・交通安全意識啓発事業として、警察、区長会などと連携し、町民や町外ドライバーに対する啓発活動を実施する。また、特に幼児や高齢者に対する交通安全教育の充実を図る。
事業の成果 (課題・反省点を含む)	・春、夏、秋、年末の交通安全運動期間を中心に交通安全啓発活動を実施した。町内の人身事故発生件数は、平成28年の102件から39件減の63件であった。また、高齢者が関わる事故は13件減の19件となったが、まだまだその割合が高いため、高齢者に対する交通安全啓発を重点的に実施する必要がある。このような事から、“日本で初”となる指導員が同乗した路上での高齢者安全運転実践指導及び指導員養成研修を実施した。 ・交通安全共済への加入は、10,666口、加入率56.7%であった。（前年度と比べ1.0ポイント減少） ・平成29年中の交通死亡事故者はいませんでした（管内での死亡者数は3名）。
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	・今後も交通事故発生件数を減らすために、子どもと高齢者を中心に町民や来町者に交通安全啓発活動を実施する。 ・交通安全協会やトヨタ自動車モビリティと連携し、高齢ドライバーに対する安全運転講習を実施する。

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全対策協議会（交通安全運動）の開催</li> <li>交通災害共済加入促進</li> <li>交通安全教室の開催</li> <li>交通安全指導員設置費負担金</li> <li>高齢ドライバーに対する安全運転講習会の開催</li> <li>GTアソシエーションの協力のもと、レーシングドライバーとの安全運転講話を開催した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全対策協議会（交通安全運動）の開催</li> <li>交通災害共済加入促進</li> <li>交通安全教室の開催</li> <li>交通安全指導員設置費負担金</li> <li>高齢ドライバーに対する安全運転講習会を開催する。</li> </ul>			
	事業費 (千円)					
		H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）
	国・県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特定財源	0	0			
	一般財源	4,262	4,471			
	事業費計	4,262	4,471			

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

消防団運営事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	2-9	会計区分	1	一般会計	
新番号	20901		基本目標	安心・安全なまち	予算科目	款	8	消防費
			基本施策	消防・救急対策の推進		項	1	消防費
			施策分野	消防・救急		目	2	非常備消防費
			担当部課	小山消防署		事業	2	消防団運営費
(旧番号)	(20904)							

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防団の安全装備品や資機材の整備を行う。</li> <li>・駿東支部消防操法大会への参加を支援する。</li> <li>・消防団による出動（放水訓練・警戒出動・災害出動）等費用弁償、各種交付金・負担金の支払いを行う。</li> <li>・消防団員による火災予防・地域防災に関する広報啓発活動を推進し、活動に必要な被服等を貸与する。</li> </ul>
事業の成果 （課題・反省点を含む）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間防災計画による出動で、放水訓練・警戒出動等では公務災害や事故等は無く迅速な活動が実施出来た。</li> <li>・隔年で実施されている駿東支部消防操法大会へ参加し、消防技術の向上・士気の高揚・分団の結束力向上に寄与し、団体行動と消防活動の進歩・充実に図ることが出来た。</li> <li>・消防団員の募集等を各種事業及びイベント行事に合わせて実施した。</li> <li>・地震などの対策として装備品や資機材を完備し、有事の際の体制を整えた。また、消防団員の服制基準の改正に伴い新基準活動服を貸与した。</li> </ul>
今後の展開 （事業の成果を踏まえた今後の展開）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防団用防災資機材の整備の拡充をし、今後の災害に備えて対応していく。</li> <li>・消防団員による火災予防・地域防災に関する広報啓発活動を積極的に実施し、防火意識の高揚を図り、災害に強く安全で住みやすい町づくりに寄与していく。</li> <li>・団員募集の広報活動を実施し、消防団員の加入促進を図ると共に、消防団協力事業所の拡大を推進していく。</li> <li>・女性消防団員の更なる確保に向けた取組を推進していく。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 （具体的に記入）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防団の訓練・災害出動</li> <li>・災害予防活動</li> <li>・消防団員の安全装備の拡充</li> <li>・消防団員の年報酬や出動に係る費用弁償の支給</li> <li>・消防団運営経費の管理</li> <li>・駿東支部消防操法大会への参加</li> <li>・各種行事及びイベントでの団員募集と広報活動の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防団の訓練・災害出動</li> <li>・災害予防活動</li> <li>・消防団員の安全装備の拡充</li> <li>・消防団員の年報酬や出動に係る費用弁償の支給</li> <li>・消防団運営経費の管理</li> <li>・小山町消防操法大会の実施</li> <li>・消防団家族慰安会</li> <li>・各種行事及びイベントでの団員募集と広報活動の実施</li> </ul>			
	事業費 （千円）	財源内訳	H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）
		国・県支出金	1,939	2,257		
		地方債	0	0		
		その他特定財源	2,683	2,912		
		一般財源	31,884	31,479		
		事業費計	36,506	36,648		

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

消費者行政事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	2-10	会計区分	1	一般会計	
新番号	21001		基本目標	安心・安全なまち	予算科目	款	6	商工労働費
			基本施策	消費者教育の推進		項	1	商工費
			施策分野	消費生活		目	1	商工業振興費
(旧番号)	(21001)	担当部課	住民福祉部 - くらし安全課	事業		4	消費者行政費	

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談員の育成強化を通して相談体制の質の向上と消費生活センターの充実を図る。（消費生活センター充実事業）</li> <li>・消費者の安全、安心確保に向けた取組を強力かつ安定的に支援するため国からの交付金を活用する。（地方消費者行政推進事業）</li> <li>・町民が消費者被害にあわないために小山町消費生活センターの出前講座などにより、消費者教育の推進を図る。（消費者教育の推進事業）</li> </ul>
事業の成果 （課題・反省点を含む）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費生活に関する相談が176件あり、適正かつ効率的に処理し、町民の消費生活の安定と向上を図った。</li> <li>・社会福祉協議会が主催するふれあいサロン（桑木区他4件）にて、高齢者を対象とした消費者教育の出前講座を開催した。</li> <li>・小山高校3年生を対象に、社会に出る前の消費者教育として、出前講座「キャリアアップセミナー」を開催した。</li> </ul>
今後の展開 （事業の成果を踏まえた今後の展開）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費生活センターに実績と経験のある相談員を配置し、消費生活に係る相談の受付、苦情の処理、情報の収集及び提供、斡旋等を行う。</li> <li>・センターで架空請求・不当請求・ネット関連トラブル等複雑化する消費者課題の相談に対応し、消費者被害を発生させないよう注意喚起等の啓発を行う。</li> <li>・消費者教育を推進し、高齢者等を対象とした出前講座を実施する。</li> <li>・消費生活センターを周知し、町民が気軽に相談できる環境を整える。</li> <li>・消費者教育推進計画の策定及び消費者教育推進地域協議会を立ち上げ、消費者の自立を支援するために行われる教育及びこれに準ずる啓発活動を実施する。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画  （具体的に記入）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費生活相談員を配置し、架空請求・不当請求・ネット関連等複雑化する消費者トラブルの相談に対応した。</li> <li>・ふれあいサロン等にて消費者教育の出前講座を開催した。</li> <li>・小山高校3年生対象の出前講座を開催した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費生活相談員を配置し、架空請求・不当請求・ネット関連等複雑化する消費者トラブルの相談に対応する。</li> <li>・ふれあいサロン等にて消費者教育の出前講座を開催する。</li> <li>・小山高校3年生対象の出前講座を開催する。</li> <li>・消費者教育推進計画を策定するための準備会を立ち上げる。</li> </ul>			
	事業費  （千円）	財源内訳	H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）
		国・県支出金	1,550	125		
		地方債	0	0		
		その他特定財源	0	0		
		一般財源	1,295	2,802		
		事業費計	2,845	2,927		

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

社会教育総務事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	3-1	会計区分	1	一般会計	
新番号	30101		基本目標	いきいきとしたまち	予算科目	款	9	教育費
			基本施策	心豊かな生涯学習の推進		項	5	社会教育費
(旧番号)	(30101)		施策分野	生涯学習		目	1	社会教育総務費
		担当部課	教育委員会 - 生涯学習課	事業		2	社会教育総務費	

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校応援ボランティア事業の推進を図る。</li> <li>・NPO支援室により、各種団体等の活動支援や育成を行う。</li> <li>・社会教育委員、社会教育指導員、学校支援活動等コーディネーターを置き、社会教育の推進を図る。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア支援センター（学校応援ボランティア）の充実した活動ができた。（ボランティア登録数H26：95人、H27：89人、H28：89人、H29：91人）</li> <li>・社会教育指導員による不登校児や保護者の支援を行なう「金太郎教室」を実施し、適切な対応をすることができた。</li> <li>・県の補助金を活用し、家庭教育支援員を配置し家庭教育支援の充実を図った。（小学校1日入学時に親学講座を実施）</li> <li>・町内のNPO団体向けの講座を実施したり、事務手続きの支援を行うことでNPO活動の充実を図ることが出来た。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア支援センターにより学校応援ボランティアを活用した事業を推進する。</li> <li>・NPO支援室により各種団体活動の支援やNPO交流大会を実施する。</li> <li>・家庭教育支援員を活用した家庭教育支援事業を実施する。</li> <li>・金太郎教室とボランティア支援センターの更なる充実を図る。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア支援センターにおいて講師の確保と派遣を実施</li> <li>・NPO法人の設立、運営等に関する支援、NPO交流大会を実施</li> <li>・NPO支援室の充実</li> <li>・金太郎教室を実施</li> <li>・臨時職員を採用し積極的な社会教育事業の推進</li> <li>・家庭教育支援の充実</li> <li>・町内小学校で学校応援ボランティアを実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア支援センターにおいて講師の確保と派遣を実施</li> <li>・NPO法人の設立、運営等に関する支援、NPO交流大会を実施</li> <li>・NPO支援室の充実</li> <li>・臨時職員を採用し積極的な社会教育事業の推進</li> <li>・金太郎教室を実施</li> <li>・家庭教育支援の充実</li> <li>・町内小学校で学校応援ボランティアを実施</li> </ul>			
	事業費 (千円)					
	H29年度（決算額（実績））		H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）
	国・県支出金	604	724			
	地方債	0	0			
	その他特定財源	0	0			
	一般財源	11,512	11,848			
	事業費計	12,116	12,572			

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

生涯学習推進事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	3-1	会計区分	1	一般会計	
新番号	30102		基本目標	いきいきとしたまち	予算科目	款	9	教育費
			基本施策	心豊かな生涯学習の推進		項	5	社会教育費
			施策分野	生涯学習		目	2	生涯学習推進費
(旧番号)	(30102)	担当部課	教育委員会 - 生涯学習課	事業		2	生涯学習推進費	

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者と連携し、町民ニーズに応えた多彩な事業を実施する。</li> <li>各種教室、講演会、発表会等の生涯学習機会の充実を図る。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者による芸術文化鑑賞事業を10公演（事業費約1,300万円）開催し、6,243人の来場があった。（H28：3,665人）</li> <li>NHKの全国公開放送公開収録にエントリーし、「NHKのど自慢」を開催した。</li> <li>一般社団法人日本芸術文化振興協会の助成金を活用し、「怒る富士」の千秋楽公演を誘致、開催した。</li> <li>指定管理者が行う趣味教室のほか、町では、「町民講座」や「ふるさと発見講座」の教養講座、子ども向け事業など町民のニーズに応えた多彩な事業を実施した。</li> <li>教室や団体の発表の場としての「町民文化祭」や「生涯学習フェスティバル」を開催し、生涯学習活動参画への契機とすることができた。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「町民講座」や「ふるさと発見講座」の教養講座の他、子ども向け事業を継続的に開催する。</li> <li>県世界遺産センター協力のもと、富士山と世界文化遺産の構成資産について学習できる機会を設ける。</li> <li>生涯学習推進講演会を継続的に開催する。</li> <li>「生涯学習フェスティバル」や「町民文化祭」、「駿河路のつどい」を継続的に開催し、教室や団体等の生涯学習活動を発表できる機会を設ける。</li> <li>姉妹市町等との文化団体交流を継続的に実施していく。</li> <li>文化会館等運営協議会を開催し、指定管理者との協働により生涯学習事業の推進を行う。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>町民講座、ふるさと発見講座等の教養講座を開催（富士山学習含む）</li> <li>子ども向け事業を開催</li> <li>生涯学習推進講演会を開催</li> <li>教室や団体の発表の場として「町民文化祭」、「生涯学習フェスティバル」を開催</li> <li>福知山市との文化交流事業 → 台風被害により中止</li> <li>乳幼児を対象とした「ペンギんランド」を毎週木曜日に開催</li> <li>芸術文化推進事業の開催（怒る富士）</li> <li>NHK全国放送（のど自慢）の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町民講座、ふるさと発見講座等の教養講座を開催（新東名工事現場見学会、富士山学習等）</li> <li>子ども向け事業を開催</li> <li>生涯学習推進講演会を開催</li> <li>教室や団体の発表の場として「町民文化祭」、「生涯学習フェスティバル」を開催</li> <li>福知山市との文化交流事業を実施。</li> <li>NHK全国放送（みんなDEどーもくん!）を開催</li> </ul>			
	事業費 (千円)					
		H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）
	財源内訳	国・県支出金	0	405		
		地方債	0	0		
		その他特定財源	1,860	1,000		
		一般財源	4,367	2,222		
		事業費計	6,227	3,627		

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

図書館管理運営事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	3-1	会計区分	1	一般会計	
新番号	30103		基本目標	いきいきとしたまち	予算科目	款	9	教育費
			基本施策	心豊かな生涯学習の推進		項	5	社会教育費
			施策分野	生涯学習		目	3	図書館費
(旧番号)	(30103)	担当部課	教育委員会 - 生涯学習課	事業		2	図書館管理運営費	

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どものころから読書の習慣を身に付けるよう、おはなしの会などを充実させるとともに、ブックスタート、セカンドブック事業を実施する。</li> <li>・町に関係する蔵書の充実を図る。</li> <li>・読書機会の提供を進め、読書人口の拡大に努める。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブックスタート、セカンドブック事業の実施、図書館ボランティアによる「お話の会」、「ぺんぎんランド」で読み聞かせを実施することにより、幼少期に本に触れる機会の拡大を図ることができた。</li> <li>・セカンドブック事業時に「読書通帳」を配布し、読書活動へのきっかけづくりとした。</li> <li>・指定管理者と連携し、快適な図書館運営を目指し、図書館司書を中心に誰もが訪れやすい図書館づくりに努めた。</li> <li>・選書ツアーを開催し、町民や図書館ボランティアにも参加していただき、図書活動の推進に取り組んだ。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小山町子ども読書活動推進計画に基づいた事業を実施。</li> <li>・指定管理者との連携により、利用しやすく、地域や町民に役に立つ図書館づくりを推進する。インターネットによる蔵書検索システムの周知。</li> <li>・おはなしの会など読書に触れ合う機会を提供。・引き続き学校図書室との連携を行っていく。</li> <li>・「選書ツアー」を継続的に開催し、読書活動を推進する。</li> <li>・図書館内のリニューアルを進め、更なる利便性の向上を図る。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブックスタート、セカンドブック事業</li> <li>・読書通帳の配布及び販売</li> <li>・『小山町の図書館』を刊行</li> <li>・図書館ボランティアによる活動を支援</li> <li>・読書活動推進事業を実施（選書ツアーを実施。参加者数25人）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブックスタート、セカンドブック事業</li> <li>・読書通帳の配布及び販売</li> <li>・『小山町の図書館』を刊行</li> <li>・図書館ボランティアによる活動を支援</li> <li>・読書活動推進事業を実施（選書ツアーを実施。参加者数21人）</li> </ul>			
	事業費 (千円)					
		H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）
財源内訳		国・県支出金	0	0		
		地方債	0	0		
		その他特定財源	0	0		
		一般財源	424	507		
		事業費計	424	507		

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

文化財事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	3-2	会計区分	1	一般会計	
新番号	30201		基本目標	いきいきとしたまち	予算科目	款	9	教育費
			基本施策	地域文化の振興と健全な青少年の育成		項	5	社会教育費
(旧番号)	(30201)		施策分野	地域文化・青少年		目	1	社会教育総務費
		担当部課	教育委員会 - 生涯学習課	事業		4	文化財費	

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化財的な価値のあるものを調査し、町指定文化財などへ指定し文化財の周知、活用及び保全を推進する。</li> <li>文化財や伝統文化に関する事業を開催し、文化財等への関心を高める。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「町民講座」や「ふるさと発見講座」などの文化財に関する教養講座を開催し、伝統文化や文化財に対する関心を高めることができた。特に県世界遺産センターの教授や県地球環境史ミュージアムの研究員を講師に招き、富士山須走口における歴史や自然についての講座をストーリー仕立てで開催した。</li> <li>文化財保護基金を活用し、森村橋の修景復元事業を行っている。(継続費で実施H29～31年度事業)</li> <li>豊門会館内にある掛け軸等を展示公開できるよう修復を行った。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「町民講座」や「ふるさと発見講座」を継続的に開催し、文化財に対する関心を高める。</li> <li>町内の文化財調査を進め、新たに指定する文化財の洗い出しを行う。</li> <li>町内の文化財を学習するために、文化財マップや解説冊子等を刊行する。</li> <li>森村橋等の国登録文化財の適切な保存を図るとともに工事状況を積極的に町内外へ発信していく。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>町文化財保護審議会を開催</li> <li>「町民講座」や「ふるさと発見講座」において文化財に関する教養講座を開催</li> <li>須走口登山道の調査を県と共同で実施 (H27～30)</li> <li>文化財等解説冊子作成 (明倫)</li> <li>文化財等修繕の実施</li> <li>森村橋の修景・復原事業</li> <li>富士紡績資料整理復元事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町文化財保護審議会を開催</li> <li>「町民講座」や「ふるさと発見講座」において文化財に関する教養講座を開催</li> <li>県と共催で世界遺産セミナーを実施</li> <li>文化財等修繕の実施</li> <li>文化財等解説冊子 (成美)</li> <li>森村橋の修景・復原事業</li> </ul>			
	事業費 (千円)					
		H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）
	国・県支出金	0	66,600			
	地方債	0	0			
	その他特定財源	11,507	100,010			
	一般財源	717	27,628			
	事業費計	12,224	194,238			

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

青少年健全育成事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	3-2	会計区分	1	一般会計	
新番号	30202		基本目標	いきいきとしたまち	予算科目	款	9	教育費
			基本施策	地域文化の振興と健全な青少年の育成		項	5	社会教育費
			施策分野	地域文化・青少年		目	1	社会教育総務費
(旧番号)	(30202)	担当部課	教育委員会 - 生涯学習課	事業		3	青少年健全育成費	

事業概要	・各種機関と連携し、健全な青少年の育成を図るため、地域活動への参加等の情報提供や各種支援を行うとともに、職場体験などの各種事業を推進する。
事業の成果 (課題・反省点を含む)	・青少年問題協議会を開催し、関係機関、各種団体からの状況報告を受け、充実した意見交換等を実施することができた。 ・中学生ボランティア事業により、地域とのつながりが深まり、地域全体で青少年を健全に育成するための契機となった。 ・職場体験事業における事業所の斡旋や調整を行うことで、受入体制が円滑となり、中学生にとって幅広い職種の事業所での体験が可能となった。 ・青少年補導を実施し、青少年だけでなくその保護者への声掛け運動を積極的に行い、青少年の健全育成の環境作りに努めた。
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	・青少年問題協議会や青少年補導員会を開催し、各種団体との情報交換を行う。 ・青少年に関わる団体（竹之下太鼓、大富士公時太鼓保存会、小山町子ども会育成連合会等）へ助成し、活動を支援する。 ・成人式において定住促進事業等のPR、情報発信を行うとともに同窓会助成事業の周知を推進していく。 ・中学生ボランティア活動、職場体験事業を継続実施し、地域社会での活動を推進する。 ・通学合宿や防災合宿を継続実施し、地域社会と一体化した教育活動を実施する。・ふるさと金太郎博士事業の実施と充実

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>青少年問題協議会や青少年補導員会を開催</li> <li>青少年に関わる団体（竹之下太鼓、大富士公時太鼓保存会、小山町子ども会育成連合会等）への助成、支援</li> <li>成人式の開催</li> <li>中学生ボランティア活動を実施</li> <li>中学生の職場体験（町内の中学2年生全員）の事業所斡旋と調整</li> <li>小中学校芸術鑑賞会を支援（バス借上げ）</li> <li>同窓会への助成事業を実施</li> <li>通学合宿の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>青少年問題協議会や青少年補導員会を開催</li> <li>青少年に関わる団体（竹之下太鼓、大富士公時太鼓保存会、小山町子ども会育成連合会等）への助成、支援</li> <li>成人式の開催</li> <li>中学生ボランティア活動を実施</li> <li>中学生の職場体験（町内の中学2年生全員）の事業所斡旋と調整</li> <li>小中学校芸術鑑賞会を支援（バス借上げ）</li> <li>同窓会への助成事業を実施</li> <li>通学合宿の実施</li> <li>ふるさと金太郎博士事業の実施</li> </ul>			
	事業費 (千円)		H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）
	財源内訳	国・県支出金	0	0		
		地方債	0	0		
		その他特定財源	1,000	0		
		一般財源	2,390	3,681		
		事業費計	3,390	3,681		

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

社会体育振興事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	3-3	会計区分	1	一般会計	
新番号	30301		基本目標	いきいきとしたまち	予算科目	款	9	教育費
			基本施策	スポーツ・レクリエーション活動の振興		項	6	保健体育費
(旧番号)	(30301)		施策分野	スポーツ・レクリエーション		目	1	保健体育総務費
		担当部課	教育委員会 - 生涯学習課	事業		2	社会体育振興費	

事業概要	・NPO法人小山町体育協会、指定管理者と連携し、町民のニーズに応えたスポーツ教室・大会等を開催し、町民の健康増進を図る。
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種スポーツ教室や大会を開催することにより、町民のニーズに応えた事業を実施することができた。</li> <li>・各種団体への助成、支援を実施することにより、町民のスポーツ活動の向上、健康増進に寄与することができた。</li> <li>・全国大会等への出場者や出場団体へ奨励金を授与するとともに積極的な広報を行った。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進委員の活動や各種大会を充実させ、気軽にスポーツが楽しめる環境を整備する。</li> <li>・各種スポーツ関係団体、サークルなどの活動の支援や育成を行う。</li> <li>・多目的広場の夜間照明を点けることにより、ウォーキング等とおして町民のスポーツへの親しみの向上と健康増進に努める。</li> <li>・NPO法人小山町体育協会の活動を支援する。 ・全国大会等出場者の支援を行う。</li> <li>・レクスポ大会等の開催。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツイベント推進委員会開催</li> <li>・スポーツイベントである4事業（町民体育大会、市町対抗駅伝競走大会、町内一周駅伝、富士マラソンフェスタ）の支援</li> <li>・学校体育施設開放事業用備品購入</li> <li>・レクスポ大会等を開催</li> <li>・全国大会等出場者奨励</li> <li>・各種スポーツ団体への助成、支援</li> <li>・東海四県スポーツ推進委員研修参加（奇数年度）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツイベント推進委員会開催</li> <li>・スポーツイベントである4事業（町民体育大会、市町対抗駅伝競走大会、町内一周駅伝、富士マラソンフェスタ）の支援</li> <li>・学校体育施設開放事業用備品購入</li> <li>・レクスポ大会等を開催</li> <li>・全国大会等出場者奨励</li> <li>・各種スポーツ団体への助成、支援</li> <li>・スポーツ推進委員ユニフォーム更新（偶数年度）</li> </ul>			
	事業費 (千円)		H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）
	国・県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特定財源	1,385	1,000			
	一般財源	15,694	15,704			
	事業費計	17,079	16,704			

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

事務局事務事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	3-4		会計区分		1	一般会計
新番号	30401		基本目標	いきいきとしたまち		予算科目	款	9	教育費
			基本施策	生きる力を育む学校教育の充実			項	1	教育総務費
			施策分野	学校教育			目	2	事務局費
(旧番号)	(30401)	担当部課	教育委員会 - こども育成課		事業		2	事務局事務費	

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小山町教育振興基本計画に基づき、一人ひとりの個性を大切に教育を推進するとともに、児童生徒の学力向上のため、教職員に対し、授業アドバイザー・専門監・指導主事の指導を推進する。</li> <li>・学校施設の長寿命化計画を策定する。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業アドバイザーの配置により授業力、教師力の向上が図れた。</li> <li>・姉妹町等富士登山交流事業は、平成29年度で5回目を数え、姉妹町等3市・1町と地元の中学生在が参加し、世界文化遺産「富士山」の雄大さを感じ、富士登山を通して交流が図れた。なお、行程を6合目に1泊、参加者を中学生に引き上げたことで、リタイアが減った。</li> <li>・平和教育生徒派遣事業を実施し、平和に対する中学生の考えを「平和の集い」で伝えることができた。※7/26～28各中学校から2人参加</li> <li>・福知山市鬼伝説交流学習事業を実施し、同市での体験と交流が図れた。8/6～8町内小学校5・6年生27人参加</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の学力向上のため、教職員に対し、授業アドバイザー・専門監・指導主事による研修指導を通し、教職員の資質向上に努めていく。</li> <li>・姉妹町等富士登山交流事業は、引き続き、参加者を中学生にしぼり、行程も6合目山小屋での宿泊を実施して、交流事業を充実させていく。</li> <li>・学校施設長寿命化計画を平成31年度に策定する。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業アドバイザーの配置</li> <li>・総括支援員の配置</li> <li>・各種委員報酬</li> <li>・姉妹町等富士山交流事業(勝央町、福知山市、北茨城市、三木市)</li> <li>・福知山市鬼伝説交流事業(2年目)</li> <li>・平和教育生徒派遣事業の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施及び継続の検討</li> <li>・授業アドバイザーの配置</li> <li>・総括支援員の配置</li> <li>・各種委員報酬</li> <li>・姉妹町等富士山交流事業(勝央町、福知山市、北茨城市、三木市、島原市)</li> <li>・福知山市鬼伝説交流事業(3年目)</li> <li>※台風の影響により中止</li> <li>・平和教育生徒派遣事業の実施</li> </ul>			
	事業費 (千円)					
		H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）
財源内訳		国・県支出金	17	17		
		地方債	0	0		
		その他特定財源	900	900		
		一般財源	8,453	9,938		
		事業費計	9,370	10,855		

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

こども相談事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	3-4	会計区分	1	一般会計	
新番号	30402		基本目標	いきいきとしたまち	予算科目	款	9	教育費
			基本施策	生きる力を育む学校教育の充実		項	1	教育総務費
(旧番号)	(30402)		施策分野	学校教育		目	2	事務局費
		担当部課	教育委員会 - こども育成課	事業		5	こども相談事業費	

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てに悩む保護者等に対し、相談体制の充実を図る。</li> <li>・こども相談員を2人配置し、小中学校を巡回し、児童及び生徒の状態を把握するとともに、保護者等からの相談を受け、適切な指導を行う。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てに悩む保護者からの相談を受け、1人ひとりのニーズに合った取り組みが出来た。また、自宅訪問対応により不登校児童、生徒への対応が充実すると共に保護者、家庭へのケアを推進することができた。</li> <li>・教育相談の内訳・・・来校相談3件、自宅訪問対応36件、巡回相談238件（平成29年度）</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も、こども相談員を小学校単位で1人、中学校単位で1人、計2人配置し、保護者が相談しやすい体制を継続的に維持していく。</li> <li>・保護者との面談の機会を設けるなど、相談後のフォロー体制の充実を図る。</li> </ul>

事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)	平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・こども相談員配置（2人） （小学校1人・中学校1人）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こども相談員配置（2人） （小学校1人・中学校1人）</li> </ul>		
事業費 (千円)	H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）
	国・県支出金	0	0		
	地方債	0	0		
	その他特定財源	0	0		
	一般財源	2,123	3,147		
	事業費計	2,123	3,147		

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

特別支援教育事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	3-4	会計区分	1	一般会計	
新番号	30403		基本目標	いきいきとしたまち	予算科目	款	9	教育費
			基本施策	生きる力を育む学校教育の充実		項	1	教育総務費
(旧番号)	(30403)		施策分野	学校教育		目	2	事務局費
		担当部課	教育委員会 - こども育成課	事業		4	特別支援教育費	

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校に支援員を配置し、特別支援教育の充実を図る。</li> <li>就学指導員を配置し、特別支援のケースなどに対応する。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体指導では十分理解できない園児・児童・生徒が、特別支援教育の支援員による個別対応によって、学習に対する意欲と理解が高まっている。</li> <li>教育支援委員会などを通じて、関係者・関係機関との連携が図られている。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育を充実していくことにより、支援の必要な園児・児童・生徒をはじめ、園・学校全体の子どもたちにとって、分かりやすい活動・授業ができるよう進めていく。</li> <li>継続して、特別支援学校や医療機関などの関係機関との連携を図り、適切な指導を行っていく。</li> <li>臨床心理士による相談業務。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>臨床心理士による巡回相談（年間35回）</li> <li>御殿場特別支援学校教育振興会助成（近隣市町が助成）</li> <li>教育講演会及びカウンセリング講座講師謝礼</li> <li>事務費</li> <li>特別支援学校の準備品</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>臨床心理士による巡回相談（年間35回）</li> <li>御殿場特別支援学校教育振興会助成（近隣市町が助成）</li> <li>教育講演会及びカウンセリング講座講師謝礼</li> <li>事務費</li> <li>特別支援教育研修会講師謝礼</li> <li>専門調査員スキルアップ研修講師謝礼</li> </ul>			
事業費 (千円)	財源内訳	H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）
		国・県支出金	0	0		
		地方債	0	0		
		その他特定財源	0	0		
		一般財源	1,594	858		
	事業費計	1,594	858			

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

国際交流・姉妹都市交流事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	3-5		会計区分	1	一般会計	
新番号	30501		基本目標	いきいきとしたまち		予算科目	款	2	総務費
			基本施策	地域間交流・国際交流の推進			項	8	広報広聴費
			施策分野	地域間交流・国際交流			目	1	広報広聴費
(旧番号)	(30501)	担当部課	企画総務部 - シティプロモーション推進課		事業		4	国際交流・姉妹都市交流費	

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際姉妹都市との交流を深めることにより、国際的視野を持てる子どもたちの語学力等の向上を図る。</li> <li>・姉妹都市との交流活動等を行うことにより、文化・観光交流等を促進・展開する。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミッション市への公式訪問を実施し、両市町の友好を深めた。</li> <li>・姉妹町等との交流は、互いの祭り等の行事や小・中学生の富士登山での交流を深める事ができた。</li> <li>・小山町国際友好協会への助成により、学生交流事業（カナダミッション市へホームステイ：中学生5名、高校生1人）やカナダ大使館訪問等を実施し友好を深めるとともに英語スピーチコンテストを実施し、中学生15名、高校生6名の参加があり、英語力の向上が図れた。</li> <li>・中国浙江省海寧市と友好交流関係協定を締結した。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カナダミッション市との交流を継続し、学生交流においては、ミッション市への訪問、ホームステイ体験者数を増加させ、交流をさらに深め、中・高校生のグローバル、多文化、異文化認識の向上をめざす。</li> <li>・姉妹町等との交流事業は、文化・スポーツ・観光・教育・農業・商工業など、様々な分野での交流を拡大する。</li> <li>・中国浙江省海寧市との友好交流関係を進め、農業・観光・文化・教育・衛生などの面において友好交流関係を構築していく。</li> <li>・台湾嘉義市との友好交流関係の構築を図る。定例記者懇談会やプレスリリース等を通じて交流事業の情報発信を強化する。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・姉妹都市等との祭り等交流の実施（岡山県勝央町・京都府福知山市）</li> <li>・中国浙江省海寧市と友好交流関係協定の締結書及び副協議を締結</li> <li>・中国浙江省35周年記念式典参加及び海寧市公式訪問団視察（12名）</li> <li>・小山町国際友好協会において、英語弁論大会、世界の料理教室等の開催</li> <li>・ミッション市への公式訪問団の派遣（22名）</li> <li>・ミッション市の学生受け入れ（4名）</li> <li>・小山町からミッション市へホームステイ（6名）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姉妹都市等との祭り等交流の実施（岡山県勝央町・京都府福知山市）</li> <li>・中国浙江省海寧市への交流訪問（2名）</li> <li>・中国浙江省海寧市訪問団の受け入れ（6名）</li> <li>・台湾嘉義市への交流調査訪問（7名）</li> <li>・小山町国際友好協会において、英語弁論大会、世界の料理教室等の開催</li> <li>・ミッション市の学生受け入れ（3名）</li> <li>・小山町からミッション市へホームステイ</li> </ul>			
		H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）
事業費 (千円)	財源内訳	国・県支出金	0	0		
		地方債	0	0		
		その他特定財源	796	0		
		一般財源	7,020	6,162		
		事業費計	7,816	6,162		

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

男女共同参画推進事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	3-6	会計区分	1	一般会計	
新番号	30601		基本目標	いきいきとしたまち	予算科目	款	9	教育費
			基本施策	誰もが活躍できる男女共同参画の推進		項	5	社会教育費
(旧番号)	(30601)		施策分野	男女共同参画		目	1	社会教育総務費
		担当部課	教育委員会 - 生涯学習課	事業		6	男女共同参画推進事業費	

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女共同参画社会づくり行動計画を、町民や時代のニーズ等に則した内容で改定・推進することで、町民の男女共同参画に対する意識の醸成を図る。</li> <li>講演会、研修会を開催し、男女共同参画の推進を図る。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「第4次小山町男女共同参画社会づくり行動計画」の進行管理を行った。</li> <li>男女共同参画講演会の開催や、男女共同参画週間に啓発活動を実施することで、町民の男女共同参画に対する理解を深めることができた。</li> <li>連合婦人会等に声掛けを行い、男女共同参画の視点だけでなく、女性活躍推進や男性の視線から捉えた男女共同参画を学ぶ講座を開講し、男女共同参画の意義や推進の取組について学習、啓発することができた。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女共同参画講演会、研修会を開催し、引き続き町民の男女共同参画に対する意識の醸成を図る。</li> <li>広報、啓発活動を推進し、町民及び企業や各種団体の意識の高揚を図る。</li> <li>「第4次小山町男女共同参画社会づくり行動計画」に基づいて男女共同参画の更なる推進を図る。</li> <li>「男女共同参画社会づくり宣言」を行う事業所を増加させるために、周知活動の強化を図る。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>男女共同参画推進委員会の設置及び会議開催</li> <li>男女共同参画講演会を開催</li> <li>県主催の職員研修に参加</li> <li>第4次小山町男女共同参画社会づくり行動計画の進行管理</li> <li>行動計画リーフレット作成及び配布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女共同参画推進委員会開催</li> <li>男女共同参画講演会を開催</li> <li>県主催の職員研修に参加</li> <li>第4次小山町男女共同参画社会づくり行動計画の進行管理</li> <li>企業アンケートを実施（隔年）</li> <li>「男女共同参画社会づくり宣言」を行う事業所の増加</li> </ul>			
	事業費 (千円)					
		H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）
財源内訳		国・県支出金	0	0		
		地方債	0	0		
		その他特定財源	0	0		
		一般財源	76	122		
		事業費計	76	122		

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

企業立地推進事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	3-7		会計区分		1	一般会計
新番号	30701		基本目標	いきいきとしたまち		予算科目	款	6	商工労働費
			基本施策	三来拠点事業の推進			項	1	商工費
(旧番号)	(30701)		施策分野	雇用創出・賑わい			目	2	企業立地推進費
		担当部課	未来創造部 - 未来拠点課		事業		2	企業立地推進費	

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備する工業団地への企業誘致を、県等との連携を図りながら強力で推進する。</li> <li>・企業誘致の推進にあたり、労働力の確保等、企業が抱える課題に的確に対応する。</li> <li>・企業立地に際し、用地取得に要した経費の一部を補助する小山町地域産業立地支援事業を実施する。</li> <li>・町内企業への情報提供、及びビジネスマッチング・コーディネイトの促進を目的とする富士山麓ビジネスマッチング促進事業を推進する。</li> </ul>
事業の成果 （課題・反省点を含む）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業誘致の推進のため、静岡県企業局と連携し、企業訪問や工業団地現地説明会を実施した。</li> <li>・町内企業の工場立地概要調査を実施し、企業の状況及び課題の把握を行った。</li> <li>・富士小山工業団地の工業排水管理の管理を実施した。</li> <li>・雇用の確保を目的に、ハローワークや、学校等を訪問し、情報交換を行った。</li> <li>・町民バスツアーや小山高校生バスツアーを実施し、小山町の企業誘致や雇用について、情報発信を図った。</li> </ul>
今後の展開 （事業の成果を踏まえた今後の展開）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業立地による雇用の場の創出、定住促進、観光交流人口の拡大を目指し、積極的な企業誘致活動を実施する。</li> <li>・創出する雇用に対応するため、就業していない潜在的労働力の掘り起しや、無料職業紹介事業を、おやまで暮らそう課と連携し実施し、労働力の確保に努める。</li> <li>・三来拠点事業を巡るバスツアーを定期に開催し、情報発信の強化を図る。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 （具体的に記入）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内工場立地概要調査</li> <li>・企業誘致活動</li> <li>・企業立地市町連絡会、富士山麓ビジネスマッチング事業への参画</li> <li>・無料職業紹介事業の実施</li> <li>・富士小山工業団地排水管理</li> <li>・三来拠点事業バスツアーの開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内工場立地概要調査</li> <li>・企業誘致活動</li> <li>・企業立地市町連絡会、富士山麓ビジネスマッチング事業への参画</li> <li>・無料職業紹介事業の実施</li> <li>・富士小山工業団地等排水管理</li> <li>・三来拠点事業バスツアーの開催</li> </ul>			
	事業費 （千円）					
		H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）
	国・県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特定財源	452	336			
	一般財源	1,327	1,473			
	事業費計	1,779	1,809			

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

新産業集積エリア造成事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	3-7		会計区分	25	新産業集積エリア造成事業特別会
新番号	30702		基本目標	いきいきとしたまち		予算科目	款	
			基本施策	三来拠点事業の推進			項	
(旧番号)	(30705)		施策分野	雇用創出・賑わい			目	
		担当部課	未来創造部 - 未来拠点課		事業			

事業概要	・三来拠点事業における湯船原地区のうち、新産業集積エリアにおいて町の工業団地造成事業を実施する。
事業の成果 (課題・反省点を含む)	・事業用地の用地買収及び立木等の補償を実施した。 ・事業協力者と連携し、造成工事の進捗を図るとともに、企業誘致活動を実施した。
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	・造成工事の実施（H31完成・分譲開始） ・事業協力者と連携し企業誘致を図る。 ・造成工事完了後、事業協力者との土地売買契約を締結し所有権移転する。 ・造成後の利便性施設用地の利用に向けた検討・協議を実施する。

事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)	平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）					
		<ul style="list-style-type: none"> <li>造成工事</li> <li>用地買収、物件補償</li> <li>企業誘致活動</li> </ul> 【H28→H29繰越】 106,775千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>用地取得、補償費</li> <li>自然環境調査</li> <li>嘱託登記申請</li> <li>配水管布設工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>造成工事</li> <li>企業誘致活動</li> <li>確定測量業務</li> <li>地区計画検討</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>利便施設（認定こども園）立地に係る基本協定締結</li> </ul> 【H29→H30繰越】 35,000千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>工事監理</li> <li>水文調査</li> </ul> 【H29→H30事故繰越】 3,924千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>配水管布設工事</li> </ul>							
事業費 (千円)	H29年度（決算額（実績））		H30年度（予算現額）		H31年度（予算要求額）		H32年度（計画額）		H33年度（計画額）	
	国・県支出金	0	0							
	地方債	106,700	781,100							
	その他特定財源	17,486	10,399							
	一般財源	408	6,000							
事業費計	124,594	797,499								

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

未来拠点事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	3-7		会計区分	1	一般会計	
新番号	30704		基本目標	いきいきとしたまち		予算科目	款	6	商工労働費
			基本施策	三来拠点事業の推進			項	1	商工費
(旧番号)			施策分野	雇用創出・賑わい			目	2	企業立地推進費
		担当部課	未来創造部 - 未来拠点課		事業		3	未来拠点事業費	

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふじのくにフロンティア推進区域の事業早期完了に向け、各推進区域の円滑な事業実施を図る。</li> <li>・推進区域事業を持続的かつ効果的な取組とするため、関係機関及び地域住民等との連絡調整並びに施策間連携を推進する。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・湯船原地区からの排水路整備工事を実施した。</li> <li>・湯船原地区のアグリインダストリーエリアで県営畑地帯総合整備事業が新規採択され、参入法人と進出協定を締結し、熱供給事業について検討した。</li> <li>・小山PA周辺地区において、基本構想策定業務、自然環境調査及び物件調査業務を実施した。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内外への取組の情報発信による、町民の事業への理解向上</li> <li>・フロンティア推進区域全体の事業進捗について、把握し適正な進行管理をおこない、早期完了を目指す。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小山PA周辺地区開発事業の事業手法の決定</li> <li>・太陽光発電事業の地権者協議会の運営</li> <li>・湯船原地区南北幹線道路の測量設計、用地測量</li> <li>・足柄SA周辺地区開発事業及びアクセス道路の用地買収、物件補償</li> <li>・リバーガーデンタウン基本調査業務委託等</li> <li>・三来拠点事業関連地権者組織の助成、運営</li> <li>※アグリインダストリーエリアは、経営体育成基盤整備事業（県営畑地帯総合整備事業）として実施</li> <li>【H28→H29繰越明許費】</li> <li>・未来拠点事業委託業務 34,373千円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・足柄SIC開通式典</li> <li>・太陽光発電事業の地権者協議会の運営</li> <li>・三来拠点事業関連地権者組織の助成、運営</li> <li>・小学生対象の環境学習の実施</li> </ul> ※アグリインダストリーエリアは、経営体育成基盤整備事業（県営畑地帯総合整備事業）として実施 【H29→H30繰越明許費】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・委託業務 36,654千円</li> <li>・公有財産購入費 25,000千円</li> <li>・補償補填及び賠償金 19,006千円</li> </ul>			
	事業費 (千円)	財源内訳	H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）
		国・県支出金	6,726	0		
		地方債	4,900	0		
		その他特定財源	36,359	16,769		
		一般財源	149,736	175,144		
		事業費計	197,721	191,913		

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

上野工業団地造成事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	3-7		会計区分	26	上野工業団地造成事業特別会計
新番号	30706		基本目標	いきいきとしたまち		予算科目	款	
			基本施策	三来拠点事業の推進			項	
(旧番号)			施策分野	雇用創出・賑わい			目	
		担当部課	未来創造部 - 未来拠点課		事業			

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>三来拠点事業における湯船原地区のうち、上野工業団地において町の工業団地造成事業を実施する。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業区域内の測量・用地調査及び基本設計業務を発注した。</li> <li>開発区域の確定に向けた関係機関協議を進めた。</li> <li>事業協力者の公募、選定を行い、開発基本協定を締結した。</li> <li>地元説明会の開催等、関係者への事業説明を実施した。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度用地買収、物件補償及び開発許可申請手続き</li> <li>平成31年度から工事着手</li> <li>平成33年度の造成完了と分譲開始に向け、事業協力者と連携して工程管理に努める。</li> <li>事業協力者と連携し企業誘致を図る。</li> </ul>

事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)	平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）					
		<ul style="list-style-type: none"> <li>用地取得に向けた地権者協議会の設立</li> <li>開発、造成にかかる各種測量、設計、調査</li> <li>事業協力者の公募、協定締結</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>用地買収 A=50ha</li> <li>流末水路詳細設計</li> <li>開発許可等許認可協議</li> <li>造成協定締結、造成請負工事の契約締結</li> </ul> <p>【H29→H30繰越】 281,276千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自然環境調査</li> <li>土木造成基本設計</li> <li>事業用地取得</li> </ul>							
事業費 (千円)	H29年度（決算額（実績））		H30年度（予算現額）		H31年度（予算要求額）		H32年度（計画額）		H33年度（計画額）	
	国・県支出金	0	0							
	地方債	110,800	2,498,200							
	その他特定財源	0	0							
	一般財源	7,366	11,076							
	事業費計	118,166	2,509,276							

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

木質バイオマス発電事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	3-7		会計区分	27	木質バイオマス発電事業特別会計
新番号	30707		基本目標	いきいきとしたまち		予算科目	款	
			基本施策	三来拠点事業の推進			項	
(旧番号)			施策分野	雇用創出・賑わい			目	
		担当部課	未来創造部 - 未来拠点課		事業			

事業概要	・木質バイオマス発電事業による再生可能エネルギーの利用促進を図る。
事業の成果 (課題・反省点を含む)	・持続可能な地域循環型林業の核となる、木質バイオマス発電所の建築に着手した。 ・売熱事業を伴う発電所運営・管理に関する検討を実施した。
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	・安定的な発電継続についての体制づくりを進める。 ・売熱事業に関する検討・協議を進める。 ・地域新電力事業への事業展開に関する検討を進める。

事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)	平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）					
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・用地買収 A=1,000㎡</li> <li>・造成工事 A=1,000㎡</li> <li>・施設整備工事 1式</li> <li>・熱供給事業基本設計</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設整備工事 1式</li> <li>・発電所の条例・規則制定</li> <li>・発電及び売電開始</li> <li>・施設運営委託の開始</li> <li>・木質バイオマス発電所の名称を公募により決定</li> <li>・地域新電力事業の検討</li> </ul> <p>【H29→H30】 72,530千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事監理</li> <li>・施設整備</li> </ul>							
事業費 (千円)	H29年度（決算額（実績））		H30年度（予算現額）		H31年度（予算要求額）		H32年度（計画額）		H33年度（計画額）	
	国・県支出金	62,287	0							
	地方債	146,400	0							
	その他特定財源	0	46,629							
	一般財源	178	0							
	事業費計	208,865	46,629							

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

小山PA周辺開発事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	3-7		会計区分	28	小山PA周辺開発事業特別会計
新番号	30711		基本目標	いきいきとしたまち		予算科目	款	
			基本施策	三来拠点事業の推進			項	
(旧番号)			施策分野	雇用創出・賑わい			目	
		担当部課	未来創造部 - 未来拠点課		事業			

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モータースポーツ関連産業の集積等を行い、町の玄関口にふさわしい整備を推進する。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業用地の外周境界や路線測量、物件調査を実施した。</li> <li>・地権者等協議会を設立した。</li> <li>・事業の本格化に向け、特別会計を設置した。</li> <li>・事業協力者を選定するための準備を進めた。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地権者協議会や地元説明会を開催し、事業への理解を深める。</li> <li>・造成工事着手に向け、用地買収や物件移転を実施する。</li> <li>・開発基本協定を締結した事業協力者と連携し、開発協議に向け実施計画等を策定する。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		※H29年度は、一般会計 未来拠点事業費で実施  ・小山PA周辺地区開発事業の事業手法転換  ・移転補償調査、自然環境調査の実施 73,100千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業協力者の公募、協定締結</li> <li>・立木調査、不動産鑑定各種調査</li> <li>・用地買収、補償</li> <li>・土質調査等委託</li> <li>・基本・実施設計</li> <li>・外周境界測量、路線測量</li> </ul>			
	事業費 (千円)	H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）
	国・県支出金	0	0			
	地方債	0	1,301,200			
	その他特定財源	0	0			
	一般財源	0	1,800			
	事業費計	0	1,303,000			

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

土地改良施設維持管理事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	3-8		会計区分	1	一般会計	
新番号	30801		基本目標	いきいきとしたまち		予算科目	款	5	農林水産業費
			基本施策	活気ある農業の振興			項	1	農業費
(旧番号)	(30802)		施策分野	農業			目	5	土地改良事業費
		担当部課	経済建設部 - 農林課		事業		3	土地改良施設維持管理費	

事業概要	・老朽化した土地改良施設の改修及び適正な維持管理を行い、施設の機能保全と長寿命化を図る。
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八重桐の池について、地区関係団体等に維持管理を委託し、適正に管理を実施した。</li> <li>・棚頭地区農業用ため池の耐震性調査を実施。当該成果をもとに耐震補強計画を策定し、補強工事を実施することとした。</li> <li>・地域の共同活動（草刈りや水路の泥上げ等）を支援する多面的機能支払交付金の取組地区が新たに1地区増加され、町内4地区において農業用施設の維持管理が図られた。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業用ため池の耐震化を図り、施設の安全性、能力を確保する。</li> <li>・地域住民の生命・公共施設に被害の恐れのある農業用ため池（中島・棚頭）についてハザードマップを作成する。</li> <li>・多面的機能支払交付金制度を活用し、順次、交付対象地区を拡大していき、農業用施設の維持管理や環境の整備など地域での共同活動を支援する。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業用施設の管理委託業務（中島八重桐の池） H29年度委託費 692千円</li> <li>・多面的機能支払制度 平成29年度 上野ほか3地区3,512千円（県75%補助）対象面積70ha</li> <li>・農業用ため池耐震対策 棚頭 調査設計費（団体営） C=8,100千円（県95%補助）</li> <li>・中島 工事負担金（県営） C=9,000千円×5%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業用施設の管理委託業務（中島八重桐の池）H30年度委託費692千円</li> <li>・多面的機能支払制度 H30年度 上野ほか3地区3,512千円（県75%補助）</li> <li>・農業用ため池耐震対策 棚頭 工事費・用地買収費（団体営） C=6,192千円（県95%補助）</li> <li>・農業用ため池ハザードマップ2池（中島・棚頭） C=2,000千円（県100%補助）</li> </ul>			
事業費 (千円)	財源内訳	H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）
		国・県支出金	11,194	10,310		
		地方債	0	0		
		その他特定財源	0	0		
		一般財源	2,581	2,392		
	事業費計	13,775	12,702			

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

中山間地域総合整備事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	3-8	会計区分	1	一般会計	
新番号	30802		基本目標	いきいきとしたまち	予算科目	款	5	農林水産業費
			基本施策	活気ある農業の振興		項	1	農業費
(旧番号)	(30805)		施策分野	農業		目	7	中山間地域総合整備事業費
			担当部課	経済建設部 - 農林課		事業	2	中山間地域総合整備事業費

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産性の高い農業推進のため、基盤整備事業（ほ場整備、農道、用排水路整備等）を促進する。</li> <li>県営中山間地域総合整備事業足柄金時地区及び北郷南西部地区の事業促進を図るとともに、新規地区採択に向けた調査を実施する。</li> </ul>
事業の成果 （課題・反省点を含む）	<ul style="list-style-type: none"> <li>県営中山間地域総合整備事業の実施により、ほ場区画及び農道、用排水路が整備されて、農作業の省力化に伴う効率性と生産性の向上に寄与した。</li> <li>新規要望について、県単調査を実施したものの、次年度での採択に向けた取り組みとならなかった。</li> </ul>
今後の展開 （事業の成果を踏まえた今後の展開）	<ul style="list-style-type: none"> <li>足柄金時地区、北郷南西部地区において、早急に事業効果が図られるよう、引き続き事業の早期完成を要望するとともに、順調に事業が進むよう地元調整を行う。</li> <li>新規地区採択に向けて、地区の要望を踏まえ県単調査等を実施するとともに、阿多野・棚頭のほ場整備に向けた勉強会を地区ごとに実施し、早期採択の準備を進める。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 （具体的に記入）		<ul style="list-style-type: none"> <li>足柄金時地区 ほ場整備（所領3.6ha・大胡田3.2ha）、農道（所領）、補完工事（所領）、換地業務（吉久保）等 C=77,000千円×15%</li> <li>北郷南西部地区 ほ場整備（下小林3.8ha・一色4.4ha）測量設計（用沢）等 C=168,000千円×15%</li> <li>新規採択検討地区 県単調査（実施計画） C=3,000千円×50%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>足柄金時地区 ほ場整備（大胡田2.9ha）、補完工事（所領・大胡田）、用排水路工事（所領）、換地業務（所領・大胡田）等 C=80,000千円×15%</li> <li>北郷南西部地区 ほ場整備（下小林3.6ha・一色3.6ha・用沢2.0ha・一色堀切1.3ha）、測量設計（向井田）、換地業務（下小林・一色）等 C=200,000千円×15%</li> <li>新規採択検討地区 C=2,000千円×50%</li> </ul>			
	事業費 （千円）	財源内訳	H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）
		国・県支出金	0	0		
		地方債	17,800	18,900		
		その他特定財源	19,023	21,000		
		一般財源	4,876	3,899		
		事業費計	41,699	43,799		

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

経営体育成基盤整備事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	3-8	会計区分	1	一般会計	
新番号	30803		基本目標	いきいきとしたまち	予算科目	款	5	農林水産業費
			基本施策	活気ある農業の振興		項	1	農業費
(旧番号)	(30806)		施策分野	農業		目	8	経営体育成基盤整備事業費
		担当部課	経済建設部 - 農林課	事業		2	経営体育成基盤整備事業費	

事業概要	・ほ場整備事業の実施と併せて農地の利用集積を推進し、農地の有効利用と生産性の向上を図る。
事業の成果 (課題・反省点を含む)	・高根西部・一色地区（一色正倉）において、土地改良区を設立し、境界測量を実施した。 ・県営畑地帯総合整備事業 アグリふじおやま地区（上野下ノ原）は、地権者協議会の運営を進め、換地計画原案を作成するとともに、進出業者の意見を踏まえ、詳細設計を実施した。
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	・高根西部・一色地区は、早期にほ場整備が完成されるよう、県、御殿場市との連携を進め取り組む。 ・アグリふじおやま地区は、地権者協議会、進出業者と調整を図り、平成32年度のほ場整備の完成を目指す。

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>高根西部・一色地区 土地改良区設立、事業施行申請、地形測量等 小山町負担金 C=3,652千円×10% (地権者負担金は土地改良区より支出)</li> <li>アグリふじおやま地区 事業施行申請、地形測量・実施設計・換地計画原案作成等 C=206,000千円×20%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高根西部・一色地区 外周境界、基本設計等 小山町負担金 C=8,730千円×10% (地権者負担金は土地改良区より支出)</li> <li>アグリふじおやま地区 工事実施（伐採、調整池） C=141,680千円×20%</li> </ul>			
	事業費 (千円)					
		H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）
財源内訳		国・県支出金	0	0		
		地方債	20,100	12,700		
		その他特定財源	20,600	14,168		
		一般財源	1,242	2,833		
		事業費計	41,942	29,701		

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

農業振興事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	3-8		会計区分	1	一般会計	
新番号	30804		基本目標	いきいきとしたまち		予算科目	款	5	農林水産業費
			基本施策	活気ある農業の振興			項	1	農業費
			施策分野	農業			目	3	農業振興費
(旧番号)	(30807)	担当部課	経済建設部 - 農林課		事業		2	農業振興費	

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種協議会への助成や負担金の交付を行い、担い手の育成や支援、担い手への農地利用集積や遊休農地の解消など農地の有効活用を進める。</li> <li>町内農産物の加工・販売などの6次産業化の取組や地産地消を推進するとともに、農作業体験などのグリーン・ツーリズムを推進することにより、農家所得の向上と農業の活性化を図る。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>農地中間管理事業の活用を進めたことにより、担い手への農地の集約化と有効活用が図られた。</li> <li>集落支援員を活用し、学校給食へ地場農産物の供給体制の確立を進めたことにより、地産地消の取組みが拡大した。</li> <li>干芋やイチゴ大福など農産物の新たな加工品の販売が始まり、6次産業化の取組みが進んだ。</li> <li>農作業体験、教育ファームを実施し、町内外の消費者との交流が図られた。</li> <li>環境保全型農業直接支払交付金を活用することにより、エコファーマーの育成が図られ、持続可能な農業の推進が図られた。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規担い手の掘り起こしとともに、畦畔緑化などの負担軽減対策を進める。</li> <li>農地の有効活用として、農業委員・農地利用最適化推進委員と連携し「人・農地プラン」の作成や農地中間管理事業を推進する。</li> <li>計画的な野菜生産の拡大を図られるよう、生産者向けに講習会を実施する。</li> <li>「米・食味分析鑑定コンクール：国際大会」（米コン）の2020年小山町大会の開催に向けた準備を進める。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>農地中間管理事業を活用し、出し手6者、受け手4者の組み合わせることにより2.6haの農地集約化を図った。</li> <li>農村活性化センターを拠点にコシヒカリや野菜を学校給食へ供給した。</li> <li>所領地区にて港区立の小学校を対象に農作業体験を実施した。</li> <li>環境保全型農業を推進し、23者のエコファーマーに850千円の補助を行った。</li> <li>米コン開催に向けた情報収集を実施した。（視察・打合せ等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営体育成支援事業により、担い手への農機具補助を実施する。</li> <li>農地中間管理事業を活用し、農地の集約化を図る。</li> <li>集落支援員を活用し、学校給食へ供給体制を確立する。</li> <li>生産者向けにトラクターやドローンでの農薬残布等各種講習会を実施する。</li> <li>米の新品種の取組やセンチピードグラスなどの畦畔対策を進める。</li> <li>所領地区・湯船地区において港区立の小学校を対象に農作業体験を実施する。</li> <li>米コンに向け、新品種栽培の取組、御殿場小山の米コンテストを実施する（11月24日）。</li> </ul>			
	事業費 (千円)	財源内訳	H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）
		国・県支出金	1,054	3,606		
		地方債	0	0		
		その他特定財源	0	0		
		一般財源	5,261	5,440		
		事業費計	6,315	9,046		

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

有害鳥獣対策事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	3-8		会計区分	1	一般会計	
新番号	30805		基本目標	いきいきとしたまち		予算科目	款	5	農林水産業費
			基本施策	活気ある農業の振興			項	1	農業費
			施策分野	農業			目	3	農業振興費
(旧番号)	(30808)	担当部課	経済建設部 - 農林課		事業		3	有害鳥獣対策事業費	

事業概要	・小山町鳥獣被害防止計画に基づき、行政、部農会、農協、農業共済、猟友会からなる「小山町鳥獣被害防止対策協議会」を中心に、広域的な被害防除を行う。
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有害鳥獣捕獲によるイノシシ、ニホンジカの捕獲頭数は、134頭で前年度より96頭減少したが、被害額は若干減少したものの依然高い水準だった。</li> <li>・東部農業共済の補助金を活用し、鳥獣被害防止対策として電気柵等の補助を実施し、自己防衛による被害の軽減に努めた。</li> <li>・猟友会員6名と農林課職員からなる「鳥獣被害対策実施隊」を設置し、現場での実践的な活動を担った。</li> <li>・補助事業により箱型括りわなを購入し、銃だけではない効果的な捕獲対策を実施した。</li> <li>・広報活動を行い、猟友会の担い手育成を図った。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強会の開催により鳥獣被害に対する理解を深めるとともに、電気柵等の設置に関する補助を推進し、防御と捕獲の組み合わせや環境の整備など、集落単位での対策を推進する。</li> <li>・鳥獣被害防止の実践的な活動を担う「鳥獣被害対策実施隊」について、積極的な活動を行い、被害の防止に努める。</li> <li>・有害鳥獣捕獲従事者に対する補助や狩猟講習会などのPR活動を行い、新規狩猟免許取得者の確保を目指す。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥獣被害防止総合対策事業交付金を活用し、イノシシ、ニホンジカ合わせて134頭(1頭/8,000円)捕獲した分の補助を行った。</li> <li>・「鳥獣被害対策実施隊」を平成29年12月11日に発足。主に住民からの被害報告への対応と罠の設置を行った。</li> <li>・上記交付金を活用し箱型括りわな50基購入し、実施隊活動の捕獲対策に寄与した。</li> <li>・新規狩猟免許取得者への補助を2名分実施し、新規担い手が確保された。</li> <li>・個人設置の電気柵に対し10件493千円の補助を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥獣被害防止総合対策事業交付金を活用し、捕獲分の補助を行い被害防止活動を推進する。</li> <li>・猟友会、鳥獣被害対策実施隊と連携し効率的な捕獲を図る。</li> <li>・勉強会の開催により鳥獣被害に対する理解を深めるとともに、電気柵の補助を実施し、自己防衛の被害軽減を推進する。</li> <li>・新規狩猟免許取得者への補助を実施し、担い手の確保に努める。</li> </ul>			
	事業費 (千円)	財源内訳	H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）
		国・県支出金	1,745	2,800		
		地方債	0	0		
		その他特定財源	0	0		
		一般財源	940	1,707		
		事業費計	2,685	4,507		

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

林業総務事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	3-9		会計区分	1	一般会計	
新番号	30901		基本目標	いきいきとしたまち		予算科目	款	5	農林水産業費
			基本施策	適切な森林整備を通じた林業の活性化			項	2	林業費
(旧番号)	(30809)		施策分野	林業			目	1	林業総務費
		担当部課	経済建設部 - 農林課		事業		2	林業総務費	

事業概要	・再生可能エネルギーの利用促進や地球温暖化防止対策等を通じて、持続可能な森林の管理・経営に向けた取組を行う。
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・流通する木材の合法性を高め、且つ県産材の販路を拡大するため、小山町内外の森林管理団体に呼びかけ『富士箱根森林認証協議会』を運営し木材産地などのトレーサビリティが明確で信頼のある木材流通システムを構築した。</li> <li>・地域木材の利用促進を図るため、東京ビックサイトで行われた住宅展示会に小山町産の木材『富士山-金時材』を展示し、JAS材や森林認証材が供給可能であることを全国へ発信した。</li> <li>・森林整備を推進するため、町民が所有する森林の位置を調査し、林地台帳の整備を行った。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小山町内で生産された原木については、地産地消を推進すると共に、原木のマテリアル利用を検討し、余すことなく利用できるように企業と連携を図る。</li> <li>・小山町の風土や地形地質を考慮した新たな森林管理手法を検討し、優良木材生産に努める。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士箱根森林認証協議会事務局として、小山町内外の森林1,239haについて森林認証林の認定を受けた。</li> <li>・御殿場木材協同組合等に森林認証材の加工ができるように認証工場として認定を受けるように促した。(COC認証)</li> <li>・『富士山-金時材』の普及啓発</li> <li>・神奈川県秦野市との包括協定を締結し木材の協力体制を調えた。</li> <li>・林業事業体へ間伐施業の指導</li> <li>・林地台帳の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士箱根森林認証林の範囲拡大を推進するため、小山町内外の森林管理団体に、当協議会への参入を促す。(平成30年度新たに113haが増え1,352haとなる見込み)</li> <li>・『富士山-金時材』の普及啓発</li> <li>・林業事業体へ間伐施業の指導</li> <li>・森林計画図の原案作成</li> </ul>			
	事業費 (千円)		H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）
	国・県支出金	175	0			
	地方債	0	0			
	その他特定財源	100	0			
	一般財源	6,957	11,235			
	事業費計	7,232	11,235			

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

森林整備事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	3-9		会計区分	1	一般会計	
新番号	30902		基本目標	いきいきとしたまち		予算科目	款	5	農林水産業費
			基本施策	適切な森林整備を通じた林業の活性化			項	2	林業費
			施策分野	林業			目	1	林業総務費
(旧番号)	(30810)	担当部課	経済建設部 - 農林課		事業		3	森林整備事業費	

事業概要	・森林の持つ多面的機能の発揮のため、森林施業の効率化に向けた取組を推進するとともに、間伐等の森林整備を実施する。
事業の成果 (課題・反省点を含む)	・林業事業体に木材生産の低コスト化に至る森林整備の手法を指導するとともに、高性能林業機械の導入を支援し短期間で木材生産が可能となった。 ・森林内の立木には、シカによる樹皮剥ぎなどの被害で立木枯れが発生している。シカの駆除など個体数を減らす対応しているが、森林被害の減少には至っていない。林業事業体に捕獲方法を指導し、更なる捕獲を試みると共に森林被害軽減につとめた。 ・上野地区及び生土地区で森林所有者の団体等に森林整備の啓発を行い、間伐等の施業を実施するために必要となる森林経営計画について策定することの合意を得た。
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	・町内の森林は高齢級な森林が多々あり、肥大した木材は現在の木材産業ニーズに合致していない。そのため主伐と再生林を順次実施することにより林齢の平準化を図ると共に製材ニーズに応じた適寸で良質木材生産につとめる。 ・森林所有者の山林所得が増加させるため、成長が早く収穫期の短い樹種、また原木価格の高い樹種を植栽し今後の林業成長を担う樹種を検証する。 ・東京2020オリンピック・パラリンピック自転車ロードレース開催地であることから、主要道路沿いの立木を伐採し、良好な競技環境と森林景観を創出する。

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>小山町有林の整備                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①須走-矢禅山 定性間伐施業 5.97ha 森林作業道開設 1546m 原木素材生産 580m<sup>3</sup> シカ柵設置 1式 シカ誘因捕獲 1式</li> <li>②桑木-池ノ沢北 森林作業道開設施業 700m 林床整備 1式</li> <li>③大御神-角取山 シカ柵設置 1式</li> </ul> </li> <li>森林経営計画策定補助 (須走で68haの森林を認定)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小山町有林の整備                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①須走-矢禅山 定性間伐施業 7.00ha 森林作業道開設 1,340m シカ誘因捕獲 1式</li> <li>②桑木-池ノ沢北 定性間伐施業 16.50ha 森林作業道開設施業 3,700m</li> <li>③大御神-角取山 シカ柵設置 1式</li> </ul> </li> <li>主伐再生林試験場の設置（上野-北山）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①植栽 スギ・ヒノキ 2,500本 その他早生樹 800本</li> <li>②シカ柵 ネット柵 1,500m</li> </ul> </li> <li>上野地区森林経営計画策定補助</li> <li>高性能林業機械導入補助</li> </ul>			
	事業費 (千円)		H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）
	財源内訳	国・県支出金 1,027	21,952			
		地方債 0	0			
		その他特定財源 0	0			
		一般財源 4,911	8,779			
		事業費計 5,938	30,731			

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

林道整備事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	3-9		会計区分	1	一般会計	
新番号	30903		基本目標	いきいきとしたまち		予算科目	款	5	農林水産業費
			基本施策	適切な森林整備を通じた林業の活性化			項	2	林業費
			施策分野	林業			目	2	林道費
(旧番号)	(30812)	担当部課	経済建設部 - 農林課		事業		3	林道整備事業費	

事業概要	・効率的な森林整備、生産性の向上等のため、林道等の路網整備及び改良事業を実施する。
事業の成果 (課題・反省点を含む)	・林道の多くの箇所、路肩の流出や路面荒廃が進行している。主要な原因としては路面排水施設の老朽化による機能低下であり、著しく破損している箇所から順次施設の改良と更新を実施した。 ・林業事業の低コスト化を図るためには、林業車両の大型化と木材運搬時間の短縮が求められる。しかし現在の林道は、山林の地形に合わせた線形であることから、細かいカーブの連続と未舗装による路面荒廃により作業効率の悪い状況である。そのため、林道の拡幅と共に路面舗装を行う必要がある。林道金時線の周辺では広範囲の間伐計画があることから、林道金時線の改良と拡幅を県営事業で実施した。
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	・引き続き、既存林道の維持管理につとめ、順次施設の改修を実施する。 ・林道の線形の見直しと拡幅改良工事を実施し、大型林業機械の運用による林業事業の低コスト化を図る。また新たな林道の開設を検討し、森林整備を推進する。 ・多くの林道では排水の流末を民有林内へ放流している状況であるため、路肩の決壊や山腹の崩壊の原因となっている。そのため安定した流路まで排水施設を延長する必要がある。

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		・小山町森林整備計画（H28～H38）に基づき、町内林道開設及び部分改良の進行管理を行なった。  ① 排水施設改良の実施 <林道中島線> 路面排水整備 L=153.1m <林道竹之下金時線> 路面排水整備 L=152.9m  ② 林道拡幅の実施（県営事業） <林道金時線> 幅員の拡幅 L=1,409.0m	・小山町森林整備計画（H28～H38）に基づき、町内林道開設及び部分改良の進行管理を行なう。  ① 排水施設改良の実施 <林道中島線> 路面排水整備 L=132.8m <林道竹之下金時線> 路面排水整備 L=120.0m  ② 林道拡幅の実施（県営事業） <林道金時線> 舗装 L=650.0m			
	事業費 (千円)					
		H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）
事業費 (千円)	財源内訳	国・県支出金	3,600	3,600		
		地方債	0	0		
		その他特定財源	0	0		
		一般財源	29,997	32,420		
		事業費計	33,597	36,020		

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

観光振興事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	3-10	会計区分	1	一般会計	
新番号	31001		基本目標	いきいきとしたまち	予算科目	款	6	商工労働費
			基本施策	人が訪れ、消費が拡大する観光交流の振興		項	2	観光費
			施策分野	観光交流		目	1	観光費
(旧番号)	(30901)	担当部課	経済建設部 - 商工観光課	事業		2	観光振興費	

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源を活用したイベントや、魅力的な富士山金太郎まつりを開催し、観光交流人口の拡大を図る。</li> <li>・本町の魅力をPRできる観光ボランティアガイドを育成し、町内外からの来訪者への対応の充実を図る。</li> <li>・観光振興計画のアクションプランを作成し、観光振興に関する施策を計画的に推進する。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士山金太郎まつりをはじめ各種イベント内容の見直しやモニターツアーにより集客を図っているが、金時公園や豊門公園の活用により更なる誘客に努める必要がある。</li> <li>・足柄峠笛まつりの際に南足柄市と共同で足柄古道ハイキングを実施したが、イベントの周知と集客については課題が残る。</li> <li>・観光振興施策を計画的に推進するため、年に2回観光振興会議を開催しアクションプランの進捗管理と課題解決に努めた。</li> <li>・観光地域づくりを推進するため、小山町DMO室を設置しDMOの構築に向けて関係機関との調整や旅行商品の造成などに取り組んだ。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力的なまつりやイベントの開催により、町内外から来訪者の増加を図り地域での消費拡大につなげる。</li> <li>・既存の観光ガイド組織を整理し、町認定制度を設けることでガイドの資質向上を図り、インバウンドへの対応も含めた観光客の受入環境を整備する。</li> <li>・観光振興計画アクションプランを計画的に推進するため、PDCAサイクルを活用して官民一体となって取り組んで行く。</li> <li>・観光を産業に発展させるため、観光業や旅行業に精通している専門人材を配置し小山町DMOを法人化する。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士山金太郎まつり、笛まつり、もみじまつりの開催</li> <li>・観光パンフレット作成、活用</li> <li>・小山町観光協会への助成</li> <li>・おまつりへの助成</li> <li>・各種イベントへ観光PRブース出展</li> <li>・観光振興計画アクションプランの推進</li> <li>・小山町DMOの計画推進</li> <li>・観光ガイド組織の見直し、活用(富士登山ガイド認定)</li> <li>・大学コンソーシアムの活用</li> <li>・金太郎生誕の地のPR(町民アンケート結果51%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士山金太郎まつり、笛まつり、もみじまつりの開催</li> <li>・観光パンフレット作成、活用</li> <li>・小山町観光協会への助成</li> <li>・おまつりへの助成</li> <li>・各種イベントへ観光PRブース出展</li> <li>・観光振興計画アクションプランの推進</li> <li>・小山町DMOの計画推進(組織化・法人化業務)</li> <li>・観光ガイド組織の見直し、活用</li> <li>・大学コンソーシアムの活用</li> <li>・地域おこし協力隊の活用</li> <li>・金太郎生誕の地のPR(町民アンケート結果53%)</li> </ul>			
	事業費 (千円)		H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）
	財源内訳	国・県支出金	2,998	5,000		
		地方債	0	0		
		その他特定財源	0	0		
		一般財源	24,045	34,595		
		事業費計	27,043	39,595		

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

富士山観光事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	3-10		会計区分	1	一般会計
新番号	31002		基本目標	いきいきとしたまち		予算科目	款	6 商工労働費
(旧番号)	(30902)		基本施策	人が訪れ、消費が拡大する観光交流の振興			項	2 観光費
			施策分野	観光交流			目	1 観光費
		担当部課	経済建設部 - 商工観光課		事業		3 富士山観光事業費	

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光客・登山客の利便向上と安全対策を図るため、五合目駐車場周辺及び下山道の整備を推進する。また、五合目ビジターセンター設置や駐車場再整備などの計画について関係機関と調整の上、事業を推進する。</li> <li>富士山の自然環境を保全するため、ふじあざみラインのマイカー規制を毎年実施する。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>下山道の整備及び登下山道の巡視、富士山ナビゲーターの配置業務により須走口登山客の安全確保に努めた。</li> <li>須走口五合目の魅力発信及び来訪者の利便性を高めるため、インフォメーションセンターの設置や周辺整備について環境省や県等の関係機関と調整を図った。</li> <li>富士山保全協力金徴収業務を県から町が受託し、地元人材を配置することで来訪者の利便性向上を図った。</li> <li>小山町富士山須走口登山認定ガイドの活用により須走口からの誘客促進に努めた。</li> <li>開山期間中の63日間でマイカー規制を実施しふじあざみラインの渋滞対策と環境保全に努めた。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光客や登山客の利便性向上と安全確保を図るため、五合目駐車場周辺及び登下山道の維持管理に努める。</li> <li>インフォメーションセンターの設置や周辺整備について、関係機関の合意形成を図り早期実現に努める。</li> <li>小山町富士山須走口登山認定ガイドの活用によりインバウンドも含めた受入環境の整備を進める。</li> <li>マイカー規制を継続して実施することにより、渋滞対策と環境保全に努め、新たなマイカー規制乗換駐車場を検討する。</li> <li>須走口登山道の特徴である自然環境（森林限界の高さ）を活用して誘客を図るため、登山道の段階的規制の実施に向けて調整する。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>登山パンフレット(多言語版)の作成、活用</li> <li>富士山関係団体への負担金</li> <li>五合目駐車場、下山道の維持管理</li> <li>観光案内所、五合目公衆トイレの維持管理(トイレのオーバーホール)</li> <li>五合目送電ケーブル維持管理</li> <li>富士登山ナビゲーター配置(4人)</li> <li>富士山須走ルート巡視業務</li> <li>富士山保全協力金徴収業務</li> <li>須走口登山ガイドの認定・活用</li> <li>須走口五合目再整備計画の推進</li> <li>ふじあざみラインマイカー規制実施(開山期間中63日間)</li> <li>須走口の情報発信(町民アンケート結果30%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登山パンフレット(多言語版)の作成、活用</li> <li>富士山関係団体への負担金</li> <li>五合目駐車場、下山道の維持管理</li> <li>観光案内所、五合目公衆トイレの維持管理</li> <li>五合目送電ケーブル維持管理</li> <li>富士登山ナビゲーター配置(4人)</li> <li>富士山須走ルート巡視業務</li> <li>富士山保全協力金徴収業務</li> <li>登山者カウンター購入</li> <li>須走口登山ガイドの認定・活用</li> <li>須走口五合目再整備の推進(五合目測量設計業務)</li> <li>ふじあざみラインマイカー規制実施(開山期間中63日間)</li> <li>須走口の情報発信(町民アンケート結果35%)</li> </ul>			
	事業費 (千円)		H29年度(決算額(実績))	H30年度(予算現額)	H31年度(予算要求額)	H32年度(計画額)
	国・県支出金	2,382	3,453			
	地方債	0	0			
	その他特定財源	15,238	14,258			
	一般財源	13,295	15,964			
	事業費計	30,915	33,675			

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

交流人口拡大事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	3-10	会計区分	1	一般会計	
新番号	31003		基本目標	いきいきとしたまち	予算科目	款	6	商工労働費
			基本施策	人が訪れ、消費が拡大する観光交流の振興		項	2	観光費
(旧番号)	(30903)		施策分野	観光交流		目	1	観光費
		担当部課	経済建設部 - 商工観光課	事業		4	交流人口拡大事業費	

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種自転車イベントを開催することによりサイクリスト及び観光客増加を図る。</li> <li>・県内外に小山町の魅力をアピールし、観光客数の増加を図る。</li> <li>・近隣の市町や観光施設と連携し、観光プロモーションや魅力のある商品企画及び整備を行う。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピック・パラリンピックに向けて、台湾のサイクリストを誘致した自転車レースやガイドライド付きサイクリングイベントの開催によりサイクリストの増加に努めた。(お花見ファンライド100人、プレミアムライド20人、グルメライド120人)</li> <li>・富士スピードウェイで復活した24時間耐久レースを契機に、地域一体となった小山町モータースポーツ協力を設立し、本町の魅力発信と地域での消費拡大に努めた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴルフ場の利用を促進するため、小山町ゴルフ連盟や御殿場小山ゴルフ振興事業実行委員会と協力しハーフコンペ等を開催し、特産品を賞品として提供する等誘客に努めた。</li> </ul> </li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピック・パラリンピックに向け、自転車レースに加え、自転車愛好団体との連携による自転車イベントを開催し大会への機運を盛り上げる。</li> <li>・イタリアや台湾等からのサイクリストを誘致し、国際色豊かな大会として魅力を高め交流人口の拡大を図る。</li> <li>・近隣の市町や観光協会、観光施設と連携した広域観光による観光プロモーションを展開し、町内での周遊性を高め地域での消費拡大に繋げる。</li> </ul>

		平成29年度(昨年度)	平成30年度(本年度)	平成31年度(来年度)	平成32年度(2年後)	平成33年度(3年後)
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種自転車イベントの開催、拡大(大会8回・参加者数 2,980人)</li> <li>・台湾のサイクリストを誘致し、レースや交流イベントを実施</li> <li>・自転車まちづくり事業の推進(バイシクルピット増設、道の駅「すばしり」でレンタサイクル導入)</li> <li>・モータースポーツの推進(24h協力会設立)</li> <li>・首都圏等のイベントで観光PR</li> <li>・表富士観光キャラバンによるファミトリップの実施、検証</li> <li>・ゴルフ場の利用促進(コンペ・レッスン等開催)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種自転車イベントの開催、拡大(大会6回・参加者数 目標4,500人)</li> <li>・イタリア、台湾のサイクリストを誘致し、レースや交流イベントを実施</li> <li>・自転車まちづくり事業の推進</li> <li>・モータースポーツの推進</li> <li>・首都圏等のイベントで観光PR</li> <li>・表富士観光キャラバンによる広域観光PR</li> <li>・ゴルフ場の利用促進</li> <li>・路網を活用したMTBコースの検討</li> <li>・デスティネーションキャンペーンの実施(プレイベント)</li> </ul>			
	事業費 (千円)		H29年度(決算額(実績))	H30年度(予算現額)	H31年度(予算要求額)	H32年度(計画額)
	財源内訳	国・県支出金	0	0		
		地方債	0	0		
		その他特定財源	2,360	1,492		
		一般財源	5,577	7,843		
		事業費計	7,937	9,335		

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

富士箱根トレイル等維持管理事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	3-10		会計区分	1	一般会計	
新番号	31004		基本目標	いきいきとしたまち		予算科目	款	6	商工労働費
			基本施策	人が訪れ、消費が拡大する観光交流の振興			項	2	観光費
			施策分野	観光交流			目	1	観光費
(旧番号)	(30904)	担当部課	経済建設部 - 商工観光課		事業		6	富士箱根トレイル等維持管理費	

事業概要	・恵まれた本町の自然環境を活かし、富士箱根トレイルをはじめとするハイキングコースのPRと維持管理を行い、観光交流人口の拡大を図る。
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士箱根トレイルをはじめとするハイキングコースを官民協働で維持管理することにより、ハイカーの安全確保及び利便性の向上に努めた。</li> <li>・富士箱根トレイルを利用促進するため、富士山ルートと立山ルートのコース変更に関する調査及び関係機関との交渉を行い早期実現に努めた。</li> <li>・JRさわやかウォーキングやサンショウバラの季節には多くのハイカーが訪れることから、町の駅の開店時間を調整し売上げの増加に努めた。</li> <li>・南足柄市との交流事業として足柄古道ハイキングを開催したが、イベントの周知方法や内容の充実により参加者を増やす工夫が必要である。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士箱根トレイルをはじめとするハイキングコースの維持管理を官民協働で継続し、SNS等の活用により四季折々の魅力を情報発信することで誘客促進を図る。</li> <li>・JRや小田急等のハイキングイベントを誘致し誘客を促進する。</li> <li>・立山ルートのコース変更部分について、官民協働で整備を行う。</li> <li>・富士山ルートのコース変更に伴う土地の使用について関係機関と協議し変更ルートの早期実現に努める。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・官民協働によるハイキングコースの整備</li> <li>・ハイキングコースの管理(8団体)</li> <li>・トレイルコースの見直し、整備</li> <li>・トイレ、ベンチ、休憩スペースの設置検討</li> <li>・ハイキングバスの運行・利用促進</li> <li>・足柄古道等を活用したツアー開催(2回)</li> <li>・広域連携によるハイキングコースの設定、活用(1コース)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・官民協働によるハイキングコースの整備</li> <li>・ハイキングコースの管理(10団体)</li> <li>・トレイルコースの見直し、整備</li> <li>・トイレ、ベンチ、休憩スペースの設置検討(トイレの研究)</li> <li>・富士山コースPRのための鳥居設置</li> <li>・ハイキングバスの運行・利用促進</li> <li>・足柄古道等を活用したツアー開催(目標2回)</li> <li>・広域連携によるハイキングコースの設定、活用(目標2コース)</li> </ul>			
	事業費 (千円)		H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）
	国・県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特定財源	0	0			
	一般財源	4,409	3,995			
	事業費計	4,409	3,995			

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

観光施設管理運営事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	3-10	会計区分	1	一般会計	
新番号	31005		基本目標	いきいきとしたまち	予算科目	款	6	商工労働費
			基本施策	人が訪れ、消費が拡大する観光交流の振興		項	2	観光費
(旧番号)	(30906)		施策分野	観光交流		目	1	観光費
		担当部課	経済建設部 - 商工観光課	事業		5	観光施設管理運営費	

事業概要	・観光施設の整備や維持管理を推進し、魅力ある観光スポットを充実させることで、観光交流人口の拡大を図る。
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民と意見交換を行いながら金時公園を多世代交流の場としてリニューアルし活用を図った。</li> <li>・誓いの丘や足柄峠にサイクルラックを設置し、サイクリストの利便性向上に努めた。</li> <li>・足柄城跡に管理用通路を整備し、管理の効率化と来訪者の利便性向上を図った。</li> <li>・富士山や富士スピードウェイ、道の駅等には多くの外国人観光客が訪れている中で、町民アンケートでは「町内の観光施設等で外国語標記が充実している」と回答した町民の割合が20%に留まっていることから、インバウンドを意識した環境整備が喫緊の課題である。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金時公園や豊門公園、誓いの丘を観光スポットとしてPRし、SNS等を活用した情報発信やイベント等の開催により誘客を促進する。</li> <li>・町内各施設に訪れている観光客の動向を把握し、インバウンド観光客も含めた団体客や個人旅行客のニーズに応じた受入環境を整備する。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・金時公園の再整備 (都市整備課で工事着手、移管)</li> <li>・誓いの丘の維持管理 (都市整備課に移管)</li> <li>・駅前観光案内所(町の駅)の維持管理、活用方法の検討</li> <li>・足柄峠周辺施設の維持管理</li> <li>・宮上公衆トイレの維持管理</li> <li>・金時山山頂トイレの維持管理</li> <li>・足柄城跡管理用通路の設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金時公園の活用</li> <li>・誓いの丘の整備、活用</li> <li>・駅前観光案内所(町の駅)の維持管理、活用</li> <li>・足柄峠周辺施設の維持管理</li> <li>・宮上公衆トイレの維持管理</li> <li>・金時山山頂トイレの維持管理</li> <li>・インバウンド対応情報システムの導入、活用</li> <li>・外国語標記の充実 (町民アンケート結果19%)</li> </ul>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語標記の充実 (町民アンケート結果20%)</li> </ul>				
事業費 (千円)	財源内訳	H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）
		国・県支出金	0	0		
		地方債	0	0		
		その他特定財源	83	118		
		一般財源	4,653	2,507		
	事業費計	4,736	2,625			

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

スタジオタウン小山推進事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	3-10		会計区分	1	一般会計	
新番号	31006		基本目標	いきいきとしたまち		予算科目	款	2	総務費
			基本施策	人が訪れ、消費が拡大する観光交流の振興			項	8	広報広聴費
(旧番号)	(30905)		施策分野	観光交流			目	1	広報広聴費
		担当部課	企画総務部 - シティプロモーション推進課		事業		6	スタジオタウン小山推進事業費	

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町を映像制作のメッカとすることを目指すスタジオタウン小山の構築を図るため、民間と連携した積極的なロケ誘致を推進するとともに、映像制作の将来を担う人材育成と、町内外への情報発信を強化する。</li> <li>・小山フィルムファクトリーの有効活用と、NPO法人への支援により、他に例のないロケ支援の体制づくりを進める。</li> <li>・フィルムコミッション事業の各種効果により、観光交流の増大を図る。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小山フィルムファクトリー構築事業による施設の修繕等を実施し、フィルムコミッション事業の環境を整えた。また、ソフト事業では、小山フィルムクリエイターズアワードを東京で開催し、映像制作者へ小山町のフィルムコミッション事業のPRが図れた。</li> <li>・NPO法人小山町フィルムコミッションと連携し、今までのフィルムコミッション事業のノウハウを引き継ぎ、ロケ支援体制の構築を図った。</li> <li>・小山フィルムファクトリーの施設運営をNPO法人小山町フィルムコミッションに指定管理委託し、施設の効果的な運営を図った。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小山フィルムファクトリーの運営を指定管理委託し、より制作者の立場に立った運用をする。また、施設を有効利用できるように町としてサポートを実施する。</li> <li>・フィルムコミッション事業の担い手の育成を支援し、年間撮影本数の増加を図る。</li> <li>・NPO法人小山町フィルムコミッションとの協働により、「ロケ支援ビジネス」と「映像文化の創出事業」に取り組むとともに、ふじおやま映画祭（仮称）を企画開催し、町民の映画に対する意識の向上を図るとともに魅力あるロケ地を町内外に情報発信する。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・フィルムコミッション支援</li> <li>・小山フィルムファクトリーを指定管理委託</li> <li>・誘致番組・映画等延べ本数 137本</li> <li>・経済効果 85,613千円</li> <li>・スタジオタウン小山構築事業及び施設維持管理 小山フィルム・クリエイターズアワード 2017開催（継続）</li> <li>・ロケ支援事務補助</li> <li>・旧町立体育館等解体工事業 37,338千円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フィルムコミッション支援を継続</li> <li>・小山フィルムファクトリーの指定管理委託の継続</li> <li>・誘致番組・映画等延べ本数 目標200本</li> <li>・経済効果 目標1億円</li> <li>・ふじおやま映画祭（仮称）の開催 (H31.3.9予定)</li> </ul>			
	事業費 (千円)					
		H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）
財源内訳		国・県支出金	0	0		
		地方債	0	0		
		その他特定財源	1,560	0		
		一般財源	50,875	15,322		
		事業費計	52,435	15,322		

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

商工業振興事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	3-11	会計区分	1	一般会計	
新番号	31101		基本目標	いきいきとしたまち	予算科目	款	6	商工労働費
			基本施策	賑わいと活気があふれる商工業の振興		項	1	商工費
			施策分野	商工業		目	1	商工業振興費
(旧番号)	(31001)	担当部課	経済建設部 - 商工観光課	事業		2	商工業振興費	

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街の賑わいを創出するため、空き店舗の有効活用、創業・起業の支援を行う。</li> <li>・地場産品を活用した品質向上、新商品や「小山町優良ブランド品」の開発支援を行う。</li> <li>・地域住民を対象とした職業訓練事業の支援や、中小企業勤労者の福利厚生支援を行う。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規進出スーパーで地元商品の販売に向けた調整を行った。</li> <li>・小規模事業所30社を対象に訪問調査を実施し、企業が抱える課題解決に向けて支援策を検討した。</li> <li>・商工会のプレミアム商品券事業では、スタンプラリーの実施により利用店舗に広がりが見られた。</li> <li>・小山町商工会優良推奨品として新規に7品目を認定し、各種イベント等を通じて優先的に販売するなど販路拡大を支援した。</li> <li>・地域住民を対象とした職業訓練や中小企業勤労者の福利厚生について、職業訓練センターやベネフィー駿東の活動を通じて支援した。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業の経営基盤を強化するため、生産性向上設備導入計画の策定を通じて設備投資を後押しする。</li> <li>・創業、起業を支援するため、創業支援計画の策定を通じて国等の支援策の活用を促進する。</li> <li>・地元商工業者の活性化策として、商工会の移動販売や進出企業とのビジネスマッチングを支援していく。</li> <li>・小山町商工会優良推奨品事業や小山町農商工連携事業を通じて特産品の6次産業化を支援し、ブランド力の高い商品を確立する。</li> <li>・地域住民を対象とした職業訓練事業や中小企業勤労者の福利厚生事業を継続して支援する。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小山町商工会への助成、支援</li> <li>・小山町商工会優良推奨品の認定・販路拡大</li> <li>・小山町農商工連携協議会への助成、支援</li> <li>・空き店舗の有効活用、創業、起業支援策の検討</li> <li>・小規模企業訪問調査、支援策検討</li> <li>・駅前観光案内所(町の駅)の活用方法の検討</li> <li>・賑わいと活気があふれる商工業の振興 (町民アンケート結果 11%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小山町商工会への助成、支援</li> <li>・小山町商工会優良推奨品の認定・販路拡大</li> <li>・小山町農商工連携協議会への助成、支援</li> <li>・小規模企業訪問調査、支援策実施</li> <li>・駅前観光案内所(町の駅)の活用</li> <li>・新規スーパーで地元商品の販売支援</li> <li>・生産性向上設備導入計画の策定、活用</li> <li>・創業支援計画の策定、活用</li> <li>・移動販売(試験的实施)の支援</li> <li>・賑わいと活気があふれる商工業の振興 (町民アンケート結果 11%)</li> </ul>			
	事業費 (千円)	財源内訳	H29年度(決算額(実績))	H30年度(予算現額)	H31年度(予算要求額)	H32年度(計画額)
		国・県支出金	0	0		
		地方債	0	0		
		その他特定財源	0	0		
		一般財源	10,877	8,850		
		事業費計	10,877	8,850		

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

ふるさと振興事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	3-11		会計区分	1	一般会計	
新番号	31105		基本目標	いきいきとしたまち		予算科目	款	2	総務費
			基本施策	賑わいと活気があふれる商工業の振興			項	8	広報広聴費
(旧番号)	(31005)		施策分野	商工業			目	1	広報広聴費
		担当部課	企画総務部 - シティ <sup>o</sup> プロモーション推進課		事業		5	ふるさと振興事業費	

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商工会等と連携し魅力ある返礼品を充実させ、地域産業の活性化を図る。</li> <li>・ポータルサイト等を活用し、本町及び返礼品のPRを積極的に行い、寄附者の確保に努める。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力ある返礼品を増やして寄附を集めた事で地元の商工業者の地域振興につながった。特に今年度ゴルフ利用券を使用できる町内のゴルフ場（協力事業者）を1ヶ所増やし全部で12か所となった。また、今年度の利用券の申込件数は2,526件あった。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小山町ふるさと納税専用のポータルサイトを立ちあげ、全部で4サイトとした（ふるさとチョイス・ふるなび・楽天・特設サイト）</li> <li>・朝日新聞の首都圏外の購読者に対して92万部、首都圏内の購読者に対しては131万部のタブロイド版広告を実施。関東エリアの読売新聞購読者に対して夕刊マルチ広告(156万部)を実施。また都心を走る電車車両（都営浅草線・西武新宿線）のドアに広告ポスター2車両あわせて760枚を掲載した。その結果、平成29年度小山町ふるさと納税寄附金額はおよそ27億円となった</li> </ul> </li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寄附額が年々増加する中、総務省から返礼品の見直し要請があり、小山町も寄附金額への影響が懸念されるが、H30年度上半期末時点では昨年を上回るペースとなっている。今後は総務省の見直し要請に対応しながら一方で、さらなる魅力的な返礼品の発掘と新規寄附者の獲得方法などを考案し寄附額を増やしていく。</li> <li>・今後もふるさと納税ポータルサイトの充実を図ると共に、小山町体験型返礼品など、新しいタイプの返礼品も研究していく。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画  (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・歳入実績額：27億円</li> <li>・商工会への事務委託</li> <li>・システム保守</li> <li>・東京都内向け広告宣伝</li> <li>・PRパンフレットの作成</li> <li>・SNSへPR動画アップ</li> <li>・ふるさと納税特設サイトの運用開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歳入見込み額：148億円</li> <li>・商工会への事務委託</li> <li>・システム保守</li> <li>・東京都内向け広告宣伝（新聞折込、サイト広告）</li> <li>・PRパンフレットの増刷</li> <li>・ふるさと納税ポータルサイトを2サイト追加（計6サイト）</li> <li>・ワンストップ申告特例通知書送付の電子化</li> </ul>			
事業費 (千円)	財源内訳	H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）
		国・県支出金	0	0		
		地方債	0	0		
		その他特定財源	160,000	280,000		
		一般財源	1,100,163	8,734,943		
		事業費計	1,260,163	9,014,943		

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

定住促進事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	3-12	会計区分	1	一般会計	
新番号	31201		基本目標	いきいきとしたまち	予算科目	款	2	総務費
			基本施策	定住・移住の促進と婚活支援		項	7	企画渉外費
			施策分野	定住・移住		目	3	定住移住促進事業費
(旧番号)	(11003)	担当部課	未来創造部 - おやまで暮らそう課	事業		2	定住促進事業費	

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就活生を中心としたUIJターン促進施策を実施する。</li> <li>・地域資源活用ビジネスモデル構築のための調査・分析を行う。</li> <li>・起業・創業支援の仕組み作りを行う。</li> <li>・民間企業との連携による移住を目的とした定住促進施策を実施する。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己実現型の定住移住促進のため、ビジネスプランコンテストを通じた経営塾を開催し、小山町を題材として時代に即した新規産業の創出を図った。また、若者のUIJターンを促進するため、地元企業のPR強化と若者との交流会等を開催した。</li> <li>・女性活躍促進のため、スキルアップ講座等を開催し、子育てをしながらでも自らの技術を活かした仕事ができるよう人材育成を図った。</li> <li>・子育て世代の定住促進のため、親子を対象とした自然体験イベントを開催し、またイベントの担い手となる人材育成を実施することにより、子育てに適した環境づくりを行った。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己実現型定住促進事業を継続する中で、できるだけ多くの町外者に本町を訪れてもらう取組を進める。</li> <li>・三来拠点事業による転入者増大に備え、地域の受け入れ気運の醸成が必要であり、町民とイベントによる来訪者との交流機会を増やしていく。</li> <li>・1日1家族限定の町内案内の継続実施に加え、首都圏からのバスツアーにより町への関心を高める。</li> <li>・定住促進補助金等を継続し新規建築戸数の増加を図り、定住人口を拡大する。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・宅地開発事業補助金 7区画</li> <li>・スタートアップ 起業支援事業補助金 1件</li> <li>・個人住宅取得資金利子補給金 161件</li> <li>・宅地分譲等販売協力助成金 3件</li> <li>・定住促進事業助成金 78件</li> <li>・出産祝金支給 60件</li> <li>【地方創生推進交付金事業】</li> <li>・女性活躍促進事業 女性2名が新規起業</li> <li>・若者移住促進事業 ビジネスプランコンテスト実施</li> <li>【ふじのくに少子化突破戦略応援事業】</li> <li>・金太郎ファミリープロジェクト推進事業 延べ225人イベント参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定住促進宅地開発事業補助金</li> <li>・小山町スタートアップ起業支援事業補助金</li> <li>・個人住宅取得資金利子補給金</li> <li>・宅地分譲等販売協力助成金</li> <li>・定住促進事業助成金</li> <li>・出産祝金支給</li> <li>【地方創生推進交付金事業】</li> <li>・女性活躍促進事業</li> <li>・若者移住促進事業</li> <li>【ふじのくに少子化突破戦略応援事業】</li> <li>・金太郎ファミリープロジェクト推進事業</li> </ul>			
	事業費 (千円)					
		H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）
事業費 (千円)	財源内訳	国・県支出金	12,497	11,499		
		地方債	0	0		
		その他特定財源	0	0		
		一般財源	51,127	53,984		
		事業費計	63,624	65,483		

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

宅地造成事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	3-12	会計区分	24	宅地造成事業特別会計
新番号	31202		基本目標	いきいきとしたまち	予算科目	款	
			基本施策	定住・移住の促進と婚活支援		項	
			施策分野	定住・移住		目	
(旧番号)	(11004)	担当部課	未来創造部 - おやまで暮らそう課	事業			

事業概要	・用沢宅地造成地の分譲販売及び優良田園住宅に基づく富士小山わさび平宅地造成事業を実施する。
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クルドサック16（南藤曲）の残1区画を分譲販売し完売した。</li> <li>・ヒルズYOUSAWA（用沢）の起債をすべて繰上償還し、事業完了した。</li> <li>・富士小山わさび平宅地造成事業により、36区画の新規分譲地を創出した。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士小山わさび平分譲地の完売により事業完了する。</li> <li>・落合区宮ノ台における宅地造成事業により新規分譲を行い、緊急車両進入路の確保などの地域課題を解消し、地域活性化を図る。</li> <li>・新規宅地造成事業として一色区内での実施検討を進める。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方債償還金(元金) 199,200千円</li> <li>ヒルズ用沢及びわさび平地区の用地取得分の一部を償還</li> <li>【H28→H29繰越明許費】</li> <li>・優良田園住宅整備事業の測量、設計、開発許可及び造成工事の実施 103,030千円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わさび平分譲地の販売（36区画）に係る分譲イベント、広告事業の実施</li> <li>・宮ノ台宅地造成事業の用地買収、物件補償及び工事着手</li> <li>・地方債償還 178,400千円</li> </ul>			
	事業費 (千円)	H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）
	国・県支出金	0	0			
	地方債	103,000	200,000			
	その他特定財源	243,640	236,000			
	一般財源	0	0			
	事業費計	346,640	436,000			

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

結婚支援事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	3-12	会計区分	1	一般会計	
新番号	31203		基本目標	いきいきとしたまち	予算科目	款	2	総務費
			基本施策	定住・移住の促進と婚活支援		項	7	企画渉外費
			施策分野	定住・移住		目	3	定住移住促進事業費
(旧番号)	(11005)	担当部課	未来創造部 - おやまで暮らそう課	事業		3	結婚支援事業費	

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・婚活支援事業「おやま出逢い大社」の会員増を図る。</li> <li>・結婚支援相談員によるマンツーマンの相談や、仲介等のきめ細かな支援を実施する。</li> <li>・町ならではの地域資源を生かしたイベントや、若者のスキルアップ等を学ぶセミナーを実施する。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・婚活支援事業「おやま出逢い大社」の会員を募集し、結婚支援相談員によるマンツーマンの相談や仲介等の支援を実施した。</li> <li>・子育てやワークライフバランス等を学ぶセミナー(4回)や、出逢いの場を創出する交流イベント(4回)を実施した。</li> <li>・結婚に伴う新生活に係る住居費・引越費用の支援として、結婚新生活支援補助金(2件)を実施した。</li> <li>・これまでの婚活支援事業をきっかけに3組のカップルが成婚したので、結婚記念品を贈呈した。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き婚活支援事業「おやま出逢い大社」の会員募集を実施し、会員増加を推進し、結婚支援相談員によるマンツーマンの相談、仲介等のきめ細かな支援を実施する。</li> <li>・町内企業、団体等とも連携し、出逢いの交流イベントや結婚についてのセミナー等を実施し、結婚支援を推進する。</li> <li>・成婚者を定住させるため、婚活イベントを機に成婚した夫婦が町内に定住した場合に成婚祝金を支給する。</li> <li>・婚シェルジュ養成講座により更なるスキルアップを行い、地域を巻き込んで結婚を応援する環境づくりを推進する。</li> </ul>

		平成29年度(昨年度)	平成30年度(本年度)	平成31年度(来年度)	平成32年度(2年後)	平成33年度(3年後)
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・婚活支援事業「おやま出逢い大社」の会員登録者 115名(男87名・女28名)</li> <li>・結婚支援相談員による相談、仲介支援実施(相談24件、仲介4件)</li> <li>・婚活セミナー実施(1回、参加者23人)</li> <li>・婚活イベント実施(2回、参加者延べ74人)</li> <li>・広域連携での婚活イベント実施(1回、参加者数27人)</li> <li>・成婚数(3組)</li> </ul> <p>【地域少子化対策重点推進交付金】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・婚活セミナー実施(3回、参加者延べ50人)</li> <li>・婚活イベント実施(1回、参加者50人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・婚活支援事業「おやま出逢い大社」の会員募集</li> <li>・結婚支援相談員による相談、仲介支援実施</li> <li>・婚活イベント実施</li> <li>・成婚記念品の贈呈</li> </ul> <p>【地域少子化対策重点推進交付金】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流サロン、婚活イベント及びセミナー、婚シェルジュ養成講座(全4回、受講者16人)実施</li> <li>・結婚新生活支援補助金</li> </ul>			
	事業費 (千円)		H29年度(決算額(実績))	H30年度(予算現額)	H31年度(予算要求額)	H32年度(計画額)
	国・県支出金	1,786	2,776			
	地方債	0	0			
	その他特定財源	0	0			
	一般財源	4,259	5,158			
	事業費計	6,045	7,934			

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

広域連携推進事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	4-1	会計区分	1	一般会計	
新番号	40101		基本目標	計画の推進のために	予算科目	款	2	総務費
			基本施策	広域連携の推進		項	7	企画渉外費
			施策分野	広域連携		目	1	企画渉外総務費
(旧番号)	(40101)	担当部課	企画総務部 - 町長戦略課	事業		4	広域連携推進費	

事業概要	・近隣市町村と富士山ネットワーク会議等による連携を促進し、広域的な行政課題に対する公共サービスの充実を図る。
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士山ネットワーク会議の取り組みとしては、東京国際フォーラムにおける「ふるさと回帰フェア」に4市1町で参画し、「富士山麓に住もう！」を力強くPRすることができた。また、図柄入りナンバーの導入を進め、富士山地域の魅力発信を行った。</li> <li>・2市1町広域行政研究会（行政懇談会）では、引き続き「サイクリング事業」について研究・検討を行い、2市1町の広域自転車モデルコースを作成し、サイクリストのニーズに合わせたSNS上での検索を可能とした。</li> <li>・御殿場市と「モータースポーツのまちづくり事業」について協議を行い、地域経済の活性化に寄与できる仕組み作りに取り組んだ。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士山ネットワーク会議においては、9つの施策分野における各種協議会の活動を引き続き推進していく。特に、図柄入り富士山ナンバーのPRと普及活動には力を入れていくものとする。</li> <li>・東京2020オリンピック・パラリンピックにおける自転車競技コース（ロード）が正式発表されたことを受け、この対象地域となっている2市1町広域行政研究会（行政懇談会）としては、今後、更なる広域連携事業を展開し、地域の活性化に寄与していくものとする。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士山ネットワーク会議による環境・観光・防災などさまざまな分野での研究及び取り組み</li> <li>・富士箱根伊豆交流圏市町村ネットワーク(=SKY)による合同サミット参加</li> <li>・2市1町行政懇談会による広域課題に対する検討</li> <li>・モータースポーツのまちづくり事業による地域活性化の取組</li> <li>・御殿場青年会議所及び御殿場市との地域活性化協働事業(ヒーローフェスティバル)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士山ネットワーク会議による環境・観光・防災などさまざまな分野での研究及び取り組み</li> <li>・富士箱根伊豆交流圏市町村ネットワーク(=SKY)による合同サミットに向けた協議</li> <li>・2市1町行政懇談会による広域課題に対する検討(オリンピックを意識した連携事業の推進)【H30:小山町事務局】</li> <li>・モータースポーツのまちづくり事業による地域活性化の取組</li> </ul>			
	事業費 (千円)					
		H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）
	国・県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特定財源	0	0			
	一般財源	1,422	667			
	事業費計	1,422	667			

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

財政管理事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	4-2		会計区分		1	一般会計
新番号	40201		基本目標	計画の推進のために		予算科目	款	2	総務費
			基本施策	健全な財政運営の確立			項	1	総務管理費
(旧番号)	(40201)		施策分野	財政運営			目	2	財政管理費
		担当部課	企画総務部 - 総務課		事業		2	財政管理費	

事業概要	・中期財政計画の策定や新地方公会計制度に基づくバランスシートなどの作成・公表を行う。
事業の成果 (課題・反省点を含む)	・普通会計ベースでの財務諸表及び中期財政計画を策定し、公表することにより、財政運営の透明性を図った。
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	・統一的な基準による地方公会計による財務諸表について、町民にわかりやすい形での情報公開、説明を推進していくとともに、活用について検討をしていく。

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新システムの導入（複式簿記に準じた仕分け作業の実施）</li> <li>・統一的な基準による財務諸表等の作成や中期財政計画の策定をし、町民に公表した。</li> <li>・新規の起債の抑制を進め、将来負担の軽減化を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統一的な基準による財務諸表等の作成や中期財政計画の策定をし、町民に公表していく。</li> <li>・歳出事業の緊急度、優先度を検討し、健全財政の維持に努める。</li> <li>・公債費の抑制を進め、将来負担の軽減化を図る。</li> <li>・国、県などの補助制度の活用など財源の確保に努める。</li> </ul>			
	事業費 (千円)	H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）
	国・県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特定財源	0	0			
	一般財源	5,433	4,993			
	事業費計	5,433	4,993			

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

行財政改革推進事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	4-3	会計区分	1	一般会計	
新番号	40301		基本目標	計画の推進のために	予算科目	款	2	総務費
			基本施策	効率的な行政運営の推進		項	1	総務管理費
(旧番号)	(40301)		施策分野	行政運営		目	2	財政管理費
		担当部課	企画総務部 - 町長戦略課	事業		3	行財政改革推進事業費	

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効率的・効果的な行政運営の推進を図り、事業のムダを無くす。</li> <li>・組織改革の推進を図り、新たな行政課題や町民ニーズに対応する柔軟性・機動性を備えた組織を構築する。</li> <li>・町内施設の適正管理を推進する。</li> <li>・行政サービス改革の推進を図り、競争原理を取り入れた民営化、アウトソーシング、PFIなど市場メカニズムの導入を推進する。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行財政改革審議会を開催し、第9次小山町行政改革大綱及び実施計画の進捗状況を確認した。</li> <li>・導入2年目の業務改善制度（改善提案／改善報告）を推進し、職員の意識改革及び資質の向上を図ると共に、行政事務の効率化、行政経費の削減及び町民サービスの向上を目指した。</li> <li>・行政アドバイザー制度を積極的に活用し、行政課題に対し、専門的な立場から指導、助言等を受けた。</li> <li>・現状に即した機構改革を実施した。（未来創造部、オリンピック・パラリンピック推進局、シティプロモーション推進課や介護長寿課の新設等）</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度に行財政改革審議会から答申を受けた第6次定員適正化計画に基づき、“現状に即した”職員の適正配置を図っていく。</li> <li>・各部署の業務量等を把握し、適正な人員の配置及び体制の構築に努めていく。</li> <li>・業務改善制度（改善提案／改善報告）を推進し、職員の資質向上と町民サービスの向上を図っていく。</li> <li>・職員の自発的な意識改革を促すような環境作りや取組みを推進していく。</li> <li>・「地方行政サービス改革の推進に関する留意事項について（H27総務省）」や先行事例、他市町の動向等を参考にした業務改革を進める。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政改革大綱実施計画の評価及び検証をした。</li> <li>・行財政改革審議会を開催した。</li> <li>・業務改善制度を推進した。（業務改善提案：11件、業務改善報告：12件）</li> <li>・職員配置ヒアリングを実施した。</li> <li>・機構改革を実施した。</li> <li>・多岐に渡り、行政アドバイザーを活用した。（登録人数：43人、延日数：58日）</li> <li>・行政評価システムの改修業務委託</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政改革大綱実施計画の評価及び検証</li> <li>・行財政改革審議会における諮問・答申</li> <li>①定員適正化計画について</li> <li>②働き方改革について</li> <li>・業務改善制度の推進</li> <li>・職員配置ヒアリングの実施</li> <li>・行政アドバイザーの活用</li> </ul>			
	事業費 (千円)					
		H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）
	財源内訳	国・県支出金	0	0		
		地方債	0	0		
		その他特定財源	0	0		
		一般財源	4,578	2,545		
		事業費計	4,578	2,545		

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

企画調査事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	4-3	会計区分	1	一般会計	
新番号	40302		基本目標	計画の推進のために	予算科目	款	2	総務費
			基本施策	効率的な行政運営の推進		項	7	企画渉外費
(旧番号)	(40332)		施策分野	行政運営		目	1	企画渉外総務費
		担当部課	企画総務部 - 町長戦略課	事業		2	企画調査費	

事業概要	・総合計画及び総合戦略の適切な進行管理を行うとともに、次期総合計画の策定に取り組む。
事業の成果 (課題・反省点を含む)	・春・秋のヒアリング、町民アンケート、施策評価、実施計画の策定等を通じて、予算と連動した後期基本計画の進捗管理を図ることが出来た。また、評価結果や現状等を踏まえ、後期基本計画の一部修正も行った。 ・小山町まち・ひと・しごと創生総合戦略及び人口ビジョンに基づき、地方創生交付金を活用した事業を推進した。また、小山町まち・ひと・しごと創生会議での評価結果や現状等を踏まえ、総合戦略の一部修正も行った。 ・小山町国土強靱化地域計画推進会議を開催。計画の進捗状況を報告し、有識者（中林氏）よりアドバイスを受けた。
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	・予算と連動した総合計画の推進と管理を行い、成果指標を設定した上で施策評価により毎年度PDCAサイクルを実行し、事務事業の重点化及び整理合理化を行うことで、次期総合計画の策定に繋げていく。 ・総合戦略の推進と管理を行うとともに戦略に掲げた施策の進捗状況を把握し、小山町まち・ひと・しごと創生会議で評価を実施する。また、目標を上回る実績があった施策は上方修正を行うなど、次期総合戦略の策定を見据えていくものとする。 (総合計画同様、創生会議の評価や、総合戦略の見直しは、毎年度議会へ報告する。)

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>第4次小山町総合計画後期基本計画進行管理</li> <li>小山町総合戦略進行管理</li> <li>小山町国土強靱化地域計画進行管理</li> </ul> ◎小山町国土強靱化地域計画がジャパンレジリエンスアワード地域計画賞の部で“金賞”を受賞  【下記はH29までは町長戦略課、H30からシニア推進課】 <ul style="list-style-type: none"> <li>福祉理美容による地域活性化事業の継続実施（オシャレ講座・訪問理美容等）</li> </ul> ※地方創生交付金事業のため事業費は2-7-1で支出。施策区分は2-3高齢者福祉の推進に該当	<ul style="list-style-type: none"> <li>第4次小山町総合計画後期基本計画進行管理</li> <li>小山町総合戦略進行管理</li> <li>小山町国土強靱化地域計画進行管理</li> <li>第5次小山町総合計画の検討・策定準備</li> </ul>			
	事業費 (千円)	財源内訳	H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）
		国・県支出金	2,500	0		
		地方債	0	0		
		その他特定財源	0	0		
		一般財源	2,760	391		
		事業費計	5,260	391		

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

協働推進事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	4-4	会計区分	1	一般会計	
新番号	40401		基本目標	計画の推進のために	予算科目	款	2	総務費
	(旧番号)		(40401)	基本施策		参加と協働によるまちづくり	項	1
				施策分野		参加・協働・情報共有	目	6
			担当部課	企画総務部 - シティプロモーション推進課		事業	4	協働推進費

事業概要	・ 公益的な地域活動と組織づくりを支援し、協働で地域コミュニティの活性化の推進を図る。
事業の成果 (課題・反省点を含む)	・ 町内5地域の金太郎計画推進協議会は、それぞれの計画の基本方針等に基づき、地域住民と協働で地域の活性化を図る事業を精力的に展開した。活動の様子については、各地域担当等の努力により、広報紙や無線放送、各戸配布のちらし、プレスリリース等を通じて、積極的に町民に紹介することで情報を共有し、参加と協働のまちづくりをアピールできた。 ・ 3月に総合文化会館で開催した「金太郎まちづくり活動発表大会」では、一般町民の他に小山高校生を招き、若い世代からのまちづくりへの参加を促した。
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	・ 施策目標達成のためには、区長会との連携は必須である。町民へのきめ細やかな情報提供・情報共有のためにも、連携を深めていきたい。 また、町をお知らせするツールとして広報紙「広報おやま」やフェイスブックの発行、更新、AR動画の普及にこれまで以上に力を入れていく。 ・ 定例記者懇談会やプレスリリースなどの精度を高めるために、庁内研修等を引き続き実施し、躍進するおやまの『今』を町内外にアピールしていく。

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>5地域での金太郎計画2020の推進（市町村振興協会補助事業）</li> <li>活動発表大会の開催</li> <li>各地域推進協議会で計24事業を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5地域での金太郎計画2020の推進（市町村振興協会補助申請）</li> <li>活動発表大会の開催</li> </ul>			
	事業費 (千円)					
	H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）	
	国・県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特定財源	1,133	1,086			
	一般財源	891	2,317			
	事業費計	2,024	3,403			

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

広報広聴事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	4-4	会計区分	1	一般会計	
新番号			40402	基本目標	計画の推進のために	予算科目	款	2 総務費
(旧番号)			(40403)	基本施策	参加と協働によるまちづくり		項	8 広報広聴費
				施策分野	参加・協働・情報共有		目	1 広報広聴費
			担当部課	企画総務部 - シティプロモーション推進課	事業		2 広報広聴費	

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報紙、無線放送、ホームページ、Facebook等により町政情報等の発信を行い、透明性の高い行政運営の推進を図る。</li> <li>・ 定例記者懇談会を開催し、マスメディアを活かした情報発信を推進する。</li> <li>・ シティプロモーション指針に基づき、広く町内外に小山町の情報発信を行う。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報紙を全戸配布し、町の施策、情報等発信に努めた。また、無線放送により、各種情報を発信した。</li> <li>・ 定例記者懇談会を毎月開催し、報道関係者への情報発信に努めた。</li> <li>・ 「オールおやま」で統一的、継続的な施策を展開していくよう、シティプロモーション指針を策定した。</li> <li>・ おやまの今を知らせる「おやまガイド2018」を発行した。</li> <li>・ SNS等を活用し小山町の情報発信をし、更なる認知度向上のための工夫が必要である。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続き広報紙、無線放送、ホームページ、SNS等により町の情報を発信していく。(ホームページの各分野リニューアルを随時実施)</li> <li>・ シティプロモーション検討会議により、小山町の認知度向上を図るため、各課の連携を強化していく。</li> <li>・ おやまの今を知らせる「おやまガイド」を随時更新、発行。町民、町外に今のおやまを発信していく。</li> <li>・ 定例記者懇談会やプレスリリースなどの精度を高めるために、基本的な報道対応や効果的なリリース記事の書き方等、庁内研修を引き続き実施し、躍進するおやまの『今』を町内外にアピールしていく。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報おやまの発行</li> <li>・ 無線放送、ホームページ、Facebookによる町政情報等の発信</li> <li>・ 「町長への手紙」事業</li> <li>・ 出前講座等の開催</li> <li>・ 定例記者懇談会の開催</li> <li>・ 継続的なシティプロモーションを実施</li> <li>・ シティプロモーション検討会議の立ち上げ</li> <li>・ 町ガイドブックの作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報おやまの発行</li> <li>・ 無線放送、ホームページ、Facebookによる町政情報等の発信</li> <li>・ 「町長への手紙」事業</li> <li>・ 出前講座等の開催</li> <li>・ 定例記者懇談会の開催</li> <li>・ 継続的なシティプロモーションを実施</li> <li>・ 町ガイドブックの更新</li> <li>・ ドローン購入、講習会開催（ドローン部隊結成）</li> <li>・ 金太郎ラインスタンプ発行</li> <li>・ AR動画にQRコード導入、OTKでの放映</li> </ul>			
	事業費 (千円)					
		H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）
財源内訳		国・県支出金	0	0		
		地方債	0	0		
		その他特定財源	195	190		
		一般財源	17,485	12,151		
		事業費計	17,680	12,341		

平成30年度 事務事業評価シート（評価対象：平成29年度）

自治振興事業		主要事業 位置付け  ○	総計コード	4-4	会計区分	1	一般会計	
新番号	40403		基本目標	計画の推進のために	予算科目	款	2	総務費
	(旧番号)		(40402)	基本施策		参加と協働によるまちづくり	項	1
				施策分野		参加・協働・情報共有	目	6
			担当部課	企画総務部 - シティ <sup>®</sup> プロモーション推進課		事業	2	自治振興費

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区長会と連携・情報共有し、暮らしやすいまちづくりの推進を図る。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区の運営交付金及び区長交付金の交付により、区の活動の推進が図られた。</li> <li>・ 定期的に区長会及び幹事会を開催し、行政側からの情報伝達を行った。また、各区との情報共有を図ることができた。</li> <li>・ 各区の要望を取りまとめ、各課との調整を図った。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各地区が円滑に運営できるように、継続的な助成を実施していく。</li> <li>・ 平成30年度までに、全ての地区で屋外掲示板の取替設置が完了する。</li> <li>・ 区長会を継続的に開催し、行政と各区との情報共有を図っていく。</li> <li>・ 各区の新規・継続要望の案件を整理し、各課との調整を実施する。</li> </ul>

		平成29年度（昨年度）	平成30年度（本年度）	平成31年度（来年度）	平成32年度（2年後）	平成33年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区屋外掲示板の取替設置（H29年度：11箇所実施）</li> <li>・ 区長交付金及び区運営交付金の交付</li> <li>・ 区長会及び幹事会の開催</li> <li>・ 各地区要望の取り纏め、調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区屋外掲示板の取替設置（H30年度：5箇所実施予定）</li> <li>・ 区長交付金及び区運営交付金の交付</li> <li>・ 区長会及び幹事会の開催し行政と各区との情報共有を図る。</li> <li>・ 各地区要望の取り纏め、調整</li> <li>・ 認可地縁団体印鑑登録条例の制定（9分の7登録済）</li> </ul>			
	事業費 (千円)					
		H29年度（決算額（実績））	H30年度（予算現額）	H31年度（予算要求額）	H32年度（計画額）	H33年度（計画額）
	国・県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特定財源	2,500	31,200			
	一般財源	22,141	22,241			
	事業費計	24,641	53,441			